

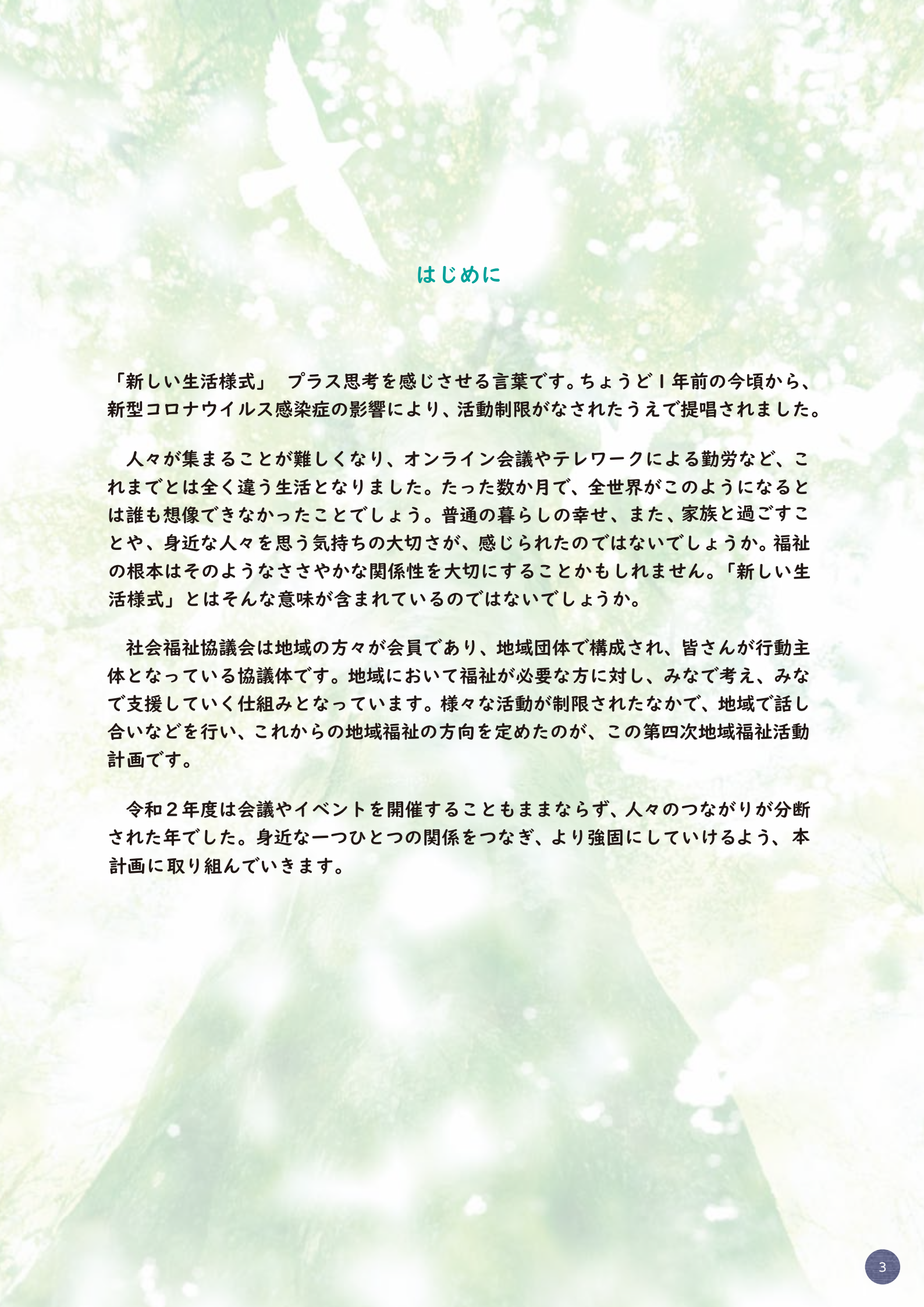
ともに生きる豊かな地域社会



第四次 新居浜市地域福祉活動計画

新居浜市社会福祉協議会

第四次 新居浜市地域福祉活動計画



はじめに

「新しい生活様式」 プラス思考を感じさせる言葉です。ちょうど1年前の今頃から、新型コロナウイルス感染症の影響により、活動制限がなされたうえで提唱されました。

人々が集まることが難しくなり、オンライン会議やテレワークによる勤務など、これまでとは全く違う生活となりました。たった数か月で、全世界がこのようになるのは誰も想像できなかったことでしょう。普通の暮らしの幸せ、また、家族と過ごすことや、身近な人々を思う気持ちの大切さが、感じられたのではないのでしょうか。福祉の根本はそのようなささやかな関係性を大切にすることかもしれません。「新しい生活様式」とはそんな意味が含まれているのではないのでしょうか。

社会福祉協議会は地域の方々が会員であり、地域団体で構成され、皆さんが行動主体となっている協議体です。地域において福祉が必要な方に対し、みなで考え、みなで支援していく仕組みとなっています。様々な活動が制限されたなかで、地域で話し合いなどを行い、これからの地域福祉の方向を定めたのが、この第四次地域福祉活動計画です。

令和2年度は会議やイベントを開催することもままならず、人々のつながりが分断された年でした。身近な一つひとつの関係をつなぎ、より強固にしていけるよう、本計画に取り組んでいきます。



もくじ

第1章 計画の概要

1 計画策定の趣旨	8
2 地域福祉とは	
3 関連計画との連携	
4 計画への参画	10

第2章 現状と課題

1 福祉を取り巻く環境	12
2 座談会、ワークショップ、研修会等の結果	13
3 第三次新居浜市地域福祉活動計画の評価	17
4 アンケート調査の結果	18
5 課題の分析	23

第3章 基本理念と目標

1 計画の基本理念	26
2 計画の体系	27
3 実施目標、実践に向けた取組	28

第4章 社会福祉協議会支部 地域福祉活動計画

1 社会福祉協議会支部の概要	30
2 支部地域福祉活動計画	
惣 開 支部	32
宮 西 支部	40
金 子 支部	48
高 津 支部	56
垣 生 支部	64
多喜浜 支部	72
大生院 支部	80
角 野 支部	88
船 木 支部	96
若 宮 支部	36
新居浜 支部	44
金 栄 支部	52
浮 島 支部	60
神 郷 支部	68
大 島 支部	76
中 萩 支部	84
泉 川 支部	92
別子山 支部	100





第5章 新居浜市社会福祉協議会 発展・強化計画

1 概要	106
2 発展・強化計画	107
3 新居浜市社会福祉協議会の体制	123
4 事業展開の基本的考え方	124

資料

1 社会福祉協議会の事業・活動の推進と発展に向けた方針の体系	126
2 全社協 福祉ビジョン概要	127
3 社協・生活支援強化方針「第2次アクションプラン」・概要	128
4 目標管理・事業計画・事業実施・事業報告の流れ	129
5 社協職員行動原則	130
6 新居浜市地域福祉推進計画施策体系図	132
7 委員会名簿	133

※本計画の字体は視認性・判読性・デザイン性・可読性に特化して開発された「ユニバーサルデザイン(UD)フォント」を原則使用しています。一部例外あり。
※図、グラフの一部を「新居浜市地域福祉推進計画 2021」より、引用しています。



第 1 章

計画の概要



① 計画策定の趣旨



超少子高齢化社会が進むなか、家族構成が核家族から独居などの小規模な構成に移行しています。また、個人主義的な傾向や情報化社会により、家庭や地域の人間関係が希薄化しています。

地域では孤独死やゴミ屋敷等の増加、社会的孤立、ひきこもり、貧困や格差等、さまざまな生活課題が顕在化して、問題も深刻化しており、これまでの福祉サービスでは対応できなくなってきています。

新居浜市社会福祉協議会(以下「市社協」という。)では、「第三次新居浜市地域福祉活動計画」を5年間実施してきました。その反省点を生かし、現状の課題に対応するために、「第四次新居浜市地域福祉活動計画」(令和3年度から5年間)を策定しました。

② 地域福祉とは

地域の生活課題には、行政サービスだけでは対処できないものがあります。地域福祉とは、高齢者福祉、障がい者福祉、児童福祉などの分野別の福祉ではなく、生活の基盤となっている地域に福祉の視点をおいています。

(地域福祉の推進) 社会福祉法第4条

地域住民、社会福祉を目的とする事業を営む者及び社会福祉に関する活動を行う者は、相互に協力し、福祉サービスを必要とする地域住民が地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるように、地域福祉の推進に努めなければならない。

③ 関連計画との連携

新居浜市(以下「市」という。)では、「長期総合計画」を上位計画とし、他の計画を組み合わせる総合的に対応する「地域福祉推進計画」が策定されています。市社協と地域住民や団体がともに取り組んでいく、この「地域福祉活動計画」も大きく関連しています。



■地域福祉推進計画の位置づけ■

新居浜市長期総合計画

地域福祉推進計画

整合

市のその他関連計画

健康・保健関連

環境関連

教育関連

都市・住宅関連

産業・交通関連

防災・防犯関連

その他

介護保険事業計画
及び高齢者保健福
祉計画障がい者基本計画
障がい児福祉計画子ども・子育て支
援事業計画

健康づくり計画

連携・補完

地域福祉活動計画

■地域福祉推進のための自助、互助・共助、公助からの共通課題への対応方向■

住民の生活課題群

住民の主体的な取組により
解決できる領域地域コミュニティとして行政との協働
により解決する領域個人や地域では対応困難、また
は公的対応が有効である領域

自助

(自ら主体的に解決する力)

互助・共助

(地域の資源と連携を活かす力)

公助

(公的制度を活用する力)

- 自らの生活課題解決への意識と主体的な取組
- 家庭の持つべき「力」の醸成と解決への取組

- 高齢者福祉制度、介護保険制度や障がい者福祉制度、次世代育成支援制度などの公的なサービスによる対応
- 全市的なサービスの調整や「自助」「互助・共助」のしくみを支える支援など

- 問題発見や自助・公助を補完する地域コミュニティとしての主体的取組



4 計画への参画

- (1) 社会福祉協議会支部（以下「社協支部」という。）

市内18校区すべてに社協支部地域福祉活動計画（5か年計画）を策定するため、座談会を開催しました。



- (2) 関係団体、施設、理事・評議員

市内で活動・運営している地域活動団体・福祉施設、市社協の理事・評議員に第三次計画の評価やアンケート調査を実施しました。

調査対象	団体	施設	理事	評議員
回収数	79	30	9	33



- (3) 市関係職員

課題の情報共有を図るため、市社協職員とワークショップを実施しました。



- (4) 愛媛県社会福祉協議会

愛媛県社会福祉協議会の協力により、本計画の作業委員会の研修を実施しました。



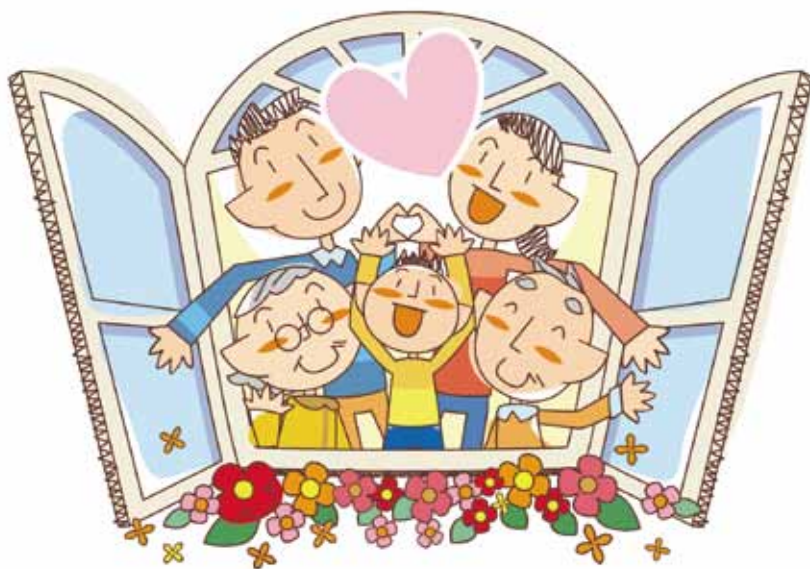
- (5) 市社協職員

地域課題を把握し、市社協発展・強化計画に反映させるために、ワークショップを実施しました。



第2章

現状と課題

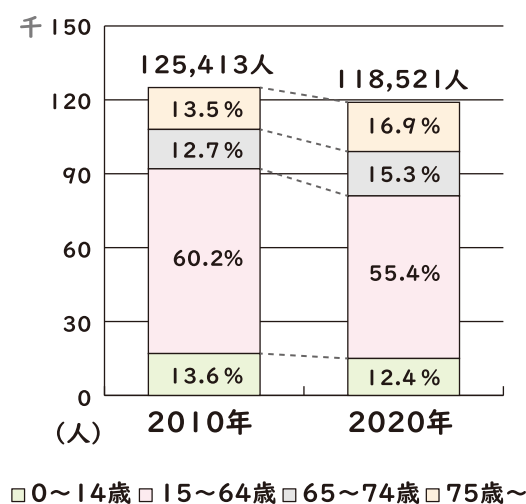


① 福祉を取り巻く環境

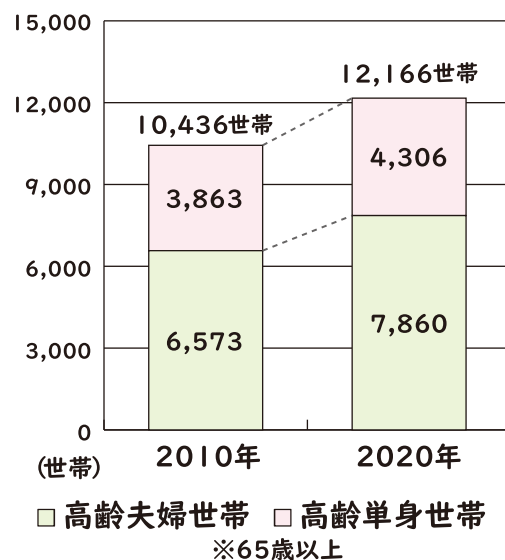
全国的に、地域内では孤独死やゴミ屋敷等の増加、社会的孤立、ひきこもり、8050 問題、貧困や格差等、さまざまな福祉課題が顕在化しています。児童虐待、DV（ドメスティック・バイオレンス）の増加、そして、高齢者や障がい者への虐待等も増加し、大きな課題になっています。背景には、地域社会の関係性の希薄化、家族形態の変容等があると、内閣府をはじめとする様々な機関でも指摘されています。

市の統計情報(抜粋)

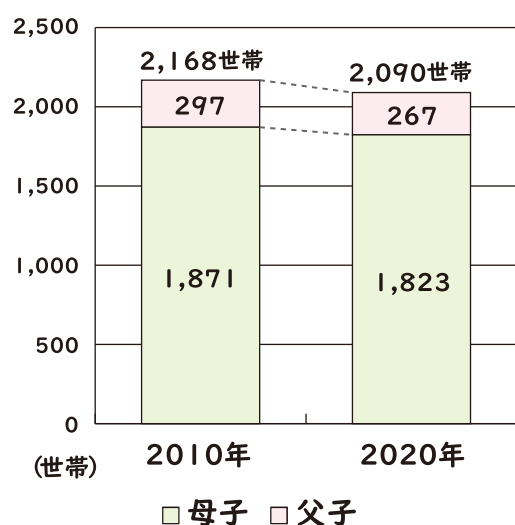
新居浜市の人口と構成



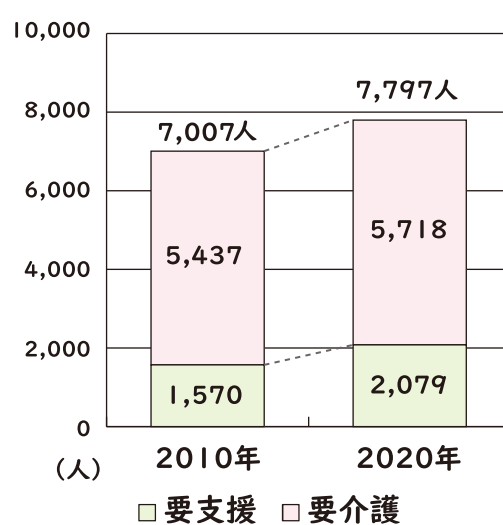
高齢単身者及び高齢夫婦世帯

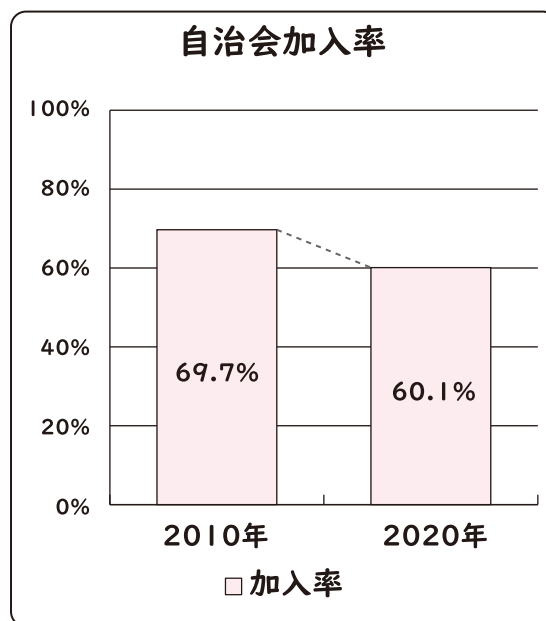
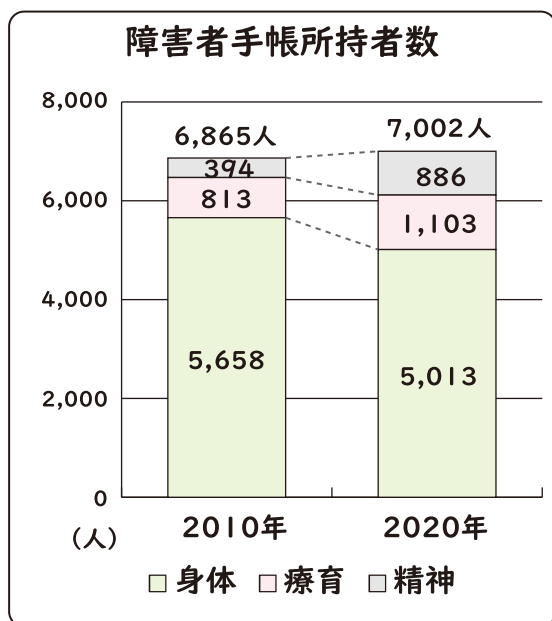


ひとり親世帯数



介護保険認定者数





本市の人口は2020年までの10年間に6,892人減少しています。高齢化率が6ポイント増加、一方で15歳から64歳までの生産年齢人口と14歳以下の年少人口の割合が6ポイント減少しています。ひとり親世帯数は78世帯減少していますが、高齢単身者と高齢夫婦世帯は1,730世帯、介護保険認定者数は790人、障害者手帳所持者数は137人、それぞれ増加しています。自治会加入率は9.6ポイント減少しています。

あらゆる分野で本格的な少子・超高齢社会の到来を見据えたまちづくりを求められていますが、人々の安心・安全な生活のために、福祉課題に取り組むことが必要不可欠です。

② 座談会、ワークショップ、研修会等の結果

(1) 社協支部との座談会

市内18校区の各社協支部と座談会を行い、地域福祉課題を抽出して社協支部地域福祉活動計画を策定し、地域資源の抽出を行いました。(第4章)

(2) 市関係職員と市社協職員のワークショップ

業務上の課題を抽出し、情報共有するためにワークショップを行いました。



○ 分野別意見

児 童	・課題を再確認できた。計画をわかりやすく、<u>実践可能にする</u>。 ・地域、市、社協で<u>連携が必要</u>である。 ・情報が届いていない人に新しい情報ツール（SNS）を<u>活用する</u>。 ・<u>国際化の生活課題の解決は他にも応用できる</u>。
高 齢	・地域の困りごとや各課の取り組みは理解したが、<u>連携が弱い</u>。 ・将来、福祉サービス人材は減少する。<u>サポート体制の強化や制度の弾力性が必要</u>である。
障がい	・制度やサービスが多く複雑。相談機関の<u>広報が必要</u>である。 ・待機者が多く入所できない。<u>児童発達支援事業所が少ない</u>。 ・障がいの介護サービス移行で<u>ケアマネとの連携が必要</u>である。 ・利用者と家族が<u>地域で安心して暮らせるように計画する</u>。 ・<u>地域力が低下している</u>。<u>顔の見える関係づくりが必要</u>である。
権利擁護	・相談や困窮に<u>向き合う姿勢を、より強固にする</u>。 ・対象者を十分に理解し、<u>能力を引き出す</u>。<u>社会資源を作る</u>。 ・幅広い知識を得て<u>情報提供する</u>。<u>組織作りも必要</u>である。 ・孤立が増加している。<u>制度を理解し、各種団体との連携を強化する</u>。

（３） 市社協作業委員研修会

県社協の指導により、市社協の弱みと強み、課題解決について話し合いました。

項目	強み	弱み	
分野別の職員がいる。	様々な角度（分野）からの視点がある。	まとまる力が弱い。	①
	各分野の利用者の状況が分かりやすい。	広い知識、経験が少ない。	②
様々な施設があり、地域に根付いている。	施設と地域のつながりができている。 地域や利用者の情報を得やすい。	分野が違うため、施設同士の連携が弱い。	③
補助金、委託料、指定管理料の割合が高い。	財源の一部は安定している。 市から期待されている。	独自の財源が少なく活動が制限される。	④
社協支部とのつながりが強い。	支部と連携がとりやすい。	一部の職員のみとの関係が強い。	⑤
		コミュニティ力が弱くなり、支援に工夫が必要である。	⑥
団体とのつながりが強い。	地域につながる可能性がある。	活動に差があり、支援の仕方が多様である。	⑦



弱みに対する解決方法

- ・ 課間で担当者が話し合う場の設定（①、②、③、⑤）
- ・ 困難な課題への連携による解決や効率的な事業実施（②、③、⑤、⑥）
- ・ 指定管理、委託事業等に地域福祉の付加価値（④、⑥）
- ・ 様々なニーズの把握と多様な対応（⑦）



（４） 市社協職員のワークショップ

社協支部の座談会から得た福祉課題に、市社協各課で対応できるものを選択し、課と個人の強みで、どのような支援で解決できるかを考察しました。

市社協の各課は様々な福祉分野に対応しており、本計画ではさらに地域と連携できる可能性を見出し、各課の事業に関連付けていきます。ここでも地域で活動する人材不足が大きな課題となっており、それに伴う運営、情報、組織の問題が顕著になっています。また、地域福祉課だけではなく、他の課も具体的に連携できるという結果となりました。

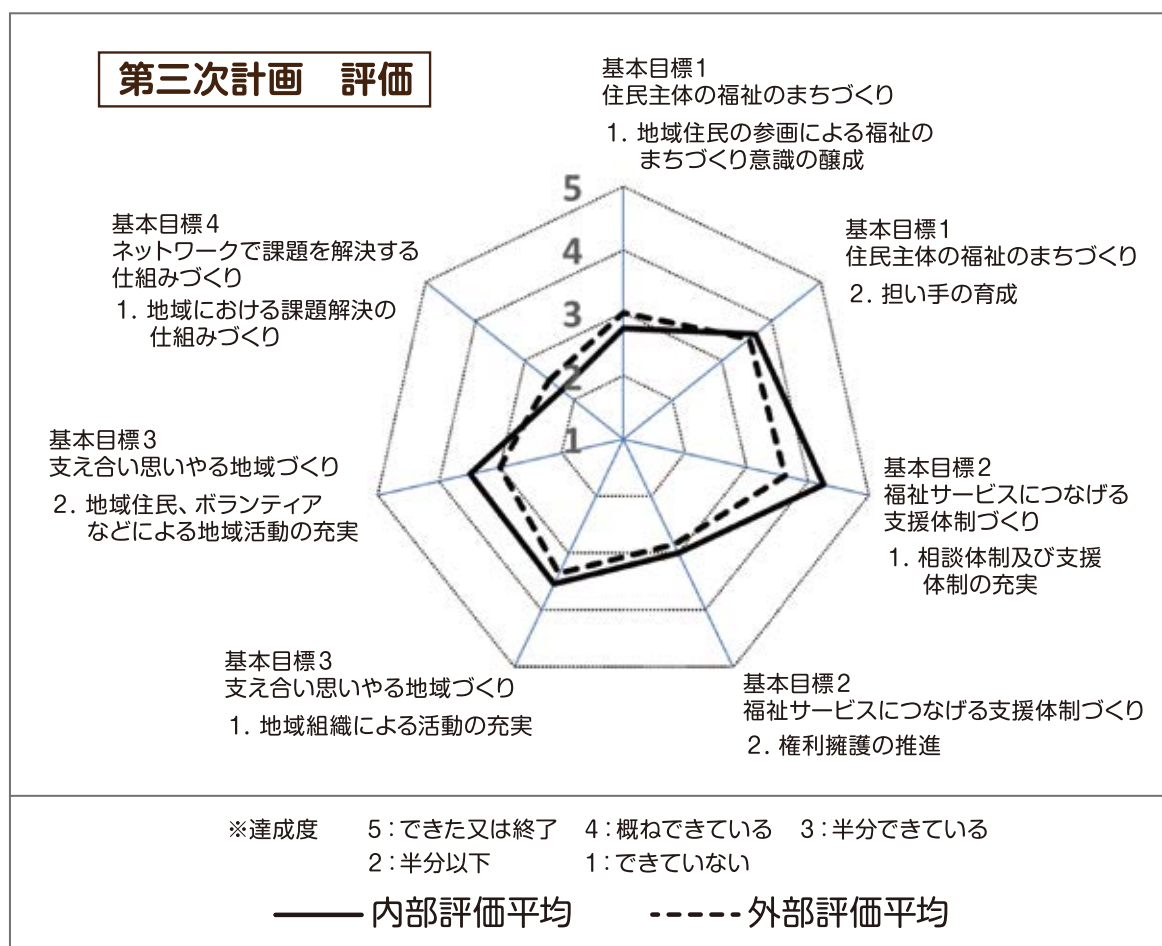


○支部の主な課題に対する関係課と解決方法

課題番号	課題内容	関係できる課と関係性 A:非常に強い B:強い C:普通										課題解決方法									
		総務企画課	別子山分室	地域福祉課	権利擁護課	児童発達支援課	障がい者施設課	児童施設課	高齢者施設課	介護事業課	活動支援	連携協働ネットワーク	組織強化	情報支援	人材支援	行政連携	財源支援	参加支援	孤立化支援	社会資源補強	防災啓発
1	参加者が固定され、新しい人の参加が少ない	C	C	B	C	C	C	C	B	C	O		O	O				O			
2	デイ等が充実し、サロンへの参加減少	C		B	C	C	C		B	C	O			O				O			
3	子育てサロン 子どもがいない	C		B		C		B			O			O							
4	子育てサロン 校区外の参加が多い			C				C			O			O							
5	子育てサロン 活動の事前準備が大変			C				B			O	O			O						
6	世代間交流の内容や参加促し	C	C	B	C	C	C	B	B	C	O			O	O			O			
7	サロンや活動の指導者不足	C	C	B	C	C	C	C	B	C	O				O						
8	役員・推進員等の高齢化。後継者問題	C		B					C				O		O						
9	実費弁償費について(見守り推進員)	C		B									O			O	O				
10	担当者不在地域(見守り推進員)	C		B					C			O			O						
11	活動に対する協力者の確保	C	C	B	C	C	C	C	C	C	O				O						
12	高齢化問題もあり、現世代で問題解決が必要			C	C				C				O		O				O		
13	参加したくても足がない、外出困難		C	B	C				C		O	O							O	O	
14	老人会がない、ない自治会もある	C	C	C	C	C	C	C	C	C	O	O				O					
15	連携が薄い団体がある		C	C								O									
16	見守り ケアマネや行政との連携	C	C	B	C					B		O									
17	見守り推進員と民生委員の連携			B								O									
18	自治会加入率減少	C	C	C	C	C	C	C	C	C	O					O					
19	防災意識の地域差	C	C	B	C	C	B	C	C	B		O		O							O
20	特別会費の減少	B	C	B	C	C	C	C	C	C			O				O				
21	財源確保、お世話人の負担	C	C	B	C	C	C	C	C	C					O		O				
22	補助金、助成金の納入時期(市社協からの)	B		A									O			O	O				
23	社協支部活動・財源の周知	C		B										O							
24	社協支部だよりの充実			B				C	C		O		O	O							
25	支部活動の充実 諸行事・サロン等	C		B			A	C	B		O	O		O	O						
26	会議の機能強化	C		C									O	O							
27	見守り推進事業の充実			B	C				C			O	O		O						
28	支援体制の強化 情報	C	C	B	B	B	A	C	B	A	O	O		O							
29	支援体制の強化 障がい			C	A	B	A		C	B	O	O	O	O							
30	支援体制の強化 居場所	C	C	C	C	C	C	C	B	C	O	O	O			O					
31	支援体制の強化 買い物		C	C	C				C		O	O								O	
32	支援体制の強化 生活状況 ゴミ屋敷、引きこもり、空き家等			C	A		C			C	O	O	O						O		
33	コミュニケーションの希薄化	C	C	C	C	C	C	C	C	C	O				O			O			
34	行政へ要請	C	C	C	C	C	C	C	C	C	O					O					

③ 第三次新居浜市地域福祉活動計画の評価

「第三次地域福祉活動計画」は、4つの基本目標と7つの実施目標、18の実施計画、45の実施項目から構成されています。市社協職員による内部評価、理事・評議員・関係団体による外部評価を行い、実施目標ごとにまとめて平均をとりました。



結果と評価

- ・ 内部、外部評価が同じ傾向となった。外部評価は内部に対してやや低い。市社協の各施設が地域に開かれていることが必要である。
- ・ 内部評価4以上は1項目のみである。計画策定時の目標設定の水準が高かった。総合相談体制はできつつある。権利擁護は活発だが、今後は啓発が課題である。その他分野の相談は、職員の潜在的ニーズの発見、経験、技術等の習得が必要である。(基本目標2の1)
- ・ 関係者には福祉の啓発はできているが、地域全体にはできていない。児童には福祉教育体験のシステムができている。(基本目標3の2、基本目標4の1)
- ・ 地域づくりは様々試みているが効果が出ていない。コミュニティが弱まり、人材、財源、資源、関係性の課題がある。関係機関は会議等でのつながりはあるが、協働する関係性が必要である。(基本目標4の1)

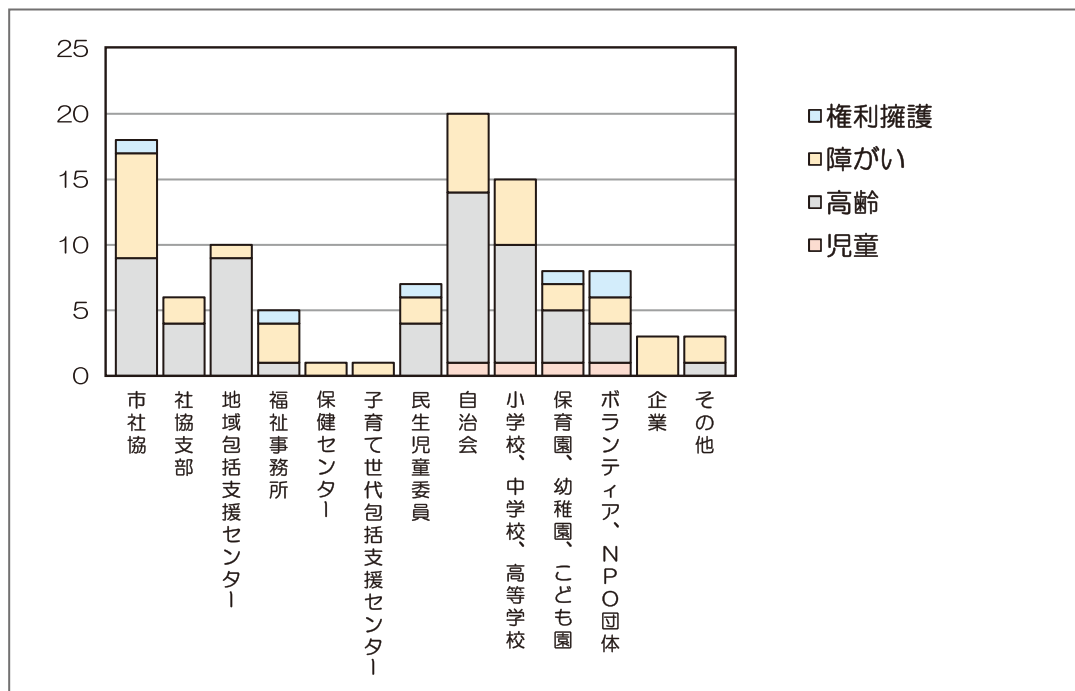


④ アンケート調査の結果

アンケートでは課題や連携に関することを中心に調査をしました。

(1) 福祉施設アンケート

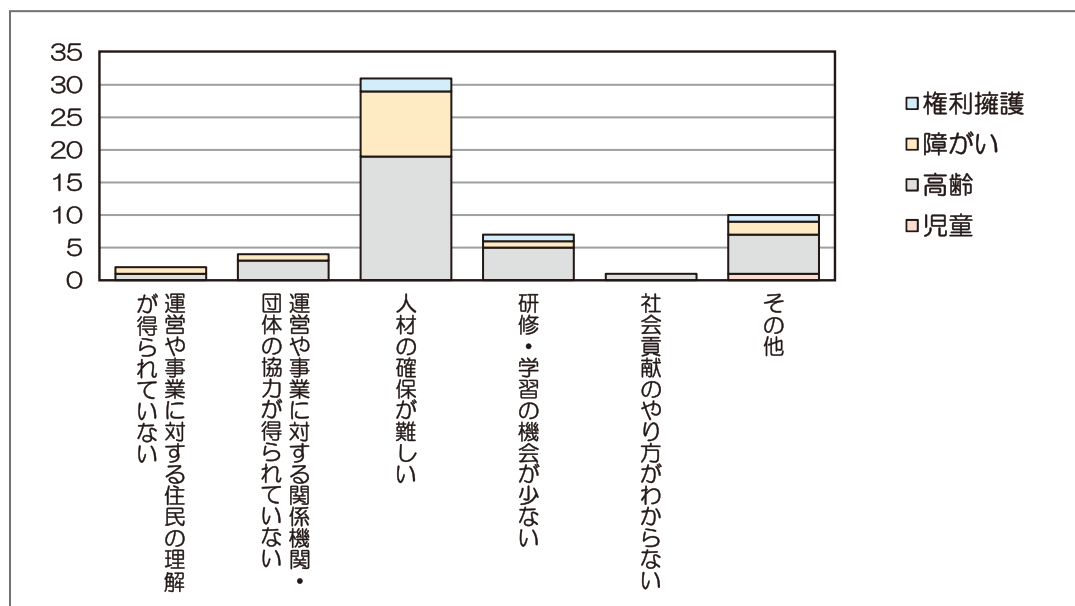
○ 施設で現在連携している関係機関団体



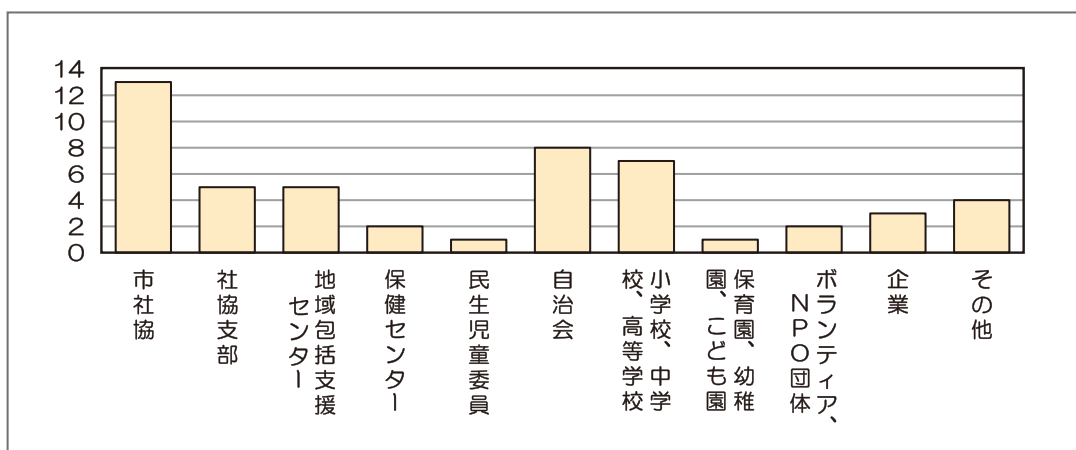
○ 連携内容

- ・ 情報共有、地域福祉活動参加、困難事例相談、ケアネットワーク、こども食堂
- ・ ボランティア受入、職場体験受入、就業実習・就労支援
- ・ 商品販売、耕作放棄地再生

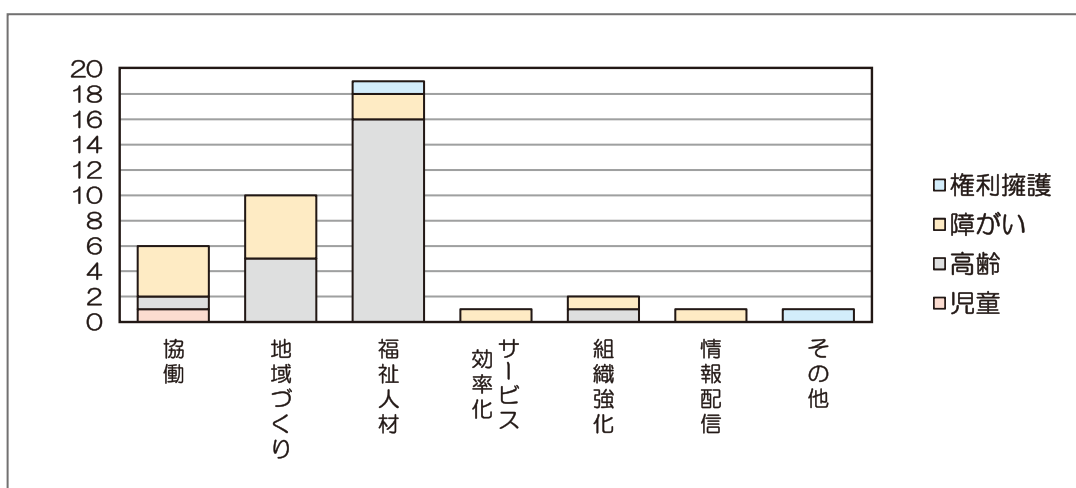
○ 施設で抱えている課題



○ 連携したい団体



○ 連携したい内容



○ 連携内容

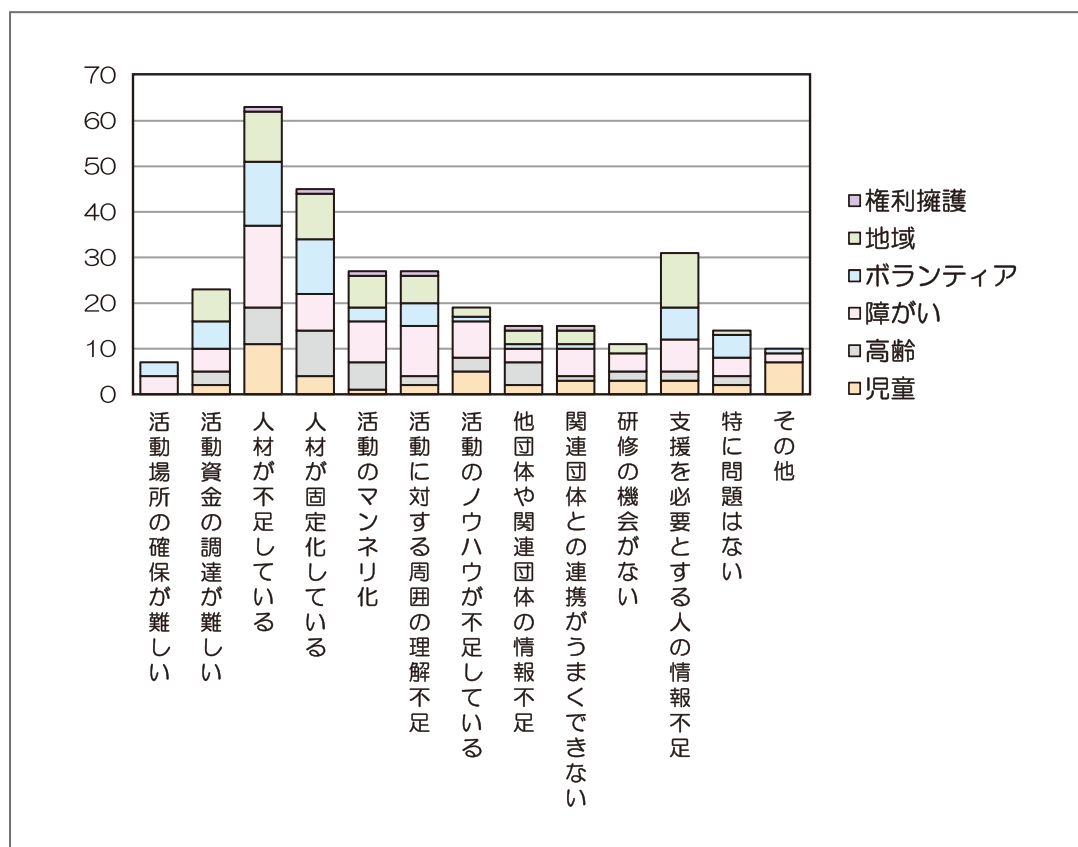
- ・人財育成、キャリア教育、人財確保(退職者含む)、職場体験・福祉教育(障がい含む)、ボランティア
- ・広報活動、地域に根差した活動、情報共有と啓発、アウトリーチの連携
- ・第三者の意見聴取、施設への入居促進など

各福祉施設では既に関係機関団体と連携を図っており、自治会、市社協、学校が多く、地域と連携ができている様子が分かります。高齢者や障がい者の分野の割合が高くなっています。人材不足の課題も多く、地域づくりも含めて、様々な関係機関等と連携して解決を図ろうとしています。

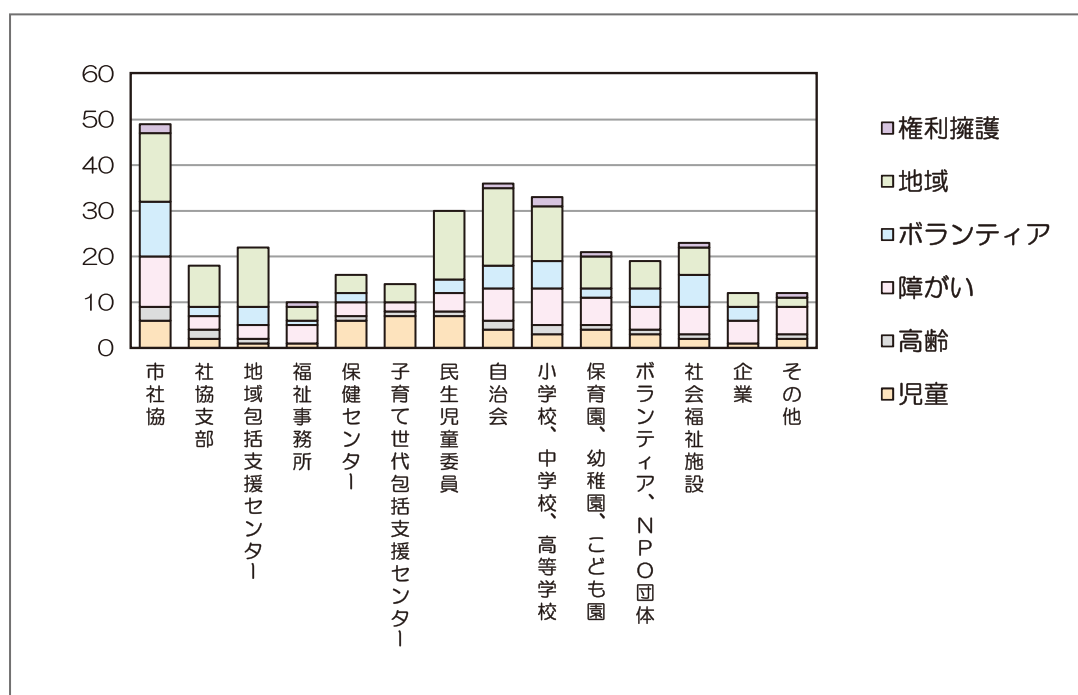


(2) 地域活動団体・理事・評議員アンケート

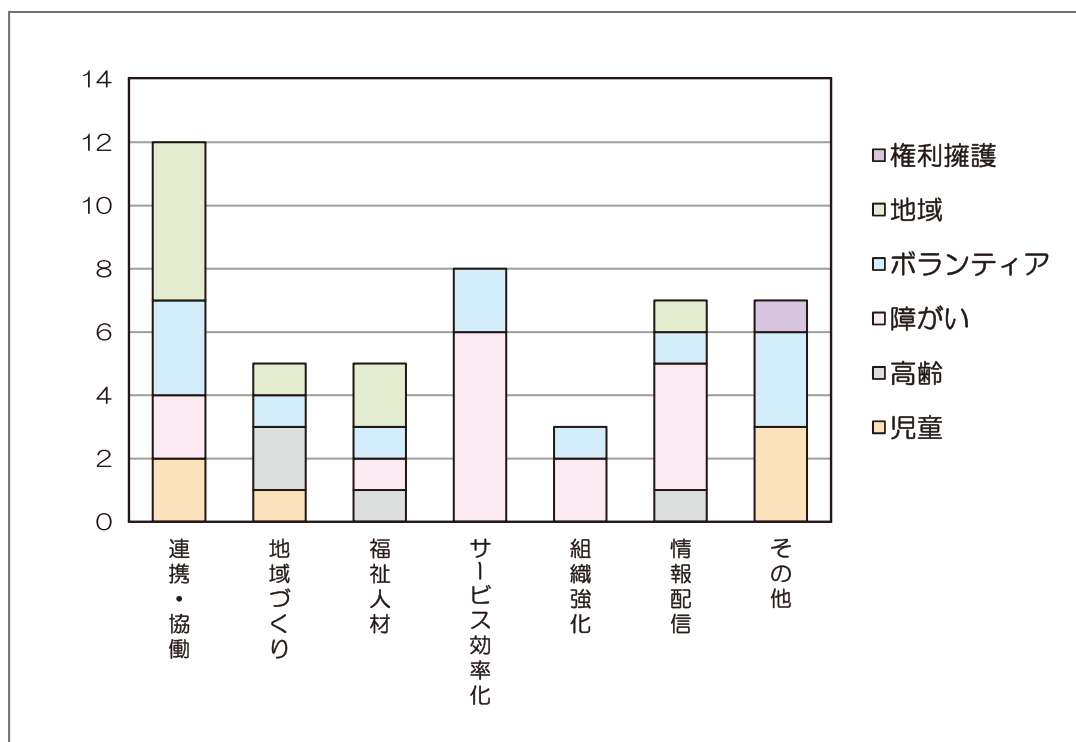
○ 現在の課題



○ 連携したい団体



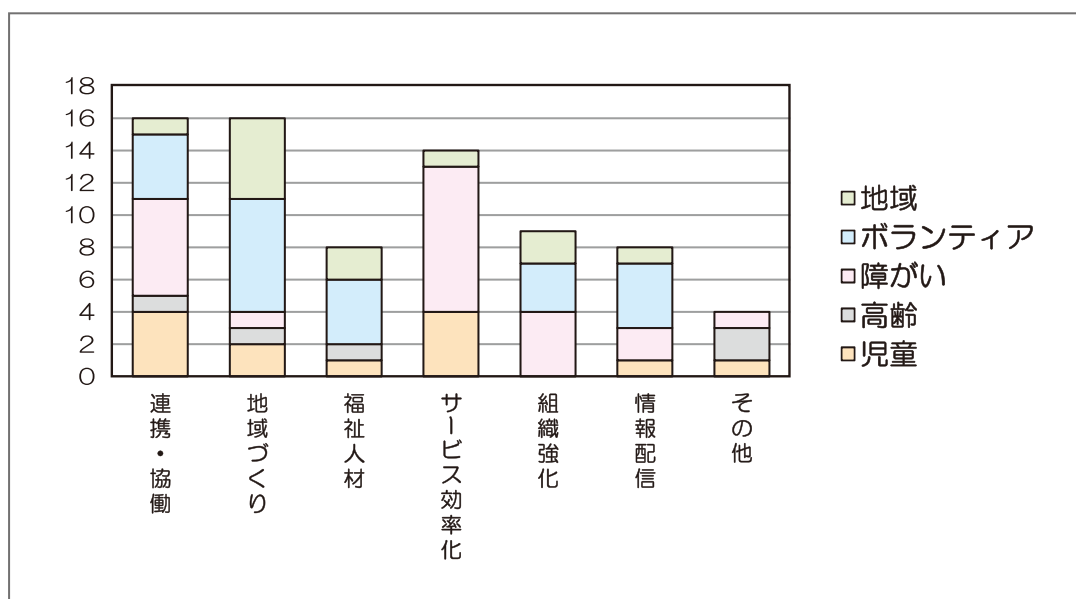
○ その他の課題



○ 具体的内容

- ・関係機関等との連携・情報取得、企業社会貢献活動周知、団体の維持、会員不足、資金不足
- ・相談先がわからない、相談内容が複雑、在宅障がい者支援、成人期につながる支援、就学後の預かり・障がい特性による進学困難
- ・耕作放棄地の活用、空家問題

○ 今後の目標



福祉関係団体・理事・評議員の課題は、人材不足・固定化、支援を必要とする人の情報不足、活動のマンネリ化、活動への理解不足・ノウハウ等による組織体制の弱さが見られました。課題も多様で解決できにくいものとなっているようです。地域、ボランティアをはじめ様々な分野にまたがっています。団体との連携による解決を模索しており、つながるための仕組みづくりが必要です。連携・協働、地域づくり、サービス効率化が目標にあがっています。



「社会福祉大会」

高校生のワークキャンプ体験発表により
福祉の大切さの啓発を行っています。



「障がい者福祉センターと ためき踊り保存会との交流」

高齢者の交流は各地域で行われていますが、
障がい者との交流はまだ必要です。



「いきいき幸せフェスティバル」

年に一度の福祉イベントです。
市内の関係者や一般市民が参加します。

5 課題の分析

第四次計画の基礎とするため課題の分析をしました。福祉を取り巻く環境、18の社協支部単位で実施した座談会、市関係職員とのワークショップ、市社協作業委員研修会、市社協職員ワークショップ、第三次計画の内部及び外部評価、地域活動団体・福祉施設・理事・評議員へのアンケート調査において抽出した課題について、属性ごとに分類しました。これらを事業計画に関連付けます。

(1) コミュニティの課題

社会情勢の変化により、コミュニティ意識が希薄になっています。社協支部座談会では自治会の加入率の低下、サロンや三世代交流事業の参加率の低下、団体の高齢化による担い手不足など多くの課題が提示されました。福祉の情報提供も、市民への広がり難しく、地域活動に関わらない層へのアプローチに苦慮しています。

(2) ニーズの増加と複雑化、孤立化の課題

高齢者世帯が増加し、介護サービスの需要が高まっています。高齢化による認知症も増加し、成年後見制度等が必要になってきています。一方、社協支部座談会では生活課題として、ひきこもり、ゴミ屋敷、孤独死、経済的困窮などはあまり提起されませんでした。児童・障がい者の虐待、ヤングケアラー（家族の介護、ケア、身の回りの世話を担っている18歳未満の子ども）の課題もあり、若い世代にも孤立化の兆しがあります。

また、経済的困窮、孤立・孤独、家庭不和など、コロナ問題が地域福祉に与えた影響は甚大でした。地域福祉活動が停滞し、地域での困りごとを抱えた人を把握できず、孤立させるようなことがあってはなりません。

今後、感染防止に留意しながら、孤立させない地域の支え合い活動を進めることが、緊急の課題です。関係者と協議を行い、計画に付加していきます。

(3) 相談に対する課題

地域の身近なところで相談できるところがない、その情報をどこから得たらいいいのかわからない、個人情報取り扱いで聞けないという意見がありました。福祉情報は地域全体には伝わっておらず、連携の弱い部分が見えています。

専門的な相談体制はできつつありますが、そのことは地域には広く伝わっていません。同時に、潜在的なニーズの発見、相談員の経験・技術等の習得が課題です。



(4) 連携の課題

市社協としても課題解決を図るために市とパートナーシップを強める必要があります。

市社協各課の連携、社協支部や民生委員児童委員等との情報共有も必要です。団体からは自治会や地域の施設と連携したいという意見がありました。生活困窮は精神的な疾患や知的障がい起因していることが多く、適切な治療など専門的なサービスにつなげる体制づくりが必要です。

(5) 人材確保の課題

地域、施設、団体（社協支部、ボランティア含む）で重要視されています。団体や施設については、福祉人材の担い手の確保や、支援者の育成も難しいようです。地域での人材の育成や福祉意識の高揚については、児童、生徒対象の福祉教育にとどまり、地域へは広がっていません。

(6) 市社協の機能向上の課題

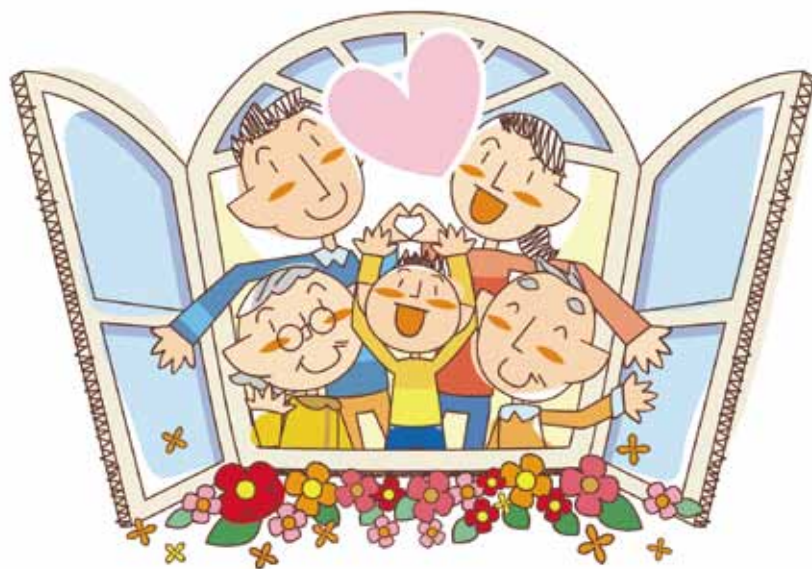
施設や団体では市社協と連携を取りたい、連携強化したいという意見が多くありました。求められているのは、現実的、具体的な「連携」（話し合いや連携・協働の場づくり）です。

市地域福祉推進計画のアンケート調査では市社協、社協支部の重要度は18項目中17位でした。プラットフォームとしての市社協の機能は、現在は充分とはいえません。社協の強みを生かしながら、体制を強化するための安定した経営と、課題に柔軟に対応するための組織のマネジメントが必要です。



第3章

基本理念と目標



1 計画の基本理念

国が示している「地域共生社会」の枠組みでは、地域コミュニティを育成することで、地域住民が世代や背景を超えてつながり、相互に役割を持ち、「支え手」「受け手」という関係を超えて、支えあう取り組みを進めるとしています。このことは地域福祉の推進の理念を包含しています。

「地域共生社会」

「制度・分野ごとの『縦割り』や「支え手」「受け手」という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が『我が事』として参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えて『丸ごと』つながることで、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」

さらに、国際的にも我が国においても「持続可能な開発目標（SDGs：エスディージーズ）」が示され、「だれ一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」の実現に向けて取り組みが進められています。SDGsは2030年を年限として17の共通目標を掲示しています。社会福祉分野では目標1、目標3、目標10、目標11が関連しています。



福祉組織・関係者は2040年に向け、これからの社会環境の変化を見据え、課題への認識を共有しつつ、次世代につなげる役割を果たしていくことが求められています。全国社会福祉協議会ではその羅針盤として「福祉ビジョン2020」（資料2）を策定しています。同時に社会福祉協議会の事業・活動の推進と発展に向けた方針等の体系（資料1）では、市町村社協発展・強化計画、地域福祉活動計画策定指針、強化方針（行動宣言と第2次アクションプラン）（資料3）も定義づけられています。

「福祉ビジョン2020」のめざす社会は「ともに生きる豊かな地域社会」です。住民一人ひとりが協働し、日々ともに支えあって、生活における楽しみや生きがいを見出し、生活上のさまざまな困難を抱えた場合でも、社会から孤立せず、安心して、その人らしい生活を送ることができる社会です。市社協の課題とその解決の方向性が「福祉ビジョン2020」と同様であるため、本計画においても基本理念としました。

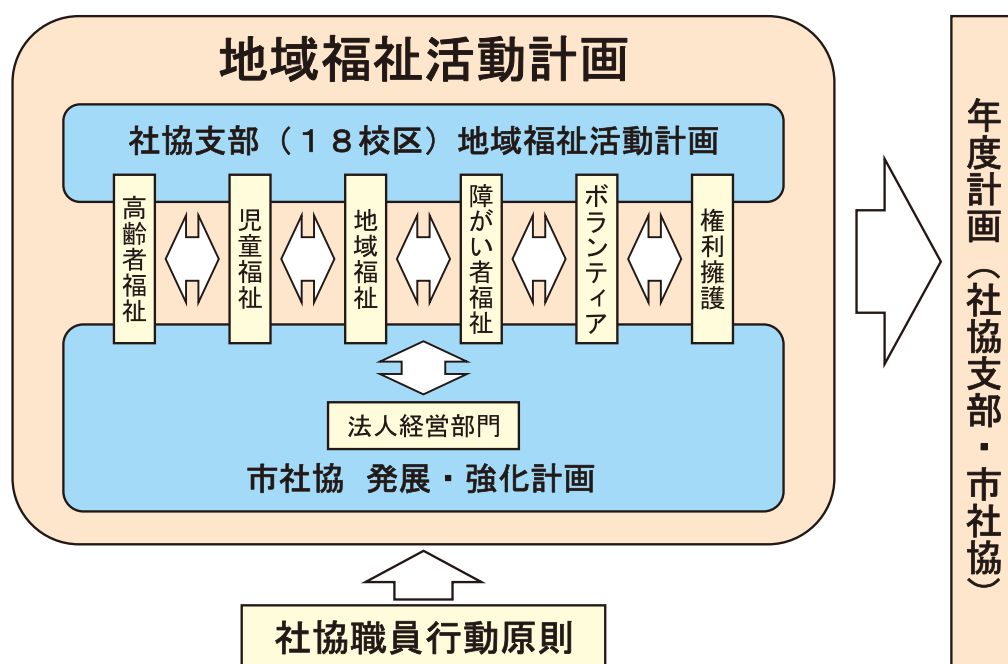
基本理念

ともに生きる 豊かな地域社会

② 計画の体系

第三次計画の基本目標は、地域、高齢、児童、障がいなどの分野を横断するものでした。各項目の実施手段、他の項目との位置づけ、課題解決の進行管理が担当職員に認識されにくいものとなってしまいました。今回の計画は社協支部地域福祉活動計画を中心に据えて、支部から提案された課題を、市社協の発展・強化計画の項目に関連させました。

前計画は中間年、最終年度に評価していましたが、事業に連動するように年度計画に反映させて、毎年PDCAサイクル（資料4）として具体的に計画（Plan）、実行（Do）、評価（Check）、改善（Action）し、進捗状況を把握します。また、全国社会福祉協議会が定めた社協職員行動原則（資料5）をもとに、職員としての使命と誇りをもち、計画を推進していきます。



③ 実施目標、実践に向けた取り組み

第四次計画では基本理念を実現するために、実施目標、実践に向けた取り組みを定めました。実施目標は社協支部地域福祉活動計画と市社協発展・強化計画に直接関連させました。実践に向けた取り組みは「福祉ビジョン 2020」(資料2)に合わせたものとしています。人口減少が進展する日本は、市場全体が縮小していくこととなり、「効率的な労働」のみで「物的生産性」を上げるだけでは組織は淘汰されます。生産性向上のポイントは、組織が作り出すサービスの付加価値であり、組織共通の経営能力・経営戦略の問題となります。

基本理念

ともに生きる
豊かな地域社会

実施目標

社協支部地域福祉活動計画 5ヵ年目標
市社協発展・強化計画 事業実施目標

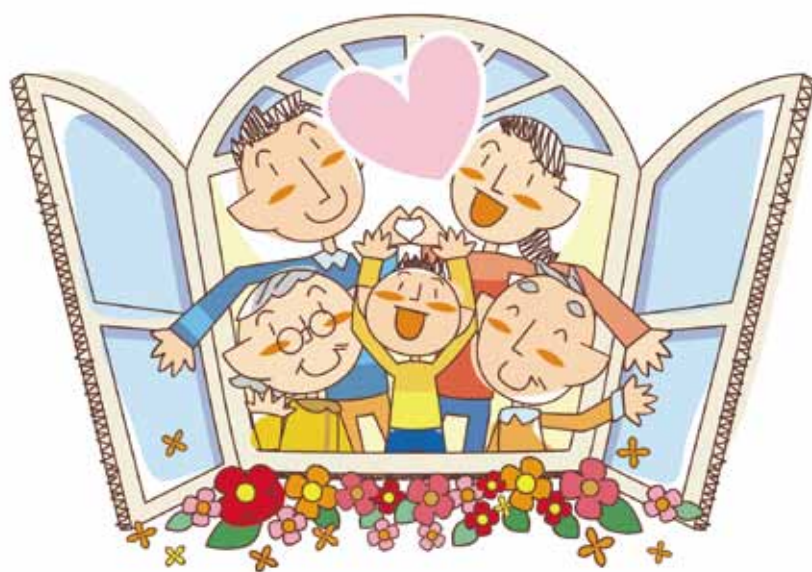
実践に向けた取り組み

- ①重層的に連携・協働を深める
- ②多様な実践を増進する
- ③福祉を支える人材(福祉人材)の確保・育成
- ④福祉サービスの質と効率性の向上を図る
- ⑤福祉組織の基盤を強化する
- ⑥相談機能・相談窓口体制を強化する
- ⑦自治体とのパートナーシップを強める
- ⑧地域共生社会への理解を広げ参加を促進する
- ⑨災害に備える



第4章

社協支部地域福祉活動計画



Ⅰ 小地域社会福祉協議会（社協支部）の沿革

新居浜市社会福祉協議会は、昭和44年3月に法人認可を受け、社協の基本理念である「住民主体」の原則を広く住民に浸透を図るため、「会員制度の創設」をはじめ住民の身近な地域に小地域社会福祉協議会を設置するため、中学校区を基本とした校区社会福祉協議会の設立に努めました。

その後、新居浜市民生児童委員協議会の組織単位が小学校区の区割りに改められたのを契機として、校区社会福祉協議会の再編に取り組み、平成8年7月に若宮校区に社協支部が設立され、市内17小学校区全域に社協支部の設立が完了しました。

また、平成15年4月に別子山村との合併により、同年10月に別子山支部が設立され、現在に至っています。

<社協支部の設立年度>

No.	年 月	設立支部	No.	年 月	設立支部
1	S39年 4月	中萩支部	10	H2年 1月	惣開支部
2	47年 11月	大生院支部	11	2年 9月	金栄支部
3	48年 4月	垣生支部	12	4年 6月	浮島支部
4	//	大島支部	13	6年 4月	高津支部
5	51年 7月	船木支部	14	6年 6月	金子支部
6	52年 4月	泉川支部	15	6年 7月	多喜浜支部
7	61年 2月	新居浜支部	16	7年 5月	神郷支部
8	62年 4月	角野支部	17	8年 7月	若宮支部
9	62年 9月	宮西支部	18	15年 10月	別子山支部

なお、昭和63年4月に9支部による連絡協議会を設置しましたが、その後、平成8年に市社協と、社協支部（17支部）の情報交換及び連絡調整機能をもつ支部連絡協議会組織として強化し、社協支部活動の更なる充実強化を促進してきました。

[支部連絡協議会重点項目]

- (1) 支部連絡協議会の運営強化
 - ① 定例会の開催（年間6回）
 - ② 支部活動拠点の整備
 - ③ 支部組織体制の強化（人材確保・育成）
 - ④ 支部先進地視察研修の実施
 - ⑤ 支部役職別研修会の実施
 - ⑥ 支部相互の活発な情報共有
- (2) 社協支部の財源確保
 - ① 特別会員・法人会員の加入促進
 - ② 共同募金、歳末たすけあい募金の推進
 - ③ まごころ銀行の啓発活動
 - ④ 助成金等の効果的な活用促進
 - ⑤ 財源確保に関する協議
- (3) 主要事業の強化・推進
 - ① 高齢者の生きがいづくりの強化・推進（ふれあい・いきいきサロン等）
 - ② 見守り推進事業・地域ケアネットワークの強化・推進
 - ③ 子育て支援事業の強化・推進（子育てサロン等）
 - ④ 調査・研修事業の強化・推進（支部交換研修、支部視察研修 他）
 - ⑤ その他関係機関への支援活動の強化・推進
- (4) 広報活動の推進
 - ① 社協支部だよりの充実
 - ② 会費使途の効果的な広報活動
- (5)
 - ① 公民館を中心とした保健、医療及び福祉の関係機関・団体等との連携強化
 - ② 地域福祉活動計画の策定
 - ③ 地域福祉力向上を目指した事業の企画・実施



主な活動の様子



定例会



支部役員新任者研修



支部ブロック別研修



支部全体研修



見守り推進員全体研修



視察研修



先進地研修



広報研修



会計研修

2 社協支部の財源状況

社協支部の財源について、超少子高齢化等により地域福祉において「新たな支え合い」が求められることを想定し、その根底となる財源の確保が大きな課題となっています。

貴重な会費等の財源を公平に配分し有効に活用するため、支部運営助成の方式を以下のようにしています。

<財源の区分及び内容>

(平成22年度以降～)

区 分	内 容
会 費	住民会費の50%を助成 特別会費・法人会費の100%全額を助成
委 託 金	見守り推進員事業委託金 (平成24年度より市から直接振込)
共同募金配分金	共同募金(目標額超過分を配分) 歳末たすけあい募金(全額を配分)
寄 付 金	まごころ銀行指定寄付金 その他一般寄付金等



■事務拠点：惣開公民館



■校区の概況・地域特性

住友各社の社宅住居者が多く、高齢化率は市内で最も低い企業城下町である。ただし、高齢化率の高低は自治会によって格差が大きいことから、一部の地域では、高齢化が進み、若い世代の力に期待している地域も存在する。平成27年度からは、地域の絆を育むために、「今宵はそうびらき未来への鉱脈&観月会」を校区が一体となって開催してきた。惣開校区の目玉行事として、これからも継続して地域の絆を築いていきたい。

■スローガン

「みんなで地域の絆を築こう」

■基本方針

誰もが安心して暮らせる健康で明るく住みよい地域づくりを目指し、地域に根ざした活動を推進する。校区の関係機関、団体との一層の連携を図り、地域住民の善意を結集して、身近な福祉課題の解決を図る。

■惣開支部の概要

令和元年度

社協会員数	1,061世帯
活動拠点	惣開公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(1)・参与(1)・部長(3)・会計監査(2)・理事(10)・評議員(30)
会議の開催	総会(年1回)、理事会(年12回)、見守り推進員連絡会(年4回)
令和元年度社協会費実績	385,100円



今宵はそうびらき未来への鉱脈&観月会



はっぴい*ママ

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ふれあいサロント涼み会 ・シニア教室 ・高齢者交流会 ・独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・子育てサロン ・プリンス&プリンセス講座助成
世代間交流事業	・今宵はそうびらき未来への鉱脈&観月会
歳末たすけあい事業	・三世代交流餅つき大会 ・七草粥

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・民生児童委員と見守り推進員の連携を強化する ・気軽にあいさつ-声かけをする（見守り）
児童関係	・企画したイベントを地域で取組む ・小-中学校の福祉教育学習に協力する ・はっぴい＊ママへの支援を継続する
世代間交流	・三世代交流イベントに校区全体で取組む（夕涼み会・観月会） ・産業遺産を活用して地域の良さを再発見できる地域活動を行う
障がい者関係	・相談支援事業所や発達支援センターの活用方法や、相談対応の流れを学び活かす
困りごと支援	・相談窓口の周知と各種機関へつなげる体制をつくる
組織・運営関係	・団体相互の連携を深める ・地域の課題を話し合える場をつくる ・支部だより「さんさん」を発行する
防災関係	・防災意識を高め、災害に強いまちづくりを推進する。



夕涼み会



プリンス&プリンセス講座



新居浜市社会福祉協議会惣開支部 社会資源シート

I. 地域情報

R2.4.1 現在

	項 目	惣開校区
人口指標	人 口	4,168 人
	世帯数	2,000 世帯
	65 歳以上人口	810 人
	高齢化率	19.4%
	後期高齢化率	11.0%
	高齢者夫婦世帯数	143 世帯
	独居高齢者数	98 人
	見守り対象者数	76 人
	緊急通報装置設置	0 世帯
	福祉電話設置	0 世帯
学校等	高等学校	1 校 (504 人)
	中学校	1 校 (208 人)
	小学校	1 校 (340 人)
	幼稚園(認定こども園含む)	2 園
	保育園	—
団体・組織等	民生児童委員	9 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	8 人
	自治会	14 自治会
	自主防災組織	1 組織
	老人クラブ	—
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	5 サロン
	・参加者数	5,035 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	296 人
	特色ある校区独自組織	・観月会実行委員会 ・夕涼み会実行委員会 ・前田交番連絡協議会 ・文化祭実行委員会



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	惣開公民館、別子銅山記念図書館、イオンモール新居浜
	自治会館等	7カ所 中新田自治会館、河内自治会館、東山田自治会館、ミナス北泉自治会室、ミナス河内自治会室、北新町団地集会所 王子アパート111号室
	その他	リーガロイヤルホテル新居浜
災害時拠点	指定避難所	惣開公民館、惣開小学校、西中学校、新居浜工業高校
	指定緊急避難場所	惣開小学校グラウンド、西中学校グラウンド、新居浜工業高校グラウンド
	防災倉庫	惣開公民館
	その他災害時に使える拠点	住友金属鉱山星越グラウンド 住友金属鉱山別子体育館、住友金属鉱山社員専用テニスコート 新居浜警察署前田交番
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】居宅介護支援事業所 芳光 【訪問介護】ヘルパーステーション芳光 【通所リハビリテーション】住友別子病院 【通所介護】デイサービスセンターおくじま 【介護老人保健施設】小規模介護老人保健施設 王子苑 【高齢者向け住宅】ケアホームおくじま、ケアホーム芳光、ケアホーム芳光2号館
	こども施設	王子幼稚園、認定こども園泉幼稚園、(キッズパオイオンモール新居浜園)、(住友別子病院内保育所王子キッズ)
	その他施設 (グループホーム)等	【認知症対応型共同生活介護】グループホームおくじま
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		住友別子病院、十全総合病院、せんば眼科
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		ユニクロフォレオにいしま、くすりのレディ新居浜前田店、洋服の青山、ファッションセンターしまむら新居浜店、イオン新居浜ショッピングセンター 四国労働金庫新居浜支店
その他活用可能な社会資源		住友倶楽部山田ゴルフ場



■事務拠点：若宮公民館



■校区の概況・地域特性

市内でも高齢化率の高い地域。地域の環境は住友企業が近くに林立し、住工共存の町である。地区内にはスーパー等が少なく、隣接にある大型ショッピングセンター等買い物に出かけている。児童も少なくなり、惣開小学校に統合されたが、子どもたちを地域の宝として健やかに育つように、地域全体で守り育てていきたいと願っている。高齢者も健康長寿で暮らせるように積極的に活動を行っている。

■スローガン

「変革しよう！ 社協若宮」

■基本方針

「誰もが、住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域住民が一つのコミュニティとしてまとめ、支え合っている体制づくりを推進する」を基本方針に、「変革しよう！ 社協若宮」の スローガンのもと、地区内の各種団体と協力しながら事業の推進を図る。

■若宮支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	477世帯
活 動 拠 点	若宮公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(2)・顧問(3)・事務局長(1)・役員(18)・評議員(16)
会 議 の 開 催	総会(年1回)、役員会・理事会(年6回)、見守り推進員連絡会(年12回)
令和元年度 社協会費実績	594,700円



高齢者ビデオシアター



独居高齢者赤飯配り

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者の集い・知っ得シニア講座・ビデオシアター ・ 独居高齢者見守り推進事業・ふれあいいきいきサロン支援
児童関連事業	・ 子育てサロン（0・1・2・3 わかみや）・放課後子ども教室 ・ 青少年健全育成の推進
歳末たすけあい事業	・ ふれあい訪問事業・独居高齢者訪問事業

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ 公民館との共催事業（高齢者のつどい等）の継続支援
	・ 高齢者が孤立しない地域づくりの推進
児童関係	・ 子育てサロン「0・1・2・3 わかみや」の充実支援
	・ 子どもの安全確保のため、地域見守り活動を継続する
	・ 若宮こども教室の継続実施
世代間交流	・ 幅広い層が参加できる三世代交流事業の充実支援
	・ 地域伝統行事の継承
障がい者関係	・ 地域行事等での交流の場づくり
	・ 地域活動に参加しやすい環境の配慮
困りごと支援	・ 地域福祉関係団体と連携した困りごと支援
組織・運営関係	・ 自治会と社協を含めた地域全体での活動連携の推進
	・ 地区防災訓練、避難所訓練等への取り組み支援
	・ 魅力的な活動の情報発信と財源確保
	・ 若い世代の後任育成



子育てサロン「0・1・2・3 わかみや」



青少年健全育成千支づくり



新居浜市社会福祉協議会若宮支部 社会資源シート

I. 地域情報

R2.4.1 現在

	項 目	若宮校区
人口指標	人 口	1,667 人
	世帯数	974 世帯
	65 歳以上人口	594 人
	高齢化率	35.6%
	後期高齢化率	20.6%
	高齢者夫婦世帯数	118 世帯
	独居高齢者数	147 人
	見守り対象者数	72 人
	緊急通報装置設置	1 世帯
	福祉電話設置	0 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	—
	小学校	—
	幼稚園	—
	保育園	1 園
団体・組織等	民生児童委員	7 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	11 人
	自治会	7 自治会
	自主防災組織	2 組織
	老人クラブ	1 クラブ (160 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	5 サロン
	・参加者数	523 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	320 人



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	若宮公民館
	自治会館等	3カ所 新田自治会館、磯浦自治会館、西の谷集会所
	その他	磯浦老人憩いの家
災害時拠点	指定避難所	若宮公民館、若宮学習館（旧若宮小学校）
	指定緊急避難場所	若宮学習館（旧若宮小学校）グラウンド
	福祉避難所	グループホーム香り草、新田診療所
	防災倉庫	若宮公民館
	その他災害時に 使える拠点	金子西分団
公園		新田児童遊園地、新田ふれあい広場
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】居宅介護支援センターそらいろのたね 【通所リハビリテーション】新田診療所
	こども施設	若宮保育園
	その他施設 （グループホーム）等	【認知症対応型共同生活介護】グループホーム香り草
医療機関 （歯科・整骨院等を除く）		新田診療所
生活関連機関 （主なスーパー、商店等）		カントメ産業、ニトリ新居浜店、大西商店 ローソン新居浜新田町店、ファミリーマート新居浜工場前店
その他活用可能な社会資源		別労会館、住友金属鉱山磯浦グラウンド 愛媛県トラック協会東予地区研修センター、住友化学新田体育館 等



■事務拠点：口屋跡記念公民館

■校区の概況・地域特性



宮西校区は太鼓祭りで有名な一宮神社から北西の地域で、新居浜市の中心に位置し、北の海岸部は工業地帯、商店街も立ち並ぶ商業中心の町である。日本三代銅山であった別子銅山300余年の歴史をもつ口屋跡を中心に、市の経済、文化の要所として発展してきた。口屋跡記念公民館には「あかがねの松」が今なお青々と繁って生きつづけ、館内には、「口屋あかがねの会」作成による昔の口屋を再現したジオラマが展示されている。口屋音頭は校区の伝統芸能として子どもたちへ今なお語り継がれている。

■スローガン

「一人ひとりがみんなのために、
みんなが一人のために」

■基本方針

「一人ひとりがみんなのために、みんなが一人のために」のスローガンのもと、組織づくり、体制づくりに重点をおき、総合的に活動する。各種団体の協力を得て、地域に定着した福祉活動及び青少年の健全育成の実を図る。

■宮西支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	1, 0 3 2 世帯
活 動 拠 点	口屋跡記念公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(4)・顧問(3)・事務局長(1)・会計(1)・監査(2)・理事(42)
会 議 の 開 催	総会(年1回)、役員会・理事会(年6回)、見守り推進員連絡会(年12回)
令 和 元 年 度 社協会費実績	288, 200円



七草粥



三世代ふれあい交流大会(もちつき)

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者いきいきサロン ・ 独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ 児童見守り隊支援
世代間交流事業	・ 観月会&マンドリンミニコンサート支援
歳末たすけあい事業	・ 三世代ふれあい交流事業 ・ 歳末赤飯配食

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ 高齢者いきいきサロンの充実と継続
	・ 高齢者が集う場づくりと健康や介護予防などの情報提供支援
	・ 住んで良かったと思えるまちづくりの推進
児童関係	・ 子育てサロン「ひよこっこ」の拡充と支援
	・ 児童見守り隊による活動の継続
	・ 関係団体と連携強化し、地域に誇りをもつ子どもを育成する
世代間交流	・ 既存事業の継続と充実支援
	・ 交流の場づくりと活動支援
障がい者関係	・ 支援センターと連携したサポートの強化
	・ 災害時における障がい者家族への支援の充実
	・ 地域行事への参加支援
困りごと支援	・ 関係機関と連携した地域ネットワーク構築強化
	・ 相談窓口となる社会資源の周知
組織・運営関係	・ 各種団体との連携による支部活動の活性化
	・ 活動継続のため人材確保に取り組む
	・ 組織に広がりをもたせた協力体制づくり
その他	・ 支部活動の周知拡大と理解促進



昔の遊び



校区探検



新居浜市社会福祉協議会宮西支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	宮西校区
人口指標	人 口	4,751 人
	世帯数	2,589 世帯
	65 歳以上人口	1,354 人
	高齢化率	28.5%
	後期高齢化率	14.8%
	高齢者夫婦世帯数	240 世帯
	独居高齢者数	150 人
	見守り対象者数	108 人
	緊急通報装置設置	5 世帯
	福祉電話設置	2 世帯
学校等	高等学校	1 校 (845 人)
	中学校	1 校 (192 人)
	小学校	1 校 (217 人)
	幼稚園	2 園
	保育園	4 園
団体・組織等	民生児童委員	14 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	13 人
	自治会	8 自治会
	自主防災組織	4 組織
	老人クラブ	5 クラブ (179 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	3 サロン
	・参加者数	125 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	231 人
	特色ある校区独自組織	・ 口屋あかがねの会 ・ くちやあゆみの会



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	口屋跡記念公民館、銅夢市場
	自治会館等	5カ所 西原自治会館、中須賀自治会館、西町自治会館、泉池自治会館、宮西泉宮自治会館
	その他	文化振興会館(徳常自治会)
災害時拠点	指定避難所	宮西小学校、北中学校、新居浜西高等学校、文化振興会館 口屋跡記念公民館
	指定緊急避難場所	宮西小学校グラウンド、北中学校グラウンド、新居浜西高等学校グラウンド、憩いの森、中須賀公園、中央公園
	福祉避難所	新居浜特別支援学校川西分校、ベストケア・デイサービスセンターひうち、ショートステイひうち
	防災倉庫	口屋跡記念公民館
	その他災害時に使える拠点	新居浜西分団、新居浜東分団、新居浜警察署中央交番
公園		中須賀公園、口屋跡記念公民館、憩いの森、中央公園
福祉施設	高齢者施設	【通所介護】シニアセンターvivid、ベストケア・デイサービスセンターひうち 【通所リハビリテーション】ながやす整形外科クリニック
	こども施設	新居浜保育園、十全保育園、かがやき保育園、こども園みるみる、(保育園ルームひだまり)、聖マリア幼稚園、愛光幼稚園
	障がい施設	【通所系】ナイスにしばら、キッズなないろ、サスケ工房・こども発達支援センター
	その他施設 (グループホーム)等	青少年センター 【福祉用具】(株)曾我商会新居浜事業所、(株)翼愛媛営業所
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		井石内科医院、田所耳鼻咽喉科、ながやす整形外科クリニック、中山皮膚科クリニック、新居浜山内病院、山本小児科クリニック、弓山眼科医院、ひまわりクリニック
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		フレッシュバリュー西原店、商店街ロード(呉服、衣料、雑貨、時計、宝石等)、ローソン新居浜宮西町店、ファミリーマート(新居浜宮西店、新居浜泉池店、新居浜徳常町店)、喜多ハ精肉店 他多数
その他活用可能な社会資源		武徳殿、市民文化センター、新居浜郵便局、NTT、一宮神社、伊予銀行新居浜支店、東予信用金庫本店、香川銀行新居浜支店、高知銀行新居浜支店、三井住友銀行新居浜支店、愛媛東部ヤクルト販売本社ビル、新居浜港湾合同庁舎、登道アーケード、昭和通り商店街、新居浜区検察庁、新居浜簡易裁判所 他



■事務拠点：新居浜公民館

■校区の概況・地域特性



新居浜校区は、国領川以西（川西地区）の一番東の海岸よりに位置しており、住宅地の海側には、住友化学関係の工場が存在している。住民の職業は、商業・工業・漁業・農業・会社員と多岐に亘っている。公民館を中心に、各種団体が連携し、校区全体で取り組むイベントが数多く存在し活発である。創立 145 年を超える伝統ある新居浜小学校の児童を地域一体で育成する活動は新居浜校区のモットーとしてこれからも育んでいきます。

■スローガン

「地域住民の福祉向上のために、各自が積極的な活動の実践を行う」

■基本方針

誰もが、住み慣れた地域で、安心して安全に暮らせる地域づくりのために、市社協や地域包括支援センターと連携を密にして、高齢者の生きがいや健康づくり、子育て支援事業等を推進する団体として、地域住民から信頼される事業展開と組織強化をすすめていく。

■新居浜支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	1, 228 世帯
活 動 拠 点	新居浜公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(3)・顧問(1)・事務局長(1)・役員(7)・理事(49)・評議員(63) ※理事・評議員は延べ人数
会 議 の 開 催	総会（年1回）、理事会（年1回）、役員会(年12回)、見守り推進員連絡会(年4回)
令 和 元 年 度 社協会費実績	550,800円



しめ縄づくり



防災講座

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者いきいきサロン ・ 独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ 少年式お祝い
世代間交流事業	・ 独居高齢者への年賀状送付 ・ もちつき、しめ飾り、凧作り体験 ・ 三世代健康ウォーク
歳末たすけあい事業	・ 高齢者ふれあい訪問事業 ・ 子ども会／老人会等支援事業
その他事業	・ 中央児童センター 新春もちつき大会支援

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ 民生委員と見守り推進員の連携を強化し、情報収集の共有化を含め、見守り体制の充実を図る
	・ 高齢者サロン活動の推進と内容や管理の充実
児童関係	・ 子育てサロンのさらなる充実と広報啓発の推進
	・ 地域で連携した支援の検討（児童数の地域格差を考慮した）
世代間交流	・ 公民館及び地域関係施設との連携による、三世代交流事業の伝承と推進
	・ ジュニアリーダー防災士養成の継続推進
	・ 交流事業活動の推進に向けた協議の活性化
障がい者関係	・ 障がい者（世帯）についての情報把握を推進
	・ 災害時の供えとして、支援活動がスムーズに行えるための連携協議の実施
困りごと支援	・ 気軽に声かけられる関係作りの推進
	・ 関係団体と連携しながら、情報収集の推進について検討
組織・運営関係	・ 行政及び各種福祉関係団体との連携を強化し、協働した福祉事業の効果的な推進
	・ 自治会役員、青年団との交流を活性化



校区防災訓練



子育てサロン「えんぜるっこ」



新居浜市社会福祉協議会新居浜支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	新居浜校区
人口指標	人 口	4,302 人
	世帯数	2,258 世帯
	65 歳以上人口	1,476 人
	高齢化率	34.3%
	後期高齢化率	19.7%
	高齢者夫婦世帯数	260 世帯
	独居高齢者数	187 人
	見守り対象者数	123 人
	緊急通報装置設置	8 世帯
	福祉電話設置	1 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	—
	小学校	1 校 (174 人)
	幼稚園	1 園
	保育園	3 園
団体・組織等	民生児童委員	13 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	15 人
	自治会	8 自治会
	自主防災組織	3 組織
	老人クラブ	—
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	8 サロン
	・参加者数	1,371 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	351 人
	特色ある校区独自組織	・愛花人新居浜支部 ・校区まちづくり推進協議会



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	新居浜公民館、新居浜公園（市営野球場）
	自治会館等	8カ所 大江自治会館、東須賀自治会館、東町自治会館、昭七自治会館、西新須賀自治会館、新須賀自治会館、旭自治会館、若水自治会館
災害時拠点	指定避難所	新居浜小学校、新居浜公民館
	指定緊急避難場所	新居浜小学校グラウンド、新須賀公園、新居浜公園（市営野球場）
	福祉避難所	ハビリテーリングセンターvivre、若水館、若水ケアセンター、協立病院
	防災倉庫	新居浜公民館
	その他災害時に使える拠点	ベルモニー会館菊本、住友化学菊本グラウンド、フィッタ新居浜
公園		新須賀公園、新居浜公園（市営野球場）、ふれあい広場（大江広場）自彊舎跡地
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】ケアサポート・ライカ、新居浜協立病院 【訪問介護】訪問介護事業所すみれ、ヘルパーステーション若水館、若水在宅ケアステーション、ヘルパーステーションあさひ 【特別養護老人ホーム】若水館 【介護老人保健施設】若水ケアセンター 【小規模多機能型居宅介護】ケアサポートセンター若水 【通所介護】ケアサポート・ライカ、デイサービス花みずき 【通所リハビリテーション】若水ケアセンター、新居浜協立病院
	こども施設	はびねすnursery school、菊本幼稚園、朝日保育園、子育てひろばラトルみなと保育園、朝日保育園地域子育て支援センター、（すみかキッズえひめ）
	障がい施設	【通所系】ハビリテーリングセンターvivre、KID ACADEMY 新居浜校、ひらり新居浜ルーム、クックチャム my mama
	その他施設（グループホーム）等	【認知症対応型共同生活介護】グループホームおてだま、グループホームとらや 【高齢者向け住宅】ライカハウス、住宅型有料老人ホーム CACA 若水、住宅型有料老人ホーム慈花、高齢者賃貸マンション麗花
医療機関 （歯科・整骨院等を除く）		協立病院、近藤医院 河本医院、セントラルクリニック
生活関連機関 （主なスーパー、商店等）		フジグラン新居浜店、マルナカ若水店、セブンイレブン元塚店、木原玩具ファミリーマート新居浜新須賀町店、業務スーパー、くすりのレディ新居浜店、泉本商店、クックチャム、丸幸、カフェレストガスト、秋月食品 他
その他活用可能な社会資源		圓福寺、堀江神社、新須賀大師堂、新須賀庚申堂、新須賀荒神社 東町観音堂、旭地蔵堂由来、壇原宮、柿の木神社、石鎚神社、清扇寺大江浜蛭子神社・魚塚、新居浜下水処理場、新居浜市最終処分場 つづら淵、自彊舎跡、新居浜ほっとねっと など



■事務拠点：地域交流センター

■校区の概況・地域特性



金子校区は、新居浜市のほぼ中央に位置し、東西に広く、静かな田園に囲まれた兼業農家や、市役所をはじめ官公庁群の混在する住宅地区である。豪華絢爛の新居浜太鼓祭りで有名な一宮神社の楠木（天然記念樹）は、歴史の長さを物語っている。川西地区 6 校区のなかで面積や人口は最大の校区であり、ラブ金子ふるさと夏まつり等の古くからの伝統的行事も存在する。

■スローガン

「めざそう！福祉の向上と
健康で明るいまちづくり」

■基本方針

誰もが、住み慣れた地域で安心して生活できるように、市社協と連携を図り、地域の支え合い体制づくりを推進する。地域住民や各種団体をはじめ、福祉施設との交流を深め、連携を充実させるとともに、地域住民が主体性をもち、地域力を活かし安心して暮らし続けられる住民福祉力の向上を目指した地域づくりを推進する。

■金子支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	2, 6 0 1 世帯
活 動 拠 点	地域交流センター
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(3)・顧問(3)・事務局長(1)・理事(29)・評議員(83) ※評議員は延べ人数
会 議 の 開 催	評議員会（年1回）、理事会（年6回）、見守り推進員連絡会（年8回）
令 和 元 年 度 社協会費実績	1, 0 4 4, 1 0 0 円



子育て支援読み聞かせ



保育園児とじゃがいも掘り

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ふれあいいきいきサロン ・校区連合老人会カラオケ大会支援 ・金婚式祝賀事業支援 ・独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・子育てサロン ・保育園児じゃがいも掘り体験 ・絵本読み聞かせ
世代間交流事業	・ラブ金子ふるさと夏まつり事業支援 ・早朝ラジオ体操事業支援 ・しめ縄-竹馬作り教室開催支援
歳末たすけあい事業	・独居高齢者訪問事業 ・高齢者交流輪投げ大会
その他事業	・障がい者福祉センターとの訪問交流事業

■支部活動の目標（5か年）

区分	内容
高齢者関係	・高齢者関連事業の継続と充実支援
	・民生委員と見守り推進員の密な連携による独居高齢者見守り推進事業の継続
児童関係	・子育てサロン「ぽんぽこ」の充実支援と活動の周知拡大
	・地域全体での児童見守り活動の継続
世代間交流	・三世代交流事業イベントの支援
	・昔の遊び、伝統文化継承
障がい者関係	・障がい者福祉センター訪問交流事業の継続
	・じゃがいも・さつま芋掘り体験を通じて地域交流
困りごと支援	・困りごと相談窓口の周知
	・困りごとを抱える地域住民への情報提供と関係機関との連携
組織・運営関係	・各種団体と連携・情報共有・理解を深め、校区全体の活動を促進する
	・活動を広くPRし、特別会員・法人会員を拡充する
その他	・あいさつ運動を強化し、魅力あるまちづくりを目指す
	・各地区での防災運動実施に向けて、声掛けと地域全体の防災意識向上支援



障がい者福祉センターとの交流会



独居高齢者訪問



新居浜市社会福祉協議会金子支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	金子校区
人口指標	人 口	11,181 人
	世帯数	5,416 世帯
	65 歳以上人口	3,009 人
	高齢化率	26.9%
	後期高齢化率	14.5%
	高齢者夫婦世帯数	577 世帯
	独居高齢者数	327 人
	見守り対象者数	258 人
	緊急通報装置設置	11 世帯
	福祉電話設置	1 世帯
学校等	高等学校	1 校 (1,101 人)
	中学校	1 校 (431 人)
	小学校	1 校 (635 人)
	幼稚園	1 園
	保育園	3 園
団体・組織等	民生児童委員	24 人
	主任児童委員	3 人
	見守り推進員	28 人
	自治会	11 自治会
	自主防災組織	9 組織
	老人クラブ	8 クラブ (291 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	8 サロン
	・参加者数	7,593 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	133 人
	特色ある校区独自組織	・埼玉県入間市立金子公民館との姉妹館交流 ・防災運動会 ・ラブ金子ふるさと夏まつり実行委員会 ・小女郎たぬき踊り保存会子ども教室



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	地域交流センター、ウイメンズプラザ（民生委員校区は金栄校区）、新居浜市役所、新居浜税務署、新居浜労働基準監督署、新居浜警察署、新居浜商工会館、日本年金機構新居浜年金事業所
	自治会館等	11カ所 一宮町自治会館、一宮会館、久保田自治会館、江口自治会館、庄内自治会館、城下町自治会館、田所自治会館、東庄内自治会館、八雲町自治会館、平形集会所、新居浜東団地集会所
	その他	一宮神社
災害時拠点	指定避難所	金子小学校、南中学校、新居浜高専、地域交流センター、ウイメンズプラザ
	指定緊急避難場所	金子小学校グラウンド、南中学校グラウンド、新居浜高専グラウンド
	福祉避難所	障がい者福祉センター、プラチナガーデン、ハ雲ガーデン、ゆうらり昭和館、デイサービスセンターゆうらり
	防災倉庫	地域交流センター
	その他災害時に使える拠点	金子東分団、金子南分団、金子中分団、ホテルマックスビジョン、ホテルルートイン新居浜、ホテルα-1新居浜
公園		平形上こども広場、庄内東こども広場、国領川河川敷遊歩道
福祉施設	高齢者施設	【居宅支援事業所】居宅介護支援事業所はびねす、社協介護事業所、居宅介護支援センター青い鳥、サン居宅介護新居浜事業所、アシストジャパン居宅介護支援事業所東予、居宅介護支援事業所幸 【訪問介護】社協訪問介護事業所、ケアステーション青い鳥、サン訪問介護新居浜事業所、ヘルパーステーション桃花、ニカサ新居浜店、ヘルパーステーションゆうらり 【介護予防支援事業所】 新居浜市地域包括支援センター 【小規模多機能型居宅介護】 ケアサポートセンターハ雲 【通所介護】 通所介護事業所プラチナガーデン、デイサービスセンターゆうらり、ケアプラザ「サン愛」久保田事業所、デイサービス花園、介護プラザサン 【認知症対応型通所介護】 なごみの里「金子」 【特別養護老人ホーム】プラチナプレイス 【地域密着型介護老人福祉施設】 シニアリビングハ雲ガーデン 【高齢者向け住宅】サン愛、高齢者専用賃貸住宅CASAハ雲、ゆうらり昭和館 【軽費老人ホーム（ケアハウス）】 プラチナガーデン
	こども施設	金子保育園、ハ雲保育園、シオン幼稚園、かがやきぶらす保育園、中央児童センター、（十全総合病院保育室）、（ヤクルト新居浜中央センター託児所）
	障がい施設	新居浜市障がい者福祉センター、就労継続支援事業所 topa-s、えーる、えーるきた、えーるいーすと
	その他施設（グループホーム）等	東予若者サポートステーション、新居浜公共職業安定所 【認知症対応型共同生活介護】グループホーム プラチナガーデン 【福祉用具】 うららか福祉サービス(株)
医療機関 （歯科・整骨院等を除く）		こにしクリニック、こんどう外科内科胃腸科クリニック、新谷ウイメンズクリニック、いしづち眼科、吉松外科胃腸科医院、えもり内科クリニック、はびねす内科クリニック、新居浜市医師会内科・小児科急患センター
生活関連機関 （主なスーパー、商店等）		マルナカ久保田店、木村チェーン田所店、生活協同組合コープえひめ金子店、いよてつ高島屋新居浜店、うめのや田所店、オオウエスポーツ、読売新聞新居浜東、サイクルベースあさひ新居浜店、愛媛新聞新居浜エリアサービス新居浜中央、新居浜ビジネスセンター、ディスカウントドラッグコスモス江口店、7アッシュンセンターしまむら 他
その他活用可能な社会資源		愛媛信用金庫新居浜支店、JAえひめ未来、JAえひめ未来金子支所 宗像神社、宗像寺、慶正寺、天理教城下分教会 他



■事務拠点：金栄公民館

■校区の概況・地域特性



金栄校区は、新居浜市のほぼ中心部に位置し、自然環境に恵まれた地域で、古刹や文化財も多い。校区の住民は人情に厚く、強い絆で結ばれており、心やさしいボランティアの盛んなまちづくりを目指して活発に活動している。金栄ボランティアの会の運営や自治会単位でのサロンの実施、校区全体での集いなど「出会い、学びあい、心をむすぶ」活動が福祉の輪を広げている。

■スローガン

「金栄は一つ みんなで広げよう福祉の輪」
「向こう三軒両隣 暮らしの中にボランティア」

■基本方針

社協金栄支部は、地域福祉推進の基盤組織として、支部の活動体制を強化し、「社協金栄支部地域福祉活動計画(5か年)」に基づき、福祉活動を計画的に推進して、校区の福祉活動の基盤を支えていく。今後も、事業レベルの向上と地域の特性を生かすことを目指します。

■金栄支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	1, 3 4 0世帯
活 動 拠 点	金栄公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(6)・顧問(2)・事務局長(1)・役員(12)・理事(20)・ 評議員(69) ※理事・評議員は延べ数
会 議 の 開 催	総会(年1回)、理事会・役員会(年6回)、見守り推進員連絡会(年12回)
令 和 元 年 度 社 協 会 費 実 績	7 3 3, 0 0 0円



いきいきサロン



ドリームツリー

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者いきいきサロン ・ 敬老事業支援 ・ 独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ 伝承文化の継承支援 ・ 金栄小児童と高齢者(独居)との交流活動支援
世代間交流事業	・ ドリームツリーふれあい広場支援
歳末たすけあい事業	・ 長期介護者支援事業 ・ 金栄ふれあいの集い

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ ふれあい・いきいきサロンの活性化支援と広報拡大
	・ 老人クラブ活動の活性化支援
	・ 各高齢者福祉事業の充実支援と支え合いの体制づくり促進
	・ 川西高齢者福祉センターとの地域連携（見学、講習、講師派遣等）
児童関係	・ 子育てサロンの継続支援
	・ 伝統文化（トンカカさん踊り）の継承
	・ 金栄手伝い隊活動の継続、参加促進
世代間交流	・ 児童登下校時の地域全体での見守り活動
	・ 公民館と連携した「かるがもクラブ」の充実支援
	・ 三世代交流事業の充実支援
障がい者関係	・ 若い世代との連携強化と地域活動の継承
	・ コミュニティスクール事業での連携、交流
困りごと支援	・ 福祉施設との交流
	・ 特別支援学校との連携
組織・運営関係	・ 障がい福祉理解のための学習機会の提供
	・ 関係団体、関係機関との地域ネットワーク連携強化
その他	・ 近隣や住民同士の助け合い活動の推進
	・ 金栄支部だより充実による活動の魅力発信
その他	・ 特別会員、法人会員の加入促進
	・ ボランティア活動の推進と後任育成
その他	・ 防災意識向上と災害に強いまちづくりの推進
	・ 地区防災計画の取り組み支援



トンカカさん踊り保存



金栄ふれあいの集い



新居浜市社会福祉協議会金栄支部 社会資源シート

1. 地域情報

R2.4.1 現在

	項 目	金栄校区
人口指標	人 口	6,148 人
	世帯数	2,839 世帯
	65 歳以上人口	1,520 人
	高齢化率	24.7%
	後期高齢化率	13.0%
	高齢者夫婦世帯数	307 世帯
	独居高齢者数	141 人
	見守り対象者数	102 人
	緊急通報装置設置	7 世帯
	福祉電話設置	4 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	—
	小学校	1 校 (418 人)
	幼稚園	—
	保育園	0 園
団体・組織等	民生児童委員	11 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	11 人
	自治会	6 自治会
	自主防災組織	5 組織
	老人クラブ	2 クラブ (128 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	6 サロン
	・参加者数	1,323 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	242 人
	特色ある校区独自組織	・かるがもクラブ (地域子供教室) ・金栄地区防災計画策定会議 ・地域福祉活動計画策定委員会 ・金栄トンカカさん踊り保存会 ・金栄ドリームツリー実行委員会 ・NPO法人金栄会



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	金栄公民館、ふれあいプラザ、川西高齢者福祉センター、保健センター 新居浜ウイメンズプラザ、JR 新居浜駅、滝の宮公園 など
	自治会館等	6カ所 西の土居自治会館、高木自治会館、駅前自治会館、滝の宮自治会館 政枝集会所、政枝西自治会館
	その他	総合福祉施設「やすらぎの郷」、お茶屋の里、なごみの里「金栄」、 シルバー人材センター
災害時拠点	指定避難所	金栄小学校、金栄公民館、総合福祉センター、慈光園（コロナの場合除く）、ウイメンズプラザ
	指定緊急避難場所	金栄小学校グラウンド、駅前西公園、駅前南公園、駅前中央公園、正光寺山古墳公園
	福祉避難所	総合福祉センター、あゆみ苑、きぼうの苑、デイサービスお茶屋、グループホーム上の茶屋、グループホームはなれ茶屋、デイサービスセンターファイトえひめ
	防災倉庫	金栄公民館
	その他災害時に使える拠点	新居浜警察署駅前交番、レイ・グラッツェふじ 新居浜テレコムプラザ（倒壊しない場合）、未来高等学校新居浜分校
公園		滝の宮公園、政枝児童遊園地、駅前西公園、駅前南公園、駅前中央公園 正光寺山古墳公園
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】きぼうの苑、新居浜市医師会、お茶屋の里、カミングケアステーション 【訪問介護】ヘルパーステーション医師会、ヘルパーステーションお茶屋の里、訪問介護事業所きぼうの苑、ファイトえひめ、ニチケアセンターにはま 【通所介護】きぼうの苑、デイサービスセンターお茶屋、いきいきらいふSPA中の茶屋、デイサービスセンターファイトえひめ、ケアプラザ「サン愛」坂井事業所 【認知症対応型通所介護】なごみの里「金栄」 【特別養護老人ホーム】きぼうの苑 【高齢者向け住宅】御茶屋荘、シニア政枝 【養護老人ホーム】慈光園 【軽費老人ホーム】夢テラス 川西高齢者福祉センター
	こども施設	子育て広場キッズ政枝
	障がい施設	【相談支援事業所】生活支援センターあゆみ苑 【就業・生活支援】障がい者就業・生活支援センターエール 【通所系サービス】あゆみ苑、サスケ・アカデミー、グルポ、福祉の店コットン、療育ルームいろは、放課後クラブぴあ 【児童発達支援事業所】はげみ園 【入所施設(短期含む)】あゆみ苑
	その他施設 (グループホーム)等	【認知症対応型共同生活介護】グループホーム上の茶屋、グループホーム下の茶屋 グループホームはなれ茶屋、グループホーム・カミングケアステーション
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		Dクリニック駅前医院、くろみつ眼科、浜本内科、保健センター、医師会、 こんどう心療内科
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		マックスバリュ西の土居店、ホームセンターダイキ新居浜西店、ドラッグストアマック西の土居店、ローソン西の土居店、はま寿司、ファミリーストアあらい、ハタダ滝の宮公園前店、フェアリーテール、遊食房屋新居浜店、アンシャンテ・マナベ、フジ新居浜駅前店、くすりのレディ庄内店、セブンイレブン高木町店 他多数
その他活用可能な社会資源		新居浜インドアテニスクラブ、滝の宮オートテニスセンター、バッティングセンター、金子山古墳、正光寺山古墳、慈眼寺、真光寺、河内寺、滝神社、青木神社、五輪の塔群、お茶屋観音堂、滝の宮池と句碑、大徳寺、南福寺 他



■事務拠点：高津公民館



■校区の概況・地域特性

高津校区は、市の中央を貫流する国領川の東側に位置し、人口規模や面積が非常に大きな地域である。中心部にある高津公民館は、地域住民の福祉、文化、芸能などの活動の拠点として多くの人が利用している。現在、高津まちづくり構想を策定しその実現化のため「高津まちづくり実行推進会議」を組織し、高津校区のみなさんが安心して暮らせる笑顔あふれる地域づくりを目指して校区一丸となって取り組んでいる。

■スローガン

「健やかで笑顔あふれる住みよい地域づくり」

■基本方針

「健やかで笑顔あふれる住みよい地域づくり」のスローガンのもと、高津支部は、連合自治会・民生児童委員協議会・老人クラブ連合会など各関係団体・機関と交流、連携を図り、互いに助け合い地域の実情に合った諸活動を計画的に実施する。

■高津支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	2, 5 5 2 世帯
活 動 拠 点	高津公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(3)・顧問(3)・事務局長(1)・役員(10)・理事(11)
会 議 の 開 催	総会(年1回)、役員理事会(年12回)、世話人会(年3回)、見守り推進員連絡会(年12回)
令 和 元 年 度 社協会費実績	636, 200円



ふれあいいきいきサロン



子育てサロン・カンガルークラブ

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ふれあいいきいきサロン ・ふれあいスポーツサロン ・一日敬老事業 ・独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・子育てサロン ・青少年健全育成講演会
世代間交流事業	・れんげ祭り支援 ・納涼夏祭支援 ・歩け歩け大会支援
歳末たすけあい事業	・ビックサロン ・ふれあい訪問事業
その他事業	・校区防災訓練参加

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・いきいきサロンを中心に登録者数の増大を図り、内容を吟味して拡充 ・一日敬老事業等内容及び時間配分を検討
児童関係	・子育てサロンの更なる周知徹底を促進 ・各種事業に対し、季節・人数に合わせた活動内容を工夫し、参加意欲を惹起
世代間交流	・交流運動会等へ積極的に加わり、支部社協の存在感を示す ・住民主体の原則のもと、まちづくり実行委員会・小中学校との協働を模索
障がい者関係	・専門的・技術的知見が必要なため、担当者の育成を推進 ・民生児童委員協議会と連携し、きめ細かい対応を協議
困りごと支援	・見守り推進員を中心に個別支援と情報共有を図る ・常設の支援に関し検討（場所、時間、人員等で限界もある）
組織・運営関係	・社会資源、有能な人材を生かした支部組織の基盤強化 ・財政的負担軽減の検討
その他	・高齢者関連事業に傾斜しがちなため、若年者に関する事業推進 ・リングボール等独自文化資材の活用及び広報活動の充実



一日敬老事業



文化祭



新居浜市社会福祉協議会高津支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	高津校区
人口指標	人 口	11,250 人
	世帯数	5,566 世帯
	65 歳以上人口	3,812 人
	高齢化率	33.9%
	後期高齢化率	17.0%
	高齢者夫婦世帯数	814 世帯
	独居高齢者数	476 人
	見守り対象者数	323 人
	緊急通報装置設置	23 世帯
	福祉電話設置	3 世帯
学校等	高等学校	1 校 (746 人)
	中学校	1 校 (377 人)
	小学校	1 校 (636 人)
	幼稚園	—
	保育園	3 園
団体・組織等	民生児童委員	28 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	25 人
	自治会	25 自治会
	自主防災組織	18 組織
	老人クラブ	8 クラブ (308 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	2 サロン
	・参加者数	729 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	251 人
	特色ある校区独自組織	・高津まちづくり構想策定委員会 ・高津まちづくり実行推進会議 ・沢津音頭保存会



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	高津公民館、新居浜市民体育館
	自治会館等	13 か所 沢津自治会館、宇高自治会館、清水集会所、南小松原集会所、東雲自治会館 東雲集会所、桜木西自治会館、桜木東自治会館、桜木北自治会館、桜木集会所、東一ノ関自治会館、東雲マンション管理組合、北小松原振興会集会所
	その他	国領川河川敷
災害時拠点	指定避難所	高津小学校、東中学校、新居浜東高等学校、高津公民館、市民体育館
	指定緊急避難場所	高津小学校グラウンド、東中学校グラウンド、新居浜東高等学校グラウンド
	福祉避難所	デイサービスゆとりーさ、グループホームあおぞら、高津診療所、あったかほーむたかつ、デイサービスわいわいクラブ、デイサービスセンターさくらんぼ、デイサービスのんびりさん
	防災倉庫	高津公民館
	その他災害時に使える拠点	新居浜市民体育館、高津分団、新居浜警察署高津交番
公園		国領川河川敷公園
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】 居宅介護支援センターたかつ、居宅介護支援事業所しののめ、株式会社こでまり 【訪問介護】 ヘルパー・ステーション野の花 【訪問看護】 訪問看護ステーションしののめ、訪問看護ステーションたかつ 【通所介護】 デイサービスセンターさくらんぼ、デイサービスセンターゆとりーさ、デイサービスわいわいクラブ（高津診療所）、デイサービスのんびりさん、デイサービスセンターピッパラ 【通所リハビリテーション】 高津診療所
	こども施設	南沢津保育園、ルンビニ乳幼児保育園、さくら乳児園、（愛媛労災病院あいろう保育園）
	障がい施設	【通所系】 ワークチームゆい、新居浜花工房
	その他施設（グループホーム）等	【グループホーム】 グループホームあおぞら、あったかほーむたかつ
医療機関 （歯科・整骨院等を除く）		愛媛労災病院、おおのぎ眼科、高津診療所、吉井整形外科、三木内科クリニック、やかた耳鼻科クリニック
生活関連機関 （主なスーパー、商店等）		生活協同組合コープ宇高、フレッシュバリュー沢津店、ファミリーマート（新居浜宇高店、新居浜沢津店）、ローソン新居浜高津店、ドラッグストアマック（宇高店、沢津店）、クスリのフタバ、近藤ストアー、松本酒店、高岡酒店、合田酒店、沢津漁港 他
その他活用可能な社会資源		新居浜市東雲市民プール、新居浜警察署高津交番、えひめ未来農業協同組合高津支所、沢津中央新居浜自動車学校、沢津郵便局、愛媛銀行新居浜東支店、伊予銀行高津支店、伊予銀行愛媛労災病院 ATM コーナー など



■事務拠点：浮島公民館



■校区の概況・地域特性

浮島校区は、ひうち灘の沢津・垣生海岸に面し、海岸線では釣り人やウォーキングをする人が多く見かけられ、自然に恵まれた長閑かな地域である。秋には太鼓台のかきくらべて賑わう八幡神社があり、夏には納涼祭や盆踊りなどでも活用している。少子高齢化がすすみ、お世話人の確保が困難となり若い人の力が必要となっているが、2つの自治会で成り立つ地域として、相互に連携を図って子どもから高齢者まで安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいる。

■スローガン

「向こう三軒両隣の考えを大切にして活動する」

■基本方針

誰もが、住み慣れた地域で安全に安心して生活できるのが一番の幸せだと思います。近隣の人々との絆を深めるために、「向こう三軒両隣」をスローガンに、安全で安心して暮らせる地域づくりに努めてまいります。

■浮島支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	790世帯
活 動 拠 点	浮島公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(3)・事務局長(1)・役員(24)・理事(50)・評議員(38) ※理事・評議員は延べ人数
会 議 の 開 催	総会(年1回)、理事会(年2回)、役員会(年11回)、見守り推進員連絡会(年4回)
令 和 元 年 度 社協会費実績	536,000円



ふれあいサロン「ハッピー浮島」



ふれあいサロン「松ぼっくり」

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ふれあいいきいきサロン ・独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・ふれあい給食 ・子供の日祝賀
世代間交流事業	・地域交流運動会支援 ・暑中見舞い、年賀状発送
歳末たすけあい事業	・ふれあい訪問事業 ・あったか年賀状送付事業 ・合同いきいきサロン ・長期在宅介護者支援事業

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ふれあいいきいきサロンの活性化や独居高齢者見守り推進事業を継続していく ・小単位で気軽に集まれる場所づくり
児童関係	・ふれ合い給食活動の継続支援と小学校との連携強化、「まもる君パトロール隊」の支援 ・子育てサロン「浮っ子倶楽部」の復活と充実支援
世代間交流	・昔の遊びや伝統文化を継承する ・暑中見舞いや年賀状送付活動の継続 ・地域交流運動会や納涼祭の支援
障がい者関係	・障がいの特性や理解を深める学習会の開催 ・対象者の要望を把握するための活動推進
困りごと支援	・相談窓口の開設と周知、並びに各種機関へつなげる体制をつくる
組織・運営関係	・役員や後継者問題の改善を検討し、支部基盤を強化する ・各部の機能強化を推進する



合同サロン



子育てサロン「浮っ子倶楽部」



新居浜市社会福祉協議会浮島支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	浮島校区
人口指標	人 口	3,549 人
	世帯数	1,649 世帯
	65 歳以上人口	1,253 人
	高齢化率	35.3%
	後期高齢化率	18.0%
	高齢者夫婦世帯数	283 世帯
	独居高齢者数	152 人
	見守り対象者数	118 人
	緊急通報装置設置	5 世帯
	福祉電話設置	0 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	—
	小学校	1 校 (123 人)
	幼稚園	—
	保育園	2 園
団体・組織等	民生児童委員	8 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	11 人
	自治会	2 自治会
	自主防災組織	2 組織
	老人クラブ	1 クラブ (30 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	4 サロン
	・参加者数	593 人
	子育てサロン	0 サロン
	・参加者数	0 人
	特色ある校区独自組織	・まもるくんパトロール隊



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	浮島公民館、松の木公園、川東高齢者福祉センター、川東児童センター
	自治会館等	3カ所 浮島自治会館、松の木自治会館、松の木集会所
災害時拠点	指定避難所	浮島小学校、浮島公民館、川東高齢者福祉センター
	指定緊急避難場所	浮島小学校グラウンド、松の木公園
	防災倉庫	浮島公民館、浮島自治会館、松の木自治会館
公園		松の木公園
福祉施設	高齢者施設	川東高齢者福祉センター
	こども施設	川東児童センター 高津保育園、ミドリ保育園
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		宮原医院
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		佐々木商会、浮島鮮魚店、丸幸八幡店、酒の宝島浮島店 ベーカリーキムラヤ、きんぐ調剤薬局、マナベ整体、眞木はり灸治療院 佐光美容院、ローソン新居浜八幡店、ASA(朝日新聞)新居浜北部
その他活用可能な社会資源		八幡神社、宇高薬師堂



■事務拠点：垣生公民館

■校区の概況・地域特性



垣生校区は新居浜市の北東に位置し、標高101.3mの垣生山を含む面積2.65平方キロメートルの市内でも小規模の校区である。昭和10年代までは半農半漁の一寒村でしたが、現在では大半がサラリーマンで新居浜市の郊外となっている。昭和63年に新居浜東港が開港され、それに伴い工業団地、マリーナ等が造成され発展してきた。垣生校区の特質は、勤勉で教育熱心であるとよく言われ、それを物語るように公民館の設立も川東地区では最も早い地域である。現在も公民館を中心に、連合自治会、社協支部、民生児童委員協議会、婦人会など各種団体が連携を図り、子どもから高齢者が安心して暮らせる地域づくりを校区一丸で取り組んでいる。

■スローガン

「すべての方々が安心して
こころ豊かに暮らせるまちづくり」

■基本方針

社協垣生支部は、関係機関・団体と密接な連携を図りながら、地域福祉活動の中核を担う責務を再認識し、住民相互の関係を深め課題を解決し、誰もが住み慣れた垣生で安心して生活できるように、地域の支え合い体制づくりを推進します。

■垣生支部の概要

令和元年度

社協会員数	1,219世帯
活動拠点	垣生公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(1)・顧問(1)・役員(8)
会議の開催	総会(年1回)、役員会(年10回)、見守り推進員連絡会(年4回)
令和元年度 社協会費実績	779,900円



少年式祝賀（垣生山登山）



校区敬老会

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 一日敬老の家（生き生きクラブ） ・ 校区敬老会（共催） ・ 独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ 少年式祝賀会 ・ こどもの日祝い金贈呈 ・ GPM協力
歳末たすけあい事業	・ 在宅介護見舞金（長期在宅介護） ・ ふれあいいきいきサロン ・ 独居高齢者へ年賀状送付（愛のたより）

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ シニアグループの活動促進及びふれあいいきいきサロンの充実強化
	・ 各種団体との連携を強化し、独居高齢者安否確認体制の充実強化
児童関係	・ 地域及び学校との連携による子育て支援の推進強化
	・ 子育てサロン「すくすくは～ぶ」への支援継続
世代間交流	・ 史跡めぐりウォークラリーの充実強化
	・ は～ぶんこによる垣生民話の伝承
	・ 三世代交流事業の推進
障がい者関係	・ 障がい者施設への協力や地域での支援について検討
困りごと支援	・ 気軽に立ち寄れる居場所づくりの検討
組織・運営関係	・ 各種募金活動の推進及び特別会員・法人会員の拡充
	・ 社協支部だよりの充実強化



子育てサロン すくすくは～ぶ



一日敬老の家



新居浜市社会福祉協議会垣生支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	垣生校区
人口指標	人 口	4,174 人
	世帯数	1,903 世帯
	65 歳以上人口	1,314 人
	高齢化率	31.5%
	後期高齢化率	15.4%
	高齢者夫婦世帯数	265 世帯
	独居高齢者数	152 人
	見守り対象者数	120 人
	緊急通報装置設置	8 世帯
	福祉電話設置	0 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	—
	小学校	1 校 (240 人)
	幼稚園	—
	保育園	1 園
団体・組織等	民生児童委員	8 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	8 人
	自治会	17 自治会
	自主防災組織	0 組織
	老人クラブ	2 クラブ (68 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	3 サロン
	・参加者数	159 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	230 人
	特色ある校区独自組織	・よもだ会 ・むつみ会 ・読み聞かせ「は～ぶんこ」



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	垣生公民館、マリンパーク新居浜
	自治会館等	3カ所 町自治会館、本郷自治会館、山端自治会館
災害時拠点	指定避難所	垣生小学校、垣生公民館
	指定緊急避難場所	垣生小学校グラウンド
	福祉避難所	垣生倶楽部
	防災倉庫	垣生小学校
	その他災害時に 使える拠点	垣生山、垣生分団 新居浜警察署垣生警察官連絡所
公園		弁財天公園
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】 東予ケア・サービス、高齢者福祉実践センター、ソフトケアにはま 【訪問介護】 高齢者福祉実践センター、東予ケア・サービス、ヘルパーステーションきらら 【地域密着型介護老人福祉施設】 つばき 【小規模多機能型居宅介護】 垣生倶楽部 【高齢者向け住宅】 グループリビング ファミールにはま
	こども施設	垣生保育園、(にはま森のようちえん)
	障がい施設	【通所系】 (株)フロンティアしいたけの里、みらい
	その他施設 (グループホーム)等	【認知症対応型共同生活介護】 グループホームあかがね
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		三木医院
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		ファミリーマート新居浜垣生店、佐々木製餡所、チェリー薬局、亀堂菓子舗、ドラッグセイムス新居浜垣生店、垣生郵便局、ヒット焼川東店 他
その他活用可能な社会資源		法泉寺、三味所(大東)、若宮(浜中)、小山観音堂(町南)、石鎚神社(町北東) 女乙山女乙宮(大西)、太子堂(町南)、長岩の渡し跡、長岩橋、小山の古墳 三十三石仏、川口の足型石と錨石、天狗岩、垣生金毘羅宮



■事務拠点：神郷公民館



■校区の概況・地域特性

神郷校区は新居浜市の東部に位置し、ＪＲ予讃線沿いの東西に細長い地域である。交通量が多い地域であることから、子どもたちの登下校を見守るパトロールが非常に熱心に行われている。これまで、民協をはじめ自治会、老人クラブ等諸団体が独自の福祉活動を行ってきたが、特に民協、見守り推進員の活動は活発で、配食事業、高齢者の見守り等献身的な活動が行われている。小地域福祉活動としては、各自治会を母体とした分会ごとに、地域性を活かした活発なサロン活動等が展開されている。市内で最も特別会員の加入率が高い校区である。

■スローガン

「安全・安心の地域づくり」

■基本方針

地域の皆さんの一層のご理解とご協力を得ながら、支部及び分会活動の充実を図り、地域、近隣の連帯を深めるとともに、市社協、校区内の関係諸団体との連携を強化し、「安全、安心の地域づくり」を目標に活動を推進していく。

■垣生支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	2, 4 2 2 世帯
活 動 拠 点	神郷公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(2)・理事(28) 監事 2 名含む
会 議 の 開 催	総会(年1回)、理事会(年6回)、事務局会(年8回)、見守り推進員連絡会(年4回)
令 和 元 年 度 社協会費実績	1, 9 6 4, 2 0 0 円



地域交流健康ウォーキング大会



サロン活動（清住神社にて）

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者いきいきサロン ・ 独居高齢者手みやげ事業 ・ 金婚式記念品 ・ 独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ 少年式支援
世代間交流事業	・ 三世代グランドゴルフ大会 ・ 三世代スポーツ交流事業
歳末たすけあい事業	・ 歳末見舞品訪問配布 ・ 特別支援学級支援 ・ 年賀状送付

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ 民生委員と見守り推進員の連携を強化し、見守り及び連絡会の体制の充実を図る
	・ 各サロン活動の充実・強化・拡大を推進
	・ 高齢者が元気なまちづくりを推進
	・ ケアネットワーク推進事業の再構築
児童関係	・ 子育てサロン「神郷やんちゃカメクラブ」の支援充実
	・ 各種活動への支援を継続するとともに、新規活動も検討
世代間交流	・ 各種団体との連携強化を推進し、三世代交流事業を充実させる
	・ 子どもから高齢者まで気軽に集える場所づくりの検討
障がい者関係	・ 障がい者施設への支援と交流
困りごと支援	・ 関係団体との連携や行政機関へのパイプ役として相談体制の充実を図る
組織・運営関係	・ 各種団体との連携を強化するとともに、特別会員の加入促進を図る
	・ 広報活動及び社協だよりの充実強化
	・ 高齢化や後継者不足課題、また公民館、自治会館の有効活用を検討する



サロン活動



子育てサロン「やんちゃカメクラブ」



新居浜市社会福祉協議会神郷支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	神郷校区
人口指標	人 口	9,850 人
	世帯数	4,563 世帯
	65 歳以上人口	3,242 人
	高齢化率	32.9%
	後期高齢化率	17.5%
	高齢者夫婦世帯数	739 世帯
	独居高齢者数	374 人
	見守り対象者数	288 人
	緊急通報装置設置	19 世帯
	福祉電話設置	0 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	1 校 (515 人)
	小学校	1 校 (536 人)
	幼稚園	2 園
	保育園	3 園
団体・組織等	民生児童委員	19 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	19 人
	自治会	15 自治会
	自主防災組織	6 組織
	老人クラブ	6 クラブ (301 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	14 サロン
	・参加者数	3,379 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	251 人
	特色ある校区独自組織	・神郷まちづくり委員会 ・神郷史情保存会 ・神郷連合子供育成会



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	神郷公民館、新居浜市役所川東支所、多喜浜駅
	自治会館等	14カ所 上郷自治会館、散田自治会館、中郷自治会館、下郷自治会館 白井自治会館、白井住宅自治会館、田の上自治会館、落神集会所 松神子自治会館、松神子団地自治会館、江の口自治会館、又野自治会館 西楠崎自治会館、東楠崎自治会館
	その他	松神子百寿会館、田の上シニアクラブ
災害時拠点	指定避難所	神郷小学校、川東中学校、神郷公民館
	指定緊急避難場所	神郷小学校グラウンド、川東中学校グラウンド、岡城館歴史公園(高台部分)、神郷公園
	福祉避難所	グループホームすいよう、デイサービス子馬、デイサービス竹トンボ、通所介護事業所アソカ園
	防災倉庫	神郷公民館
	その他災害時に使える拠点	北消防署川東分署、神郷分団、神郷分団楠崎詰所
公園		又野交流広場、松神子団地子ども広場、下郷ふれあい広場 江の口児童遊園地、田の上こども広場、岡城館歴史公園、神郷公園 他
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】居宅介護支援事業所アソカ園、居宅介護支援事業所竹トンボ、居宅介護支援事業所みやした、愛寿会居宅介護支援事業所 愛、居宅介護支援事業所ゆうあ、居宅介護支援事業所かえて、居宅介護支援事業所わたる 【訪問介護】訪問介護事業所アソカ園、ヘルパーステーションオリーブ 【通所介護】通所介護事業所アソカ園、通所介護事業所おいでんや、デイサービスセンターピッパラ、デイサービス竹トンボ、リハステージ郷、デイサービス子馬 【通所リハビリテーション】みやした通所リハビリセンター、はびねすケアセンター 【特別養護老人ホーム】アソカ園 【地域密着型介護老人福祉施設】なの花 【介護老人保健施設】はびねすケアセンター 【軽費老人ホーム】白寿
	こども施設	神郷幼稚園、パコダ幼稚園、めぐみ保育園、ぽこ・あ・ぽこ保育園、すいよう会事業所内保育施設ひまわり乳児園、にこちゃんパーク、子育てひろばピノッキオ
	障がい施設	【通所系】わくわくクラブ、すいよう作業所、スマイルラボ、放課後クラブぴのきおかわひがし 【共同生活援助グループホーム】すいよう
	その他施設(グループホーム)等	【認知症対応型共同生活介護】 グループホーム竹トンボ、グループホームほの花、グループホーム多喜浜 【福祉用具】介護レンタルスマイル、(株)トーカイ新居浜営業所
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		伊藤整形外科クリニック、いまなかクリニック、知元医院、宮田内科医院、宮下整形外科内科、矢野整形外科医院、たに脳神経外科内科ものわすれクリニック
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		ビッグ松神子店、ハローズ新居浜郷店、マルヨシセンター新居浜東店、コープえひめ神郷店、100円ショップセリア、ダイソー川東店、セブンイレブン郷1丁目店、ドラッグストアモリ新居浜郷店、ファミリーマート(新居浜神郷店、新居浜田の上店、新居浜川東店、新居浜郷店)、ローソン新居浜多喜浜店、ハタダ田の上店、三浦電業社、ヤマダ電機、ワークマン新居浜店、永久堂、コスモス神郷店 他多数
その他活用可能な社会資源		新居浜警察署郷駐在所、新居浜警察署多喜浜駅前駐在所、松神子簡易郵便局 伊予銀行新居浜東支店、東予信用金庫川東支店、JA えひめ未来川東支所、新居浜郷郵便局、愛媛銀行川東支店 他



■事務拠点：多喜浜公民館

■校区の概況・地域特性



多喜浜校区は新居浜市の東端に位置し、東は四国中央市土居町、西は神郷校区と隣接し、南は山際を東西にＪＲが走り、北は工業団地が立ち並んでいる。多喜浜は以前２４０町歩に及ぶ広大な塩田であった所で、昭和３４年に廃田となった。往時の様子を知る者も年々少なくなり、その遺産を後世に繋げていく必要があるという地域の願いから、多喜浜塩田資料館や塩の学習館を建設した。現在は、地域の皆様のご協力により、塩づくり体験や遺跡めぐりなど塩田に関する歴史や文化の啓発活動が盛んに行われている。

■スローガン

「希望と生きがいのある町づくり
かしよいで広げよう福祉の輪
心に咲かそうボランティアの花」

■基本方針

「誰もが安心して生活できる」地域の推進を目的として、市社協との連携を強化し、社協多喜浜支部の活動基盤体制の強化を図ると共に地域福祉活動を計画的に推進する。自治会を基盤とした創意と工夫による事業・活動を積極的に行い、地域住民の福祉を総合的に推進するために見守り推進事業等の地域ケアネットワークの強化や次世代の地域を担う子ども達の支援を行う。

■多喜浜支部の概要

令和元年度

社協会員数	962世帯
活動拠点	多喜浜公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(3)・事務局長(1)・理事役員(24)※理事役員は延べ人数
会議の開催	総会(年1回)、理事・役員会(年12回)、見守り推進員連絡会(年6回)
令和元年度 社協会費実績	385,100円



いきいきサロン（輪投げ）



お手玉教室

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者いきいきサロン ・ 一日敬老の日 ・ 期末配食 ・ 独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ ボンデン広場支援 ・ 少年の日を祝う会
世代間交流事業	・ お手玉教室
歳末たすけあい事業	・ 高齢者配食-見舞品配布事業

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ 見守り推進事業の充実（見守り推進員と民生児童委員の連携強化）
	・ 老人クラブの活動支援
	・ 高齢者関連事業の継続と充実（いきいきサロン、一日敬老、配食事業等）
児童関係	・ 子育てサロン「浜っ子」やボンデン広場への継続的な支援
	・ 学校との連携強化（少年式、夏休み宿題教室、年賀・暑中見舞状の作成配布）
世代間交流	・ 自治体主体活動の支援（夏・冬祭り等）
	・ お手玉教室や注連縄づくりの継続支援
	・ 学校との連携による行事を支援し、子どもとの交流機会を増やす
障がい者関係	・ 見守りや災害時の避難・誘導等の検討
困りごと支援	・ 気軽に立ち寄れる、話しやすい居場所・環境づくりの支援
	・ 買い物、移動手段の改善に取り組む
組織・運営関係	・ 社協だよりの内容を充実させ定期的に発行させるとともに、広報部の充実を図る
	・ 法人会員・特別会員の増加促進
	・ 地域一体となり活動を支援
その他	・ 部会活動の充実(校区内清掃作業や防災訓練への参加)



子育てサロン「浜っ子」



少年の日を祝う会



新居浜市社会福祉協議会多喜浜支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	多喜浜校区
人口指標	人 口	3,770 人
	世帯数	1,966 世帯
	65 歳以上人口	1,349 人
	高齢化率	35.8%
	後期高齢化率	18.6%
	高齢者夫婦世帯数	265 世帯
	独居高齢者数	169 人
	見守り対象者数	134 人
	緊急通報装置設置	5 世帯
	福祉電話設置	1 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	—
	小学校	1 校 (133 人)
	幼稚園	—
	保育園	1 園
団体・組織等	民生児童委員	8 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	13 人
	自治会	12 自治会
	自主防災組織	2 組織
	老人クラブ	4 クラブ (227 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	2 サロン
	・参加者数	129 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	193 人
	特色ある校区独自組織	・ボンデン広場 ・多喜浜塩のまちづくり会議 ・塩田資料館建設推進委員会



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	多喜浜公民館、塩の学習館
	自治会館等	10 か所 新田自治会館、新田集会所、白浜自治会館、東浜自治会館、黒島自治会館 阿島集会所、阿島上自治会館、切抜自治会館、荷内コミュニティセンター 県営多喜浜団地自治会館
	その他	多喜浜小学校、多喜浜保育園
災害時拠点	指定避難所	多喜浜小学校、多喜浜公民館
	指定緊急避難場所	多喜浜小学校グラウンド、三喜浜公園、東浜公園、黒島海浜公園
	福祉避難所	うみかぜ、グループホームかがやき、宝寿園
	防災倉庫	多喜浜公民館
	その他災害時に 使える拠点	新居浜市多喜浜体育館、多喜浜児童遊園地、多喜浜分団 新居浜警察署多喜浜駐在所
公園		東浜公園、黒島海浜公園、三喜浜公園 多喜浜児童遊園地、ふれあい公園、久貢公園
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所・訪問介護】 ニチイケアセンターたきはま 【小規模多機能型居宅介護】 小規模多機能施設宝寿園 【通所介護】 ニチイケアセンターたきはま 【地域密着型介護老人福祉施設】 うみかぜ 【軽費老人ホーム】 宝寿園
	こども施設	多喜浜保育園
	障がい施設	【共同生活援助(グループホーム)】 ひまわり寮(わかば共同作業所)
	その他施設 (グループホーム)等	【認知症対応型共同生活介護】 グループホームしおさい、 グループホーム多喜浜、グループホームかがやき 【福祉用具】 四国医療サービス(株)福祉事業部新居浜営業所
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		鎌田産婦人科
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		今村屋、宮崎鮮魚店、とみや衣料品店 ファミリーマート新居浜阿島店、ローソン新居浜多喜浜店 山之内商店、小野酒店、セルフうどんとんとん、讃岐うどん製麺阿島店、美味亭
その他活用可能な社会資源		岡城館歴史公園、興王神社、若宮神社、唐津山(多喜浜焼窯跡)、岡本家 藤田分家、芸備銀行多喜浜出張所跡、天神さん新田金毘羅宮、白浜金毘羅宮、東 浜金毘羅宮、浜の宮(湊神社・鹽竈神社)、池王神社、安養寺阿島大師、岡田家・ アツケン草、久貢屋敷・蘇鉄、石鎚神社、明正寺、黒島神宮合同製塩会社跡、東 浜産塩株式会社跡、旧大蔵省坂出専売局多喜浜出張所跡、王太子神社



■事務拠点：川東高齢者福祉センター
大島分館（旧大島公民館）

■校区の概況・地域特性



大島校区は新居浜の東黒島港から東へ1kmの所にある人口140名あまりで周囲約9kmの小さな島である。高齢化率は市内で一番高く63%を超えており、交通手段も1日15往復の市営渡海船しかないため、買い物や移動手段の問題が生じている。子どもも1名となり高齢者の島となっている。現在は廃校となった大島小学校が大島交流センターとしてリニューアルされ、川東高齢者福祉センター大島分館とともに、地域活動の拠点及び他校区との交流拠点として活性化を図っている。

■スローガン

「安全で安心の生活ができる大島にしよう!!」

■基本方針

大島に在住の会員が、安全で安心の生活が送れるよう、住民同士が見守り相互の学習及び交流・親睦などの行事を実施し、いつまでも元気に楽しく暮らせると同時に、自立を目指した福祉の向上を図る。

■大島支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	97世帯
活 動 拠 点	川東高齢者福祉センター大島分館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(1)・役員(2)・理事(2)・評議員(1)
会 議 の 開 催	総会（年1回）
令和元年度 社協会費実績	9,700円



おおしま食堂



独居高齢者配食事業

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 日帰り旅行 ・ 敬老会助成
世代間交流事業	・ 夏祭り助成 ・ 防災運動会助成
歳末たすけあい事業	・ 独居高齢者配食事業
その他事業	・ だれでも食堂（大島交流センター）助成

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ おおしま食堂を含む川東高齢者福祉センター大島分館の利用促進
	・ 大島交流センターの利用促進支援
	・ 独居高齢者の見守り推進
世代間交流	・ 地元行事の推進
障がい者関係	・ 買い物支援の継続
困りごと支援	・ 買い物への移動手段の確保に向けて協議（解決へ向け行政へも要望）
	・ 医療体制に関する協議を推進（病院への移動手段、診療所の充実【開設増加】）
組織・運営関係	・ 後継者づくりの促進



防災訓練



だれでも食堂



新居浜市社会福祉協議会大島支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	大島校区
人口指標	人 口	177 人
	世帯数	123 世帯
	65 歳以上人口	112 人
	高齢化率	63.3%
	後期高齢化率	49.7%
	高齢者夫婦世帯数	15 世帯
	独居高齢者数	40 人
	見守り対象者数	0 人
	緊急通報装置設置	7 世帯
	福祉電話設置	1 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	—
	小学校	—
	幼稚園	—
	保育園	—
団体・組織等	民生児童委員	2 人
	主任児童委員	0 人
	見守り推進員	0 人
	自治会	5 自治会
	自主防災組織	5 組織
	老人クラブ	—
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	0 サロン
	・参加者数	0 人
	子育てサロン	0 サロン
	・参加者数	0 人
	特色ある校区独自組織	・ 連合自治会 ・ 消防団 ・ 民生児童委員協議会 ・ 社会福祉協議会大島支部



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	大島交流センター、川東高齢者福祉センター大島分館、大島教育集会所
	自治会館等	3カ所 上之町自治会館、中之町自治会集会所、築之町集会所
災害時拠点	指定避難所	大島交流センター
	防災倉庫	川東高齢者福祉センター大島分館
	その他災害時に使える拠点	大島分団
公園		水軍公園、宮西公園
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		大島診療所(診療は隔週、火一内科・金一外科) 14時～16時のみ
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		ジャックのパン屋
その他活用可能な社会資源		地元三大行事 分踊り・念仏踊り、大島八幡神社秋季大祭、とうど祭り 市指定文化財 ばくちの木、大元神社、百体地藏 史跡 八幡神社、大元神社、比沙門天、吉祥寺、願行寺、地藏堂、御番所跡、住吉神社、幟立、トンコロ場、船かくし、明火、皇子山、神田山、帆立船くぼ、本丸跡、武者洗跡、城の鼻、観音堂、二の丸跡、水軍団跡、オヤナ跡 など



■事務拠点：大生院公民館



■校区の概況・地域特性

大生院校区は新居浜市の西端に位置し、市内で一番早く開けた校区だとされている。昔から世帯数に大きな変動はなく、住民は比較的素朴で向こう三軒両隣精神の強い連帯感のある地域である。古来から心の拠り所である正法寺を中心として栄えてきたが、近年になって、総合科学博物館や東予産業創造センター等の誘致により県内外から観光客が訪れ、賑わいを見せるようになった。高齢者から子どもまでスポーツの盛んな地域としても知られている。

■スローガン

「心をひとつに支え合い、
みんなの笑顔が輝く大生院」

■基本方針

- ① 支部組織の体制確立の強化
- ② 校区の福祉活動の基盤づくり
- ③ 大生院支部地域福祉活動計画（5か年計画）の策定とそれに沿った地域福祉活動の推進・実施

■大生院支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	1, 185世帯
活 動 拠 点	大生院公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(2)・事務局長(1)・理事(26)・評議員(25)
会 議 の 開 催	総会(年1回)、役員会(年5回)、定例会(年12回)、見守り推進員連絡会(年4回)
令 和 元 年 度 社協会費実績	681, 500円



たのも団子づくり



しめ縄づくり

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・金婚式お祝い ・敬老会助成 ・独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・子育てサロン ・各種団体助成 ・上部3支部子育てサロン ミニ運動会
世代間交流事業	・渦井せせらぎ食堂 ・福祉年賀はがき
歳末たすけあい事業	・ふれあいいきいきサロン
その他事業	・歴史めぐり探訪 他

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・老人クラブとの連携を推進
	・高齢者がかかえる問題等を支援
	・福祉課題についての情報交換の促進
児童関係	・子育てサロンへの支援の充実
	・小学校および中学校との連携事業の推進
世代間交流	・昔のあそびや伝統文化の継承および郷土史を学び、豊かで郷土愛のある育成の取組
	・三世代交流事業の推進
障がい者関係	・まさき育成園との交流、行事等への積極的参加
	・関係機関や団体、施設との連携を強化し、障がいに対しての知識を得る取組の実施
困りごと支援	・商工会と連携し、高齢者の困りごとの支援
組織・運営関係	・各種団体との連携強化 ・地域福祉活動計画の策定
	・社協だよりの充実 ・社協会員の推進
その他	・渦井せせらぎ食堂の充実した継続
	・地域防災組織との連携強化および防災意識向上の活動支援を行う



歴史めぐり探訪



渦井せせらぎ食堂



新居浜市社会福祉協議会大生院支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.1 現在

	項 目	大生院校区
人口指標	人 口	3,829 人
	世帯数	1,847 世帯
	65 歳以上人口	1,471 人
	高齢化率	38.4%
	後期高齢化率	20.1%
	高齢者夫婦世帯数	310 世帯
	独居高齢者数	187 人
	見守り対象者数	121 人
	緊急通報装置設置	10 世帯
	福祉電話設置	0 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	1 校 (121 人)
	小学校	1 校 (255 人)
	幼稚園	1 園
	保育園	1 園
団体・組織等	民生児童委員	9 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	11 人
	自治会	17 自治会
	自主防災組織	14 組織
	老人クラブ	5 クラブ (359 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	1 サロン
	・参加者数	93 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	121 人
	特色ある校区独自組織	・夢遊友うずい ・放課後子ども教室でこぼこクラブ ・読み聞かせの会ふうせんの会



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	大生院公民館、愛媛県総合科学博物館、JR 中萩駅
	自治会館等	12カ所 下本郷自治会館、下本郷上自治会館、岸影自治会館、喜来集会所 銀杏之木自治会館、栗林自治会館、戸屋之鼻集会所、上本郷自治会館 川口自治会館、大生院団地自治会館、落合集会所 新居浜ファミリーハイツ集会所
	その他	東予産業創造センター
災害時拠点	指定避難所	大生院公民館、大生院小学校、大生院中学校
	指定緊急避難場所	大生院小学校グラウンド、大生院中学校グラウンド
	福祉避難所	まさき育成園、グループホームけやきの里
	防災倉庫	大生院公民館
	その他災害時に 使える拠点	新居浜高等技術専門学校、大生院分団 新居浜警察署大生院駐在所
公園		大生院こども広場、うずい広場、大生院児童遊園地、稲荷山公園、 渦井なかよし公園
福祉施設	高齢者施設	【高齢者向け住宅】住宅型有料老人ホームまつぼっくり
	こども施設	大生院保育園、認定こども園グレース第二幼稚園
	障がい施設	【通所系・入所系】まさき育成園、まさきの里 (生活介護・生活訓練・就労継続 B、短期入所、施設入所支援 等) 【共同生活援助】(グループホーム) なずな寮
	その他施設 (グループホーム)等	【認知症対応型共同生活介護】グループホームけやきの里
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		阿部内科クリニック
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		フレッシュバリュー大生院店、ローソン新居浜大生院店、伊藤商店 菓舗蛭子堂、晃健堂薬局、寺町電器
その他活用可能な社会資源		正法寺、新居浜警察署大生院駐在所



■事務拠点：中萩公民館



■校区の概況・地域特性

中萩校区は新居浜市の上部地区に位置し、人口が2万人に近い、市内一番のマンモス校区である。豊かな自然環境に恵まれ、元国鉄総裁の十河信二氏、製糸創業者飯尾麟太郎氏などの先達を輩出している。また住友企業の恩人である広瀬幸平翁の住居であった広瀬邸と、隣接する広瀬歴史記念館では新居浜市発展の歴史をたどることができる。市内で社協支部が最も早く設立された校区で、令和3年度で設立57年を数える。大きな校区ならではの苦労もあるが、各種団体が連携を図って、工夫しながら取り組んでいる。

■スローガン

「支え合う福祉のまち中萩」

■基本方針

新居浜市社会福祉協議会の運営に参加すると共に、各種団体と連携して、中萩校区内の社会福祉事業の推進を図る。

■中萩支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	4, 6 0 0世帯
活 動 拠 点	中萩公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(4)・顧問(4)・事務局長(1)・役員(5)・理事(17)
会 議 の 開 催	総会(年1回)、理事会(年1回)、見守り推進員連絡会(年4回)
令 和 元 年 度 社協会費実績	1, 5 1 9, 0 0 0円



ハツラツさくら会



独居高齢者と集う会

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者サロン「ハツラツサロンさくら会」 ・ 敬老会助成 ・ 金婚式記念品 ・ 独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ 上部児童センター（もちつき、昔遊び） ・ 上部3支部子育てサロン ミニ運動会
世代間交流事業	・ ふれあい訪問 ・ 三世代交流演芸大会
歳末たすけあい事業	・ 歳末見舞金 ・ 独居高齢者と集う会

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ 認知症徘徊SOSの取組を強化する
	・ 独居高齢者見守り体制を充実させ、民生委員をはじめ関係機関との連携を強化する
	・ 元気な高齢者が活躍できる場所の提供や地域活動への参加を促進させる
児童関係	・ 子育てサロン「萩っ子」の充実支援
	・ 園、学校、関係施設と連携を強化するとともに、福祉教育の支援を進める
世代間交流	・ 昔の遊びや伝統文化・行事を継承する
	・ ふれあい訪問事業を継続し、コミュニティスクールへのかかわりを促進する
	・ 三世代等、世代を超えたつながりやコミュニティの促進に向けた事業の実施継続
障がい者関係	・ 校区内障がい関係機関・施設との連携を強化する
	・ 気軽に相談できる場の提供を検討し、生活援護活動に取り組む
困りごと支援	・ 窓口の開設や周知など、相談支援体制を整備する
	・ 市社協との連携を強化する
組織・運営関係	・ 各種団体との交流・連携・協働を促進・強化する
	・ 役員・お世話人の高齢化の解消、若い世代の参画、福祉ボランティアへの参加を促進する
	・ 社協だよりの効果的な活用を促進する（情報提供や活動紹介）
防災関係	・ 地域防災組織との連携強化及び防災意識向上の活動支援を行う



子育てサロン「萩っ子」合同運動会



ふれあい訪問



新居浜市社会福祉協議会中萩支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	中萩校区
人口指標	人 口	19,275 人
	世帯数	9,160 世帯
	65 歳以上人口	6,332 人
	高齢化率	32.9%
	後期高齢化率	16.8%
	高齢者夫婦世帯数	1,406 世帯
	独居高齢者数	623 人
	見守り対象者数	424 人
	緊急通報装置設置	22 世帯
	福祉電話設置	1 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	1 校 (471 人)
	小学校	1 校 (867 人)
	幼稚園(認定こども園含む)	1 園
	保育園	4 園
団体・組織等	民生児童委員	32 人
	主任児童委員	3 人
	見守り推進員	32 人
	自治会	31 自治会
	自主防災組織	16 組織
	老人クラブ	10 クラブ (776 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	1 サロン
	・参加者数	104 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	419 人
	特色ある校区独自組織	・中萩少年体育育成協議会 ・萩っ子見守り協議会 ・中萩福祉ボランティアグループ ・中萩ホテル会



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	中萩公民館
	自治会館等	24カ所 横水自治会館、馬淵自治会館、治良丸自治会館、井手口集会所 中村松木自治会館、土橋自治会館、土橋北自治会館、中村宮東自治会館、上原自治会館、西之端自治会館、本郷自治会館、中萩コープタウン自治会館、東川自治会館、治良丸団地集会室、治良丸南団地自治会館、鶴居自治会館、岸之下自治会館、新居浜コープタウン自治会館、旦之上自治会館、中村本町集会所 横山南団地集会室、萩生東自治会館、萩生西自治会館、中通り自治会館
	その他	中萩小学校、中萩中学校、新居浜特別支援学校
災害時拠点	指定避難所	中萩小学校、中萩中学校、中萩公民館
	指定緊急避難場所	中萩小学校グラウンド、中萩中学校グラウンド、土橋公園、中萩きらきら公園
	福祉避難所	新居浜特別支援学校、くすのき園、ハートランド三恵；南館、リハビリテーション三恵荘、グループホームタ日館、デイサービスセンターふれんど、グループホーム微笑みの家なかむら、セントケア新居浜本郷、グループホームむつみの家、街かどけあホームのりか、中萩診療所、風のうた、風花
	防災倉庫	中萩公民館
	その他災害時に使える拠点	創価学会新居浜文化会館、滝の宮カントリークラブ、中萩分団、中萩分団岸の下詰所、新居浜警察署角野交番
公園		広瀬記念館、広瀬公園、中萩きらきら公園、土橋公園
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】居宅介護支援事業所三恵、居宅介護支援事業所ハートランド三恵、居宅介護支援センターおとなりさん、中萩居宅介護支援事業所、有限会社介護サービス友、ひろ、居宅ほほえみ、居宅介護支援事業所ふれんど、居宅介護支援センター若草 【訪問介護】ひろ、訪問介護事業所こころ、訪問介護ステーションきらめき、介護サービス友、カミングケアステーション、ヘルパーステーション若草 【訪問看護】訪問看護ステーションそよ風さん 【小規模多機能型居宅介護】セントケア新居浜本郷 【通所介護】カミングケアステーション、通所介護事業所ハートランド三恵、デイサービスセンター風のうた、ふれんど、ひろ、デイサービス友、デイサービス風花、デイサービスあさひの里 【通所リハビリテーション】岩崎病院、中萩診療所リハビリセンターなかはぎ、老人保健施設リハビリステーション三恵荘 【特別養護老人ホーム】ハートランド三恵、ハートランド三恵南館 【介護老人保健施設】リハビリステーション三恵荘 【介護療養型医療施設】せいだ循環器内科 【サービス付き高齢者向け住宅】風の舞、桜のにな
	こども施設	上部児童センター、中萩保育園、すみれ保育園、萩生保育園、上部のぞみ保育園、愛媛県立新居浜病院院内保育所、ハッピールーム、認定こども園グレース幼稚園
	障がい施設	くすのき園、プラネットワークス新居浜、おひさまきっず、High Touch
	その他施設（グループホーム）等	【認知症対応型共同生活介護】グループホームむつみの家、グループホームタ日館、街かどけあホームのりか、グループホーム「サン愛」、グループホーム微笑みの家なかむら、グループホームうわばら
医療機関 （歯科・整骨院等を除く）		中萩診療所、愛媛県立新居浜病院、岩崎病院、せいだ循環器科内科、すみ整形外科、上田医院、いしまる皮膚科、はやし外科クリニック、佐々木内科医院、たなか内科クリニック、西の端眼科、はらだクリニック、ひらた耳鼻咽喉科
生活関連機関 （主なスーパー、商店等）		コープ中萩、パルティフジ、ファミリーマート（新居浜中村店、新居浜萩生店、新居浜土橋店、新居浜横水店）、ローソン萩生店、木村チェーン上原店、かいのストア、ジョイフル、ダイレックス土橋店、くすりのレディ中萩店 他
その他活用可能な社会資源		ひらめき（上原自治会館で開催）、高齢者生きがい創造学園 萩生寺、白山神社、萩岡神社、ファイブテン新居浜



■事務拠点：角野公民館

■校区の概況・地域特性



角野校区は旧国道11号線の南に位置し、市の面積の約10%を占め、その多くは緑に包まれた山地である。校区内には銅山の遺跡をはじめ、溪谷美が素晴らしい別子ライン、その入口には山根総合運動公園があり、グラウンドでは勇壮華麗な太鼓台のかきくらべが毎年行われる。マイントピア別子や東洋のマチュピチュは市内随一の観光名所として多くの観光客が訪れている。現在、認知症高齢者そのご家族が安心して暮らせる角野校区を目指して「すみの見守り・SOSネットワーク協議会」が発足、認知症の理解を地域全体に浸透させようと活動し、他市からも注目を受けている地域である。

■スローガン

「住みたいまち・住んで良かったまちづくり」

■基本方針

関係機関・団体と連携・協働して子供や高齢者・障がい者・認知症高齢者らが安全で安心して楽しく生きがいを持って暮らせる地域社会の構築を目指し緒取り組みを進める。
また、「すみの見守り・SOSネットワーク協議会」「角野校区防災会」を支援する。

■角野支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	2, 618世帯
活 動 拠 点	角野公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(6)・顧問(2)・事務局長(1)・事務局次長(1)・役員(18)・理事(12)・評議員(71)
会 議 の 開 催	総会(年1回)、理事会(年1回)、役員会(年12回)、見守り推進員連絡会(年4回)
令 和 元 年 度 社協会費実績	1, 063, 800円



ふれあいいきいきサロン



文化祭での街頭募金

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者ふれあいいきいきサロン ・ 金婚式記念品贈呈 ・ 独居高齢者見守り推進事業 ・ 校区老人クラブ連合会への援助
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ 赤ちゃん訪問 ・ こばとクラブ交流 ・ 福祉施設慰問支援
世代間交流事業	・ すみの親子ウォークラリー支援
歳末たすけあい事業	・ 福祉赤飯配布事業
その他事業	・ あかがねマラソン、とうど送り等校区行事への協力

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ 各種関係機関、団体との連携を強化（心身の健康づくり、傾聴、老人クラブ支援含む）
	・ 現在の活動を継続させながら内容の見直しを検討し、活動を充実させる（サロン、金婚関係等）
	・ 独居高齢者見守り推進事業の強化（連絡会や情報共有、対応協議含む）
児童関係	・ 子育てサロンの内容の充実及び参加者の拡大（保育園や幼稚園との交流等）
	・ 学校関係との連携を深め、コミュニティスクールに協力する
世代間交流	・ 三世代交流の場を広げる
	・ 自治会や公民館等との連携を深め、未来へつなぐ地域づくり及び人材育成に努める
障がい者関係	・ 関係機関・団体と意見交換をしながら、地域で生活しやすい環境を作っていく
困りごと支援	・ 地域ケアネットワーク協議会や見守り推進員連絡会等で情報共有し、必要な機関に繋いでいく
組織・運営関係	・ 人材発掘や後継者作り、参加しやすい組織の構成に努める
	・ 人間関係の希薄化を改善し、会員の増加を推進
地域づくり	・ 自治会、地域防災会、老人会との連携及び支援の継続
	・ 2025年問題及び人口減少問題を見据えた取組の検討（自治会存続への協力）



福祉赤飯配布事業



子育てサロン「すみのっこランド」



新居浜市社会福祉協議会角野支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	角野校区
人口指標	人 口	11,607 人
	世帯数	5,570 世帯
	65 歳以上人口	4,062 人
	高齢化率	35.0%
	後期高齢化率	18.9%
	高齢者夫婦世帯数	828 世帯
	独居高齢者数	429 人
	見守り対象者数	311 人
	緊急通報装置設置	24 世帯
	福祉電話設置	1 世帯
学校等	高等学校	1 校 (303 人)
	中学校	1 校 (308 人)
	小学校	1 校 (611 人)
	幼稚園(認定こども園含む)	1 園
	保育園	3 園
団体・組織等	民生児童委員	25 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	27 人
	自治会	45 自治会
	自主防災組織	43 組織
	老人クラブ	12 クラブ (737 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	1 サロン
	・参加者数	187 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	233 人
	特色ある校区独自組織	・すみの見守り・SOSネットワーク協議会 ・民話の里すみの ・すみの玉ちゃんクラブ ・せつとう節保存会 ・角野小学校読み聞かせの会 ・環境美化推進委員会

2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	角野公民館、マイントピア別子、上部高齢者福祉センター、山根総合体育館 新居浜市立図書館角野分館、山根公園屋内プール、テニスコート
	自治会館等	22カ所 奥之平自治会館、角野三軒屋自治会館、角野新田自治会館、角野土橋自治会館、 吉岡自治会館、宮・喜連合自治会館、御蔵自治会館、三ツ石集会所、山根西自 治会集会所、山田自治会館、篠場自治会館、篠場団地自治会館、種子川自治会 館、城主自治会館、西泉自治会館、西連寺自治会館、中筋自治会館、北内上自 治会館、北内中自治会館、立川自治会館、立川集会所（旧立川保育園）、高庭地 一字自治会館（角野校区と泉川校区両校区が共有）
災害時拠点	指定避難所	角野小学校、角野中学校、新居浜南高校、角野公民館、マイントピア別子 上部高齢者福祉センター、山根総合体育館
	指定緊急避難場所	角野小学校グラウンド、角野中学校グラウンド、新居浜南高校グラウンド、喜光地公園、 山根公園
	福祉避難所	つぼみ、グループホームたちばな、あすなろ北内チヨの里、でんでんむし
	防災倉庫	角野公民館
	その他災害時に 使える拠点	喜光地ふれあい広場、喜光地イベント広場、住友化学愛媛工場吉岡泉 角野分団、角野分団喜光地詰所、角野分団立川詰所、新居浜警察署山根駐在所
公園		西喜光地公園、喜光地公園、山根公園、新田公園 喜光地児童遊園地、西泉児童遊園地
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】居宅介護支援事業所すみの、居宅介護支援事業所ひと、ラ イフケア、居宅介護支援事業所おくらの里、居宅介護支援事業所ひつじが丘、レ モン・ライム 【訪問介護】訪問介護事業所ひつじが丘、訪問介護ステーションすみの、オレン ジケアステーション、おくらの里、ひと、ライフケア 【訪問看護】訪問看護ステーションれんげの会 【通所介護】デイサービスセンターおくらの里、デイサービスセンターすみの あすなろ北内チヨの里、デイサービスでんでんむし 【認知症対応型通所介護】ケアポートセンター西連寺 【特別養護老人ホーム】おくらの里 【地域密着型介護老人福祉施設】広瀬の里 【高齢者向け住宅】あすなろ北内、ももや壺号館；式号館
	こども施設	認定こども園ひかり幼稚園、みどり園保育所、角野保育園、新田保育園 児童養護施設東新学園、プラネットキッズ
	障がい施設	【通所系】国領荘 【共同生活援助グループホーム】ひまわり、いっば、いちよう の木 【小規模作業所】えひめ里共同作業所 【相談支援事業所】まごころの会 【通所給付事業】さくら、にじいろぱんだ
	その他施設 (グループホーム)等	【認知症対応型共同生活介護】グループホームうわばら、グループホームたちばな、グループホーム あすなろ 【母子生活支援施設】清光寮
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		石川内科医院、十全ユリノキ病院、林病院、田坂外科医院、松村クリニック たねがわ心の相談室
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		バリュー新居浜店、コープ山根、ローソン新居浜篠場店、コスモス(喜光地店、篠場 店)、ファミリーマート新居浜中筋町店、くすりのレディ喜光地店、ドラッグストアマック 西連寺店
その他活用可能な社会資源		新居浜警察署山根駐在所、愛媛銀行角野支店、新居浜山根郵便局 別子銅山記念館、大山積神社、大神宮内宮神社、三島神社、法寿院、大蔵院深谷 寺、毘沙門堂、生子山(えんとつ山)、大山祇神社



■事務拠点：泉川公民館



■校区の概況・地域特性

泉川校区は国道11号線を南北にはさみ、国道11号バイパスや郷松の端線を地域の財産として、花いっぱいの美しいまちづくりに取り組んでいる地域である。人口・面積ともに市内でも規模が大きく、校区内には大型店舗や商業施設がたくさん存在する。まちづくり協議会と連合自治会を統一して、まちづくり連合自治会を組織し、自分達の地域に誇りが持てるまちづくりを主体的に推進し、「大好き泉川」を合言葉に、「元気いっぱい、美しく、思いやりにみちた、安心して生活できる」まちづくりを推進して活動している。

■スローガン

「誰もがほっとする
笑顔輝くふれあいのまちづくり」

■基本方針

誰もが、住み慣れた地域で安心して生活できるように、地域福祉活動の中核を担う泉川支部と校区諸団体との連携を図り、地域の支え合い体制づくりを推進する。また、関係機関・団体等との連携により、創意と工夫による事業や住民相互の共助と自助の精神を基盤とした地域福祉活動を計画的に実施する。

■泉川支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	2, 517世帯
活 動 拠 点	泉川公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(4)・顧問(2)・事務局長(1)・役員(5)・理事(26)・評議員(86)
会 議 の 開 催	総会(年1回)、役員会(年12回)、見守り推進員連絡会(年4回)
令 和 元 年 度 社協会費実績	1, 100, 700円



年輪のつどい



歳末ふれあい運動

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者いきいきサロン ・ 独居高齢者見守り推進事業 ・ 泉川見守り・SOSネットワーク協議会支援
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ どんこクラブ支援
世代間交流事業	・ 星原市協力
歳末たすけあい事業	・ 年輪のつどい ・ 歳末ふれあい運動

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ 高齢者いきいきサロン、老人クラブ活動の活性化支援と連携強化
	・ 既存の高齢者関連事業の充実支援
	・ 地域支え合い運動の推進
児童関係	・ 子育てサロン「いずみっこ」への関係団体との連携強化を含む充実支援
	・ コミュニティスクールを含む地域と学校の連携強化と支援（花植え、草引き等を含む）
世代間交流	・ 既存の世代間交流関連事業の充実支援
	・ 地域、関係団体との連携強化による伝統行事の継承
障がい者関係	・ 障がい者交流への支援及び支援情報の周知啓発
	・ 障がい者にやさしい校区づくりの推進
困りごと支援	・ 各種団体を通じて、困りごとの把握に努める
	・ 困りごと支援に向け、各種団体との連携及び体制づくりを推進
組織・運営関係	・ 各種団体との連携・協働を促進・強化
	・ 事務局体制の機能強化と後任育成
	・ 社協だよりを拡充し、社協活動への理解向上と会員への加入促進
その他	・ 泉川校区まちづくり連合自治会や見守り・SOS ネットワーク協議会などの活動への協力



泉川見守り・SOS ネットワーク協議



子育てサロン「いずみっこ」



新居浜市社会福祉協議会泉川支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	泉川校区
人口指標	人 口	11,587 人
	世帯数	5,920 世帯
	65 歳以上人口	3,741 人
	高齢化率	32.3%
	後期高齢化率	16.8%
	高齢者夫婦世帯数	717 世帯
	独居高齢者数	394 人
	見守り対象者数	193 人
	緊急通報装置設置	9 世帯
	福祉電話設置	5 世帯
学校等	高等学校	1 校 (435 人)
	中学校	1 校 (248 人)
	小学校	1 校 (587 人)
	幼稚園	—
	保育園	2 園
団体・組織等	民生児童委員	26 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	19 人
	自治会	54 自治会
	自主防災組織	16 組織
	老人クラブ	9 クラブ (348 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	13 サロン
	・参加者数	7,866 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	426 人
	特色ある校区独自組織	・泉川校区まちづくり連合自治会の部会活動 ・地域学校協働活動 ・花いっぱい運動 (校区連合自治会が中心となり、約 1 万 2 千本の苗を町内に配布) (11号バイパスアイロードの除草・草刈り・街路樹の剪定) (観音原県道東西側への花プランター設置と注水作業) ・大好き泉川っ子教室



2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	泉川公民館、瀬戸会館
	自治会館等	23カ所 【下泉】下泉コミュニティ会館、下泉会館、久門集会所【上泉】外山自治会館、上泉東自治会館、星原林市集会所、要害自治会館、高庭地一字自治会館（泉川・角野両校区と共有）【岸の上】岸の上団地自治会集会所、岸の上本自治会館、岸の上連合自治会館東原自治会館【瀬戸寿】寿町集会所【川東】下東田自治会館、観音原自治会館、東田自治会館、東田団地自治会館、美しが丘自治会館コミュニティハウス、光明寺自治会館【喜光地松原】喜光地西町自治会館、松原団地自治会集会所【松木坂井】松木坂井自治会館【西喜光地】西喜光地自治会館
災害時拠点	指定避難所	泉川小学校、泉川中学校、新居浜商業高等学校、泉川公民館、瀬戸会館
	指定緊急避難場所	泉川小学校グラウンド、泉川中学校グラウンド、新居浜商業高等学校グラウンド、瀬戸公園、寿公園、西喜光地公園
	福祉避難所	どんでんどん、宝閑荘、デイサービスしずか、グループホーム集い、さわやか新居浜館、小規模多機能ホーム泉川、わっはっは、デイサービスセンターいずみ
	防災倉庫	泉川公民館、瀬戸寿自治会、光明寺自治会、上泉自治会、喜光地松原自治会、東田自治会、下泉自治会、松木坂井自治会、岸の上自治会、西喜光地自治会
	その他災害時に使える拠点	学校給食センター、ベルモニー会館坂井、泉川分団、泉川分団東田詰所、東田自治会防災室、さわやか新居浜館
公園		瀬戸公園、寿公園、西喜光地公園、高柳公園、東田泉公園、平尾公園、東田団地公園、光明寺こども広場、東原自治会館横子ども広場
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】(株)悠遊社新居浜事業所、居宅介護支援事業所ラッキー、光介護支援センター、宝寿園、コープえひめ居宅介護支援事業所新居浜 【訪問介護】光介護サービス、(株)悠遊社、コープえひめ訪問介護事業所、JA 新居浜市、セントケアにいほま、ホームケア土屋 四国【訪問入浴介護】セントケアにいほま【訪問看護】セントケア訪問看護ステーションにいほま 【特定施設入居者生活介護、短期入所生活介護他】さわやか新居浜館 【地域密着型介護老人福祉施設】宝閑荘【通所介護】わっはっは、いずみかわ、さわやか新居浜館デイサービスセンター、ベストケア・デイサービスセンターいずみ【通所リハビリテーション】立花病院【認知症対応型通所介護】デイサービスしずか【小規模多機能型居宅介護】ケアサポートセンター喜光地、小規模多機能ホーム泉川【サービス付き高齢者住宅】泉川、住んで民家、ゆうらり
	こども施設	泉川保育園（地域子育て支援センター含む）東田保育園、東予児童相談所、瀬戸児童館、（ダイヤインターナショナル保育園）
	障がい施設	【通所系】どんでんどん、つぼみ、ほのぼの工房、en、ナイスほしほら、Olive、放課後クラブぴのきお、さわやか愛の家にいほま館
	その他施設（グループホーム）等	【認知症対応型共同生活】グループホーム集い【福祉用具貸与・販売】コープえひめ福祉用具事業所新居浜、サンマルト、ケアサービスアサヒ新居浜営業所
医療機関（歯科・整骨院等を除く）		財団新居浜病院、加藤医院、立花病院、泉川診療所、山内クリニック、みやもと眼科クリニック、桑嶋クリニック、さとう脳神経外科
生活関連機関（主なスーパー、商店等）		フレッシュバリュー新居浜店、マルカ新居浜本店、ドラッグストアマック松原店、ダイ one 新居浜、マルコセンター新居浜店、ケーズデンキ、くすりのレディ新居浜中央店、セブンイレブン松木店、ファミリーマート（新居浜外山店、新居浜坂井店、新居浜松原店）、ミニストップ（新居浜喜光地町店、松原町店）、他多数
その他活用可能な社会資源		東台神社、東田外泉、東田大師堂、「風」モニュメント、粟島神社と赤い橋、植田泉石碑、ポケットパーク、稽崇館跡、泉川町役場跡、喜光地ふれあい広場、喜光地伏見稲荷、鳴鐘山・隆徳寺、浦渡神社、真星神社（星の宮）、林香庵、愛媛県立新居農学校跡、国領川河川敷広場、高柳泉、遠藤石山石碑、喜光地薬師堂、西喜光地阿弥陀堂、壁画



■事務拠点：船木公民館



■校区の概況・地域特性

船木校区は新居浜市の南東に位置し、東は四国中央市土居町と隣接している。田畑が多く、緑豊かな地域であるが、近年は新興住宅地としても広がりを見せている。自治会組織を中心に、住民の団結力が強く、地域福祉活動と共に防災意識も高い地域である。地域福祉活動は公民館や社協船木支部が主体となり、地域の財産「池田の池」等を活用した世代交流イベントが盛んに実施されている。

■スローガン

「みんなで支えあう、
住みよい船木を目指しましょう！」

■基本方針

- ・孤独な高齢者を支援する高齢者の見守り体制の充実
- ・関係団体と連携して、明るく、楽しい地域づくりを推進する。
- ・ふれあい・いきいきサロンを普及して、買い物、防災、ふれあい事業の支援体制の拡大

■船木支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	1, 600世帯
活 動 拠 点	船木公民館
構成メンバー	支部長(1)・副支部長(2)・顧問(3)・事務局長(1)・役員(14)・部員(31)・評議員(57) 部員・評議員数は兼務を含む
会 議 の 開 催	総会(年1回)、役員会(年12回)、事業部会(年12回)
令 和 元 年 度 社 協 会 費 実 績	1, 186, 000円



金婚式祝賀



徒歩探訪

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	・ 高齢者ふれあいいきいきサロン ・ 敬老会助成 ・ 金婚式祝賀 ・ 独居高齢者見守り推進事業
児童関連事業	・ 子育てサロン ・ 少年式、七草粥支援
世代間交流事業	・ 一日敬老・一日里親行事
歳末たすけあい事業	・ 独居高齢者、高齢者夫婦世帯への配食事業 ・ 徒歩探訪会
その他事業	・ 校区成人式支援 ・ 校区防災訓練支援

■支部活動の目標（5 か年）

区分	内容
高齢者関係	・ 関係団体との連携による健康長寿の地域づくり
	・ 自治会館、集会所等を活用したサロンの推進と居場所づくり
	・ 民生児童委員及び見守り推進員、ふれあい協力員による地域全体での支え合い
児童関係	・ 青少年健全育成事業の推進
	・ 子育てサロンの継続と広報拡大
世代間交流	・ 三世代交流事業の継続
障がい者関係	・ 福祉施設への訪問と交流
困りごと支援	・ 関係機関との連携による相談しやすい環境づくり
	・ 隣り近所とのコミュニケーション 関係づくり
組織・運営関係	・ お世話人、後継者の育成支援
	・ 社会資源を活用した事業の推進
	・ 支部だよりの充実
	・ 特別会員・法人会員の加入促進
災害関係	・ 災害に強いまちづくりの推進



チャリティカラオケ大会



一日敬老・一日里親行事



新居浜市社会福祉協議会船木支部 社会資源シート

Ⅰ. 地域情報

R2.4.Ⅰ 現在

	項 目	船木校区
人口指標	人 口	7,091 人
	世帯数	3,374 世帯
	65 歳以上人口	2,558 人
	高齢化率	36.1%
	後期高齢化率	18.4%
	高齢者夫婦世帯数	559 世帯
	独居高齢者数	233 人
	見守り対象者数	212 人
	緊急通報装置設置	5 世帯
	福祉電話設置	0 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	2 校 (179 人)
	小学校	1 校 (375 人)
	幼稚園	—
	保育園	2 園
団体・組織等	民生児童委員	14 人
	主任児童委員	2 人
	見守り推進員	23 人
	自治会	19 自治会
	自主防災組織	20 組織
	老人クラブ	11 クラブ (1,247 人)
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	9 サロン
	・参加者数	5520 人
	子育てサロン	1 サロン
	・参加者数	137 人
	特色ある校区独自組織	・池田池まちづくり実行委員会 ・かぶと踊り保存会 ・楽SPO船木(総合型地域スポーツクラブ) ・青少年健全育成会 ・婦人防火クラブ



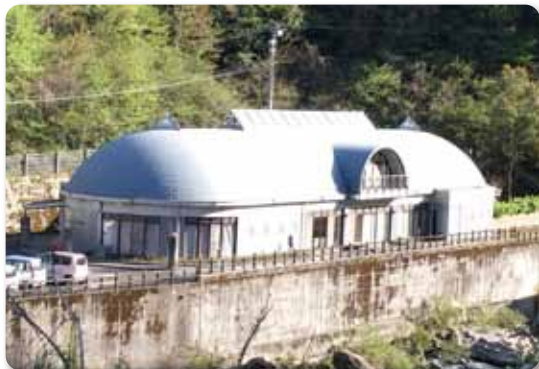
2. 社会資源

活動拠点	共同利用施設 等	船木公民館
	自治会館等	18カ所 七宝台自治会館、坂の下自治会館、みどりヶ丘自治会館 檜之端自治会館、国領集会所、下池田自治会館、長野自治会館 林下原自治会館、高祖自治会館、上池田自治会館 上原自治会館、林之端団地自治会集会所、市営住宅自治会館 元船木集会所、元船木団地自治会館、大久保自治会館 道面自治会館、関自治会館
	その他	船木小学校、船木小学校わかば分教室、船木中学校、船木中学校ひびき分校
災害時拠点	指定避難所	船木小学校、船木中学校、船木公民館
	指定緊急避難場所	えひめ学園グラウンド、船木小グラウンド、船木中グラウンド
	福祉避難所	わかば共同作業所、わかば第2作業所、豊園荘、久和園、グループホーム桜、ふたば荘、ふたばの森、グループホーム微笑の家、みんなの家
	防災倉庫	船木公民館
	その他災害時に使える拠点	船木分団、船木分団長野詰所、新居浜警察署船木駐在所
公園		池田池公園、市民の森、船木公園
福祉施設	高齢者施設	【居宅介護支援事業所】居宅介護支援事業所久和、居宅介護支援事業所ふたば荘、居宅介護支援事業所みんなの家 【訪問看護】伴野訪問看護ステーション【小規模多機能型居宅介護】憩いのいえ 【通所介護】豊園荘、デイサービスみんなの家、デイサービスセンターふたばの森、介護予防運動デイサービス リハサロン船木 【通所リハビリテーション】老人保健施設ふなき久和園 【特別養護老人ホーム】ふたば荘、豊園荘 【地域密着型介護老人福祉施設】ふたばの森 【介護老人保健施設】ふなき久和園 【軽費老人ホーム(ケアハウス)】ファミリア 【高齢者住宅】CASA 船木
	こども施設	船木保育園、えひめ学園、ちびっこワールドにいほま園、(ちびっこワールドたんぽぽ園、新居浜託児所)
	障がい施設	【通所系】わかば共同作業所、わかば第2作業所、船木の里(国領荘) 【共同生活援助(グループホーム)】第三ひまわり、こんぺいとう 【相談支援事業所】生活支援センターわかば
	その他施設(グループホーム)等	【認知症対応型共同生活介護】グループホーム桜、グループホーム微笑の家、グループホーム LOHAS・KOTI、グループホームふたばの森 【福祉用具】(株)井出組
医療機関 (歯科・整骨院等を除く)		大橋胃腸肛門科外科医院、かとうクリニック
生活関連機関 (主なスーパー、商店等)		セブンイレブン新居浜インター店、ファミリーマート新居浜インター店 ローソン新居浜インター店
その他活用可能な社会資源		船木駐在所、船木郵便局、消防船木分団、船木土地改良区、新居浜カントリー倶楽部、林之端広場、鴻上石油船木給油所、船木神社、三島神社



新居浜市社会福祉協議会別子山支部 地域福祉活動計画

■事務拠点：総合福祉センター 別子山分館



■校区の概況・地域特性

別子校区は、新居浜市の南東に位置している。新居浜市発展の礎となった別子銅山の産業遺産群があり、在りし日の繁栄の歴史を物語っている。また赤石山系を中心とする山々に囲まれており、豊かな自然を感じることができる。住民の地域への愛着は強く、支えあいの絆が生きている地域である。しかし、過疎化と高齢化が進み、地域福祉の担い手不足が深刻である。そして地理的環境の問題等から、在宅福祉サービス等も限定的である。

■スローガン

「共に生きる持続可能な地域づくりを目指して」

■基本方針

地域の深刻な生活課題や福祉課題に対応するために、校区内外の関係機関・団体との連携を強化し、社会資源の維持と確保に努める。そして、社会の変化に対応しつつ、校区内の実状に応じた事業活動を積極的に行う。

■別子山支部の概要

令和元年度

社 協 会 員 数	73世帯
活 動 拠 点	総合福祉センター別子山分館
構成メンバー	支部長（1）、副支部長（1）、事務局（1）、理事（3）、評議員（8）、監事（2）
会 議 の 開 催	総会（年1回）見守り推進員連絡会
令 和 元 年 度 社協会費実績	31,300円



見守り推進員の活動の様子



地域ケアネットワーク推進協議会の様子

■現在の取組（主な活動）

区分	事業名
高齢者関連事業	独居高齢者見守り推進事業の実施、地域ケアネットワーク推進協議会及び第二層協議体の運営、敬老者への記念品配布（校区居住・80歳以上の方）
歳末たすけあい事業	小中学生への図書券配分、生き生きデイサービス参加者への雑貨品配布
その他事業	特殊詐欺防止啓発のためのハガキを配布（校区全世帯・年2回）、社協別子山分室と児童施設課との連携事業「別子山の歴史と自然を学ぼう！」への協力

■支部活動の目標（5か年）

区分	内容
高齢者関係	独居高齢者見守り推進活動の継続的な実施
	地域ケアネットワーク推進協議会の継続的な運営と関係機関・団体等との連携強化
	生き生きデイサービス事業への利用促進
世代間交流	公民館等の関係機関・団体等との適切な連携
困りごと支援	市内等の在宅医療・保健・福祉サービス事業者等への地域参入のための啓発
	買い物難民等の支援に向けた取り組みの検討
	地域福祉の視点からの関係人口創出に向けた取り組みの実施
組織・運営関係	各種団体における地域の実状に応じた組織・事業運営のあり方等についての検討



生き生きデイサービスの様子



社協別子山分室と児童施設課との連携事業「別子山の歴史と自然を学ぼう！」の様子



新居浜市社会福祉協議会別子山支部 社会資源シート

1. 地域情報

R2.4.1 現在

	項 目	別子校区
人口指標	人 口	145 人
	世帯数	91 世帯
	65 歳以上人口	80 人
	高齢化率	55.2%
	後期高齢化率	31.7%
	高齢者夫婦世帯数	14 世帯
	独居高齢者数	27 人
	見守り対象者数	19 人
	緊急通報装置設置	2 世帯
	福祉電話設置	0 世帯
学校等	高等学校	—
	中学校	1 校 (16 人)
	小学校	1 校 (4 人)
	幼稚園	—
	保育園	1 園
団体・組織等	民生児童委員	2 人
	主任児童委員	1 人
	見守り推進員	3 人
	自治会	4 自治会
	自主防災組織	4 組織
	老人クラブ	—
	婦人組織	あり・なし
	愛護班組織	あり・なし
	ふれあい・いきいきサロン	0 サロン
	・参加者数	0 人
	子育てサロン	0 サロン
	・参加者数	0 人
	特色ある校区独自組織	・ N P O 法人 別子山の幸 ・ 別子山地域の未来を考える会 - 別子山あけぼの隊 - 別子山ファンクラブ



2. 社会資源

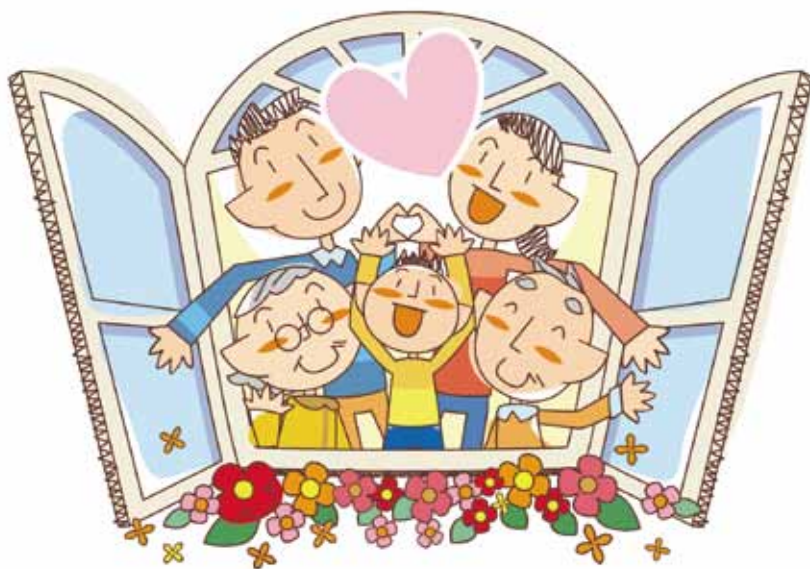
活動拠点	共同利用施設 等	別子公民館、別子山支所、総合福祉センター別子山分館（クロッケー場）
	自治会館等	4カ所 西部自治会集会所、中部自治会集会所 東部自治会集会所、大成自治会集会所
	その他	別子山ふるさと館、住友の森エコシステム（フォレスターハウス、記念広場）別子小学校、別子中学校、別子保育園
災害時拠点	指定避難所	別子小学校、別子中学校、別子山公民館、集会所（中部・東部・大成）
	指定緊急避難場所	別子小・中グラウンド、別子山市民運動公園
	その他災害時に使える拠点	別子山分団弟地詰所、別子山分団保土野詰所
公園		森林公園ゆらぎの森、別子山市民運動公園
福祉施設	高齢者施設	【地域参入事業者】 居宅介護支援事業・・・新居浜市社会福祉協議会 訪問介護事業・・・新居浜市社会福祉協議会 通所リハビリテーション事業・・・くりのみ館、デイケアひかり2 福祉用具貸与事業・・・トーカイ 新居浜営業所
	こども施設	別子保育園
医療機関 （歯科・整骨院等を除く）		医師会別子山診療所（総合福祉センター別子山分館内） 【地域参入事業者】 訪問看護事業・・・タートル訪問看護リハステーション、セントケア四国 （株）訪問看護ステーションにいほま 訪問歯科診療・・・マツダ歯科医院、いまい歯科医院
生活関連機関 （主なスーパー、商店等）		別子山ふるさと館（喫茶施設）、お食事処みどり、マルエ商店、近藤酒店 【地域参入事業者】 移動販売事業・・・移動スーパー「来んかい屋」 訪問理美容事業・・・みずたま
その他活用可能な社会資源		山城神社、新田神社、南光院本坊圓通寺、 旧別子銅山産業遺跡群、銅山川溪谷、 住友共同電力関係施設（別子ダム、別子山発電所、小美野発電所）、 別子山地域バス（花ぐるま）、別子山地域おこし協力隊、 有限会社 別子木材センター、組合法人 別子山企業組合





第5章

新居浜市社会福祉協議会 発展・強化計画



① 発展・強化計画の概要

発展・強化計画は事業運営、事業実施目標を明確にし、その実現に向けた事業、組織、財務等に関する具体的な取り組みを示しました。事業の見直しや新しい分野の事業展開を図ると同時に、その策定過程を通じて、組織そのものを変革し、役職員の意識改革を図るとともに、市社協を社会にアピールし、地域住民や自治体等に対し説明責任を果たします。また、この策定プロセスに職員が参画することを通じて人財育成につなげ、計画は年度計画によって施策を具体化していきます。また、国や愛媛県の福祉に関する動向等を愛媛県社会福祉協議会と情報共有して連携し、事業等に反映させていきます。

事業のための事業にならないよう、単一または市社協各課の連携によって、地域住民の個々のニーズに応え個々の生活を支えること、地域福祉課題の解決を図ることを目的に、事業展開を図ります。効果的に行うために、社協支部地域福祉活動計画と連携していくことが必要です。各事業には重点的に対応する支部の課題（16頁の「支部の主な課題に対する関係課と解決方法」参照）を記載しています。

計画は大きく7項目、64事業に分類しています。事業内容、現況や課題と5年間の活動指標や最終年度の成果指標で表し、具体的な取り組みを示しています。各事業は新居浜市地域福祉推進計画施策体系（資料6）と関連しており、施策番号を記載しています。各事業と関係する新居浜市の各部所とも連携を図り、本計画を推進します。

発展・強化計画 事業実施目標

- 1 「地域福祉の推進」
- 2 「児童福祉の推進」
- 3 「障がい者福祉の推進」
- 4 「高齢者福祉の推進」
- 5 「権利擁護の推進」
- 6 「ボランティア活動の推進」
- 7 「社会福祉協議会の運営強化」



② 発展・強化計画

事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

Ⅰ 地域福祉の推進

(Ⅰ) 小地域福祉活動事業

① 社協支部活動推進事業

社協支部拠点整備、財源確保、組織体制の強化と支援を行う。	財源支援を市へ要請しながら、支部の主體的な運営を支援する。 各支部との座談会を実施する。 後継者の育成に関する先進事例を活用する。	全課	⑧ ⑳ ㉑ ㉒	Ⅲ Ⅰ (1)
特別会員（財源）が減少している。 役員の後継者問題がある。				

② 大島校区・別子校区地域福祉活動支援事業

高齢化率の高い、島しょ部・中山間地域に対する地域福祉活動の支援を行う。	【大島校区】地域ケアネットワーク推進協議会に参加する。課題解決において、新制度や体制を市と検討する。	障がい 総務・介護・高齢・	① ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮	(3) Ⅰ 、 2 、 2 (2) (1) Ⅱ 、 2 (2) Ⅱ 、 2 (2) Ⅳ Ⅲ 、 Ⅲ 、 Ⅲ (2) Ⅰ (1) Ⅰ
高齢化率50%超。地域福祉ニーズの実情に応じた支援が必要である。高齢化、移動、買い物、後継者の問題がある。	【別子校区】地域福祉活動への展開を目的に関係人口創出を支援する。			

③ サロン支援事業

地域の高齢者・子育てサロンの内容を充実させ、普及を行う。	サロン充実に向け、各課が連携して広報や出前講座等で支援する。	全課	① ② ⑦ ⑬ ⑮	Ⅰ 2 (2)
参加者の固定や他活動の普及により、参加者が減少している。 運営者や指導者が不足している。				

(Ⅱ) 企画・広報事業

愛媛県社会福祉大会参加、新居浜市社会福祉大会、生き生きフェスティバルを実施する。	参加者が交流を図れる工夫をする。 生き生きフェスティバルで地域福祉活動の広報を行う。	全課	㉒ ㉓	Ⅲ Ⅰ (1)
認知度が低く、事業の主旨に対する関心が高くない。				

(Ⅲ) 共同募金運営事業

募金活動、啓発活動、配分事業を推進する。	共同募金運動への関心が広がるよう、広報により支部や地域福祉活動の啓発を行い、募金増額に努める。	—	㉑ ㉒	Ⅲ Ⅰ (1)
募金が減少している。 配分額が縮小している。				



事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

(4) 民生児童委員協議会連携推進事業

会議への参加・協力により連携する。 見守り推進員との連携や連絡調整を行う。	会議参加により情報共有し、社協活動の理解を得て、協力を依頼する。 校区民協議会に参加する。 独居高齢者の課題を含めた地域課題解決に向けて、連携強化する。	全課	⑤ ②⑦⑩ ③②①⑤	Ⅲ Ⅰ (1)
社協活動の周知及び連携促進が十分でない面がある。				

(5) 福祉施設協議会運営事業

市内福祉施設の情報交換や相互連携の支援を行う。	災害等緊急時に、福祉施設間の協力支援体制を構築する。 互いの理解を深めるため、イベント等への参加を促し、支部との関係も深める。	全課	②⑤ ②⑧ ③⑩	Ⅲ Ⅰ (2)
施設間の連携ネットワーク、支え合い体制について協議途中である。				

(6) 地域福祉バス運行事業

高齢者福祉センター利用者の送迎、及び福祉団体の研修等で有効利用する。	感染症対策を含め安心・安全な運行管理を徹底し、支部活動にも柔軟に対応する。 高齢者福祉センターの利用率増加を検討する。	全課	① ⑬	Ⅲ Ⅰ (1)
バスが2台になり、各団体の希望は調整しやすくなった。 事業環境が変化しやすい。				

(7) 地域福祉バス運行事業（別子校区）

生き生きデイサービス及び分館の活用日の送迎を行う。また、地域住民の社会参加を促進する。	利用者がいる限り、事業を継続する。 中期的には運転業務の委託方法を検討する。 長期的には事業継続のあり方や車輛管理等を市と協議する。	地域・高 齢	⑬ ③④	Ⅱ 2 (2)
運転手の確保が困難である。市と事業の継続方法や車輛管理等の協議が、今後必要である。				

(8) 福祉用具貸与事業

施設入所者の一時帰宅や介護認定申請中の利用等に対する車椅子等を貸与する。	貸与では難しい案件の解決方法を検討する。 総合福祉センターと障がい者福祉センターの貸与事業を広報する。 他の用具の貸与を検討する。	介護 障がい・ 権利・	⑬ ③②	Ⅲ Ⅰ (1)
利用数は時期により増加している。保管と管理内容等の改善を行う。				



② 発展・強化計画

事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

(9) 日本赤十字社愛媛県支部新居浜市地区運営事業

赤十字活動の周知、会員を加入促進し、講習会を開催する。	企業を新規登録して定期的に募金を依頼する。3年毎に更新する。 高齢者福祉センターとの連携により講習会等を実施し、広く周知する。	高齢	② ⑦	—
会費が減少し、企業データも更新されていない。				

(10) 会員制度啓発推進事業

社協会員の適正な管理運営と会員制度の啓発を行う。	新規加入促進及び継続加入維持のため、市社協各課で地域福祉活動の支援を行う。 支部活動を広報する。 集金時の事務処理を簡素化する。	全課	⑧ ⑬ ⑳ ㉑ ㉒	Ⅲ Ⅰ (1)
会員数が減少している。 お世話人、自治会の集金の負担が増加している。				

(11) まごころ銀行の運営

寄付を預託し、福祉サービス等の各種事業へ活用する。	社協だよりやホームページに、使途や寄付者を掲載して、定期的に広報する。	全課	—	—
寄付全体が減少しており、一般寄付と指定寄付のうち、指定寄付が増加している。				

(12) 総合福祉センター（本館）管理運営事業

安心、安全な施設運営と地域福祉の拠点施設として情報提供を総合的に実施する。	掲示版を整備し、支部や関係機関の情報提供を行い、地域福祉の拠点機能を発揮する。年間利用12万人を目指す。 設備機器の修繕計画を市と協議して作成し、保守管理する。	全課	③① ③ ⑥ ⑤ ⑥	Ⅰ Ⅰ (2) Ⅲ Ⅰ (1)
利用者が固定化している。利用方法が多様化し、効果効率的な管理運営が求められている。設備機器が老朽化している。				

(13) 総合福祉センター（別子山分館）管理運営事業

適切な管理運営を行い、住民主体の福祉活動拠点として、地域住民の福祉の増進及び福祉意識の高揚を図る。	地域福祉の視点から、関係人口の創出を図る事業を展開する。 利用者数を令和5年度までにコロナ禍以前まで回復させ、7年度には1,000人以上を目標とする。	児童・地域・高齢・障がい	⑧⑥ ③ ⑧ ⑪ ⑭ ⑮	(2)Ⅲ Ⅳ Ⅰ 2 (1) (2)Ⅲ 2 (1)
近年は利用者数が増加している。コロナ禍により令和元年度は783人。令和2年度は過去最低となる見通し。				



事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

(14) 地域包括支援センター協力機関業務（別子校区）

別子校区の高齢者の相談支援を実施する。地域ケアネットワーク推進協議会（月1回）を開催する。	地域包括支援センターと連携し、啓発活動を行い、校区外の社会資源を確保する。	地域・高齢・	③④① ⑪ ⑮ ⑯ ⑳ ㉓ ㉔	(3) I 2 2 (2)(2) IV III 1 1 (1)(1)
校区担当ケアマネジャーと連携し、見守りを行っている。中山間地域の実態に応じた多職種連携の基盤の強化が必要である。	I C T (情報通信技術)等を活用し、効率的な社会資源間の情報共有体制を構築する。			

(15) 生き生きデイサービス事業（別子校区）

別子校区の高齢者の自立生活の助長、社会的孤立の解消、心身機能の維持向上等を実施する（月2回）。	利用者がいる限り、事業を継続する。特に別子校区外の住民及び関係機関、団体等との交流を促進する取り組みを行う。	地域・高齢	① ⑥	I 2 (2)
近年は登録者数が増加している。コロナ禍により令和元年度利用者数は208人。2年度は過去最低となる見通しである。				



「別子山・児童連携事業
mirai コーディネーター・オリジナルイラスト」
子どもたちが新居浜と別子山の
未来の懸け橋となります。



「参加児童へのプレゼント」
南校ユネスコ部が全面的に
協力してくれました。

② 発展・強化計画

事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

2 児童福祉の推進

(1) 児童館運営事業

①一般来館児童対象事業

一般来館児童の遊びの指導や援助を行い、季節行事、「あそびの広場」を開催する。	統計情報や利用状況を検証して支援を向上し、利用者数を平成30年度に対して年1%増加させる。 関係機関との連携を強化して、地域に関わる。地域や子育て中の保護者にSNSで情報提供する。	高総務・地域・	—	Ⅰ (2) Ⅰ 2 (Ⅰ) (Ⅰ) Ⅱ Ⅳ 2 Ⅰ (3) (Ⅰ) Ⅲ Ⅰ
利用者が減少している。幅広い年齢層には対応できていない。				

②クラブ活動

利用者のニーズに合った内容を取り入れ、楽しく活動に参加できるように努め、年齢別クラブを実施する。	利用者ニーズを把握して、内容を工夫する。 子育て中の保護者に情報提供し、クラブ活動の魅力を伝える。 他機関と重複しない開催日を設定する。	総務	—	Ⅲ Ⅰ (2) Ⅳ Ⅰ (1)
参加者数が減少している。クラブ活動が広く知られていない。				

③サークル活動

0歳から2歳の乳幼児親子に親子関係を深める活動や母親の仲間づくりを支援する。	乳幼児親子が利用しやすい環境整備を行う。他機関と重複しない開催日を設定する。 他のイベント等で情報提供する。	総務	—	Ⅲ Ⅰ (2) Ⅳ Ⅰ (1)
参加者数が減少している。				

(2) 児童健全育成事業

①にいはまやんちゃKIDS

地域ぐるみで健全育成を図るため、関係機関や団体の協力を得て4館合同で実施する。	参加したくなる魅力ある内容とする。 ボランティアの安定的確保を行う。	総務	—	Ⅲ Ⅰ (2)
内容がマンネリ化している。ボランティア活動に参加している学校への調整が必要である。				

②出前児童館

団体の依頼により地域で遊びの提供や指導を行い、活動を支援する。	「出前児童館お品書き」を作成し、地域子育て関係機関等へ周知する。 職員が研修会に参加し、技術を向上する。	地域	—	—
団体からの依頼数が減少している。地域イベントでの広報ができていない。				



事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

③子育てサロンへの協力

地域の子育てサロンに協力して、情報を共有し、子育て家庭を支援する。	連携強化し、サロン運営支部に内容や広報を支援する。	地域	③ ④ ⑤	Ⅲ Ⅰ (2)
サロン開催日と児童館開館日が合っていない。地域によって協力の仕方に差がある。				

④配慮が必要な児童への支援他

発達や家庭環境に配慮が必要な児童に、関係機関と協力して継続的に支援する。	緊急時は状況を速やかに把握する。 関係機関と連携強化し、個人情報に配慮して情報共有する。	—	—	Ⅳ Ⅰ (1)
関係機関へつないでいるが、現状把握できず協力できていない。				

⑤いのちの授業

地域関係者の協力により、中学3年生が赤ちゃん親子とふれあう体験を提供する。	開催時期を考慮し、早期に関係機関と打合せする。 1回増やし、実施を年間3校で実施する。	地域	—	Ⅲ Ⅰ (1)
保護者や地域協力者に好評を得ている。赤ちゃん親子の参加が困難な時期がある。				

(3) エンゼルヘルパー派遣事業

養育者の産前産後、病気療養が必要な家庭にヘルパーを派遣し、生活の安定と子育て負担の軽減を図る。	家事や育児のより適切な支援を行い、子育て負担の軽減と家庭生活の安定を図る。 利用者の希望により、社協支部等に必要情報・支援等を伝える。	地域	②	Ⅲ Ⅰ (2)
周りからの援助を受けられない家庭において、家事・育児の困難さがある。				



「児童館でダイナミックに遊ぶ児童」

拠点性・多機能性・地域性を有し、児童の遊びを手段として、個別支援、集団支援、地域支援を行っています。

② 発展・強化計画

事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号 支番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

3 障がい者福祉の推進

(1) 障がい者福祉センター運営事業

障がい者に日常の場を提供し、教養の向上、社会参加、レクリエーションを供与し、福祉の増進を図る。	ホームページ・センターだよりで広報を充実させる。 地域交流事業を強化する。 障がい者団体の支援を行う。 福祉避難所開設訓練を実施する。	地域・権利	(19) (25) (28) (29)	ⅣⅢ ⅠⅠ (1)(2) Ⅱ Ⅰ (1)
障がい者個人や団体の高齢化が進んでいる。				

(2) 障がい者サロン事業

仲間作りや情報共有などのコミュニケーションの場を提供する。	軽スポーツ、体操、野外活動、室内活動それぞれに、新しい内容を一つ以上取り入れる。 広報により地域に周知し、参加者を増やす。	地域	(25) (28) (29)	Ⅲ Ⅰ (2)
参加者が固定化し、内容がマンネリ化している。				

(3) 障がい者在宅福祉対策事業

意思疎通支援事業、生活訓練等事業、身体障がい者スポーツ教室開催等事業・大会開催事業、リフト付き福祉バス運行事業	パンフレットを作成して、意思疎通支援事業の利用増加を図る。 その他各事業で一つ以上は講師、内容を変更する。	総務	(28) (29)	Ⅲ (2) Ⅳ Ⅰ (1)
事業は定着しているが、マンネリ化している。				

(4) 地域活動支援センターⅢ型「いぶき」運営事業

通所により自立更生に必要な訓練及び、職業的な作業等による自主製品作り、企業の受託や行事を通して、社会参加を促進する。	支援学校等の関係機関団体に働きかけ、利用者増を図る。 地域との交流を積極的に行い、障がい者への理解と社会参加の促進を図る。 利用者の就労支援を強化する。	地域・権利	(25) (29)	ⅣⅢ ⅠⅠ (2)(2) Ⅳ Ⅰ (1)
定員(19名)に対し、2名の空きがある。				

(5) 生活介護事業

障がい者の身体状況や環境に応じて、自立促進、生活の質の向上を図るため、日常生活上の介護や訓練及び創作活動を実施する。	より質の高いサービスを提供するため、定員を見直す。 研修会へ参加して、職員の資質向上に努める。	権利	(28) (29)	Ⅲ Ⅰ (2) Ⅳ Ⅰ (1)
利用者が高齢化・重度化している。				



事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

(6) 児童発達支援事業「はげみ園」

未就学の障がい児に対し、早期から特性に合わせた専門療育を実施する。	より多くの利用児や家族の地域生活を支える。 経営安定のため、年間を通して定員を満たす。 相談業務を充実させる。	全課	②⑨	Ⅲ Ⅰ (2)
欠席児数の補填、障がい特性の多様さに柔軟に対応しきれず、経営が安定していない。				

(7) 障がい者居宅介護等事業

居宅介護、重度訪問介護、行動援護、同行援護	より適切な支援を実施する。 利用者の希望により、社協支部等に必要情報・支援等を伝える。 災害時に必要な服薬情報や緊急連絡先等の台帳を整備する。	権利・地域	①⑦ ①⑨ ②⑧	Ⅲ Ⅰ (1) (2)
自立生活に対し可能な限り、より適切なサービスが必要である。地域の障がい者や災害時に必要な情報が得られない。				

(8) 障がい者等移動支援事業

屋外の移動困難な障がい者に外出援助し、地域生活と社会参加を支援する。	同行援護対象外の障がい者等の外出に同行し、より適切な支援を行う。 利用者の希望により、社協支部等に必要情報・支援等を伝える。	地域	①⑦ ②⑧	Ⅳ Ⅰ (1)
移動時のより適切な支援が必要である。地域の障がい者の必要情報が得られない。				



「児童発達支援事業所 はげみ園」

障がい児の早期の適切な支援とその家族が安心して暮らせる地域づくりの基盤を強化しています。



「生活介護事業」

障がい者の社会参加や自立促進、生活の質(QOL)の向上及び心身機能の維持等を図ります。

② 発展・強化計画

事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

4 高齢者福祉の推進

(1) 独居高齢者見守り推進事業

在宅独居高齢者が安心して生活ができるよう、地域関係者の参加・協力で、見守り推進員による安否確認を実施する。	民生児童委員と見守り推進員の連携を支援し、システム導入により関係機関との円滑な連絡体制を構築する。 各支部の連絡会議に参加して、情報共有を図る。	権利・高齢・別子・介護課	⑧ ⑪ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯	Ⅲ Ⅰ (1)
推進員の高齢化、後継者問題がある。民生委員を含め関係団体との連携が不十分である。				

① 高齢者福祉センターの管理運営

健康長寿のまちづくりを実現するため、生きがい創出、健康づくり、生活支援を行う拠点として、高齢者福祉の増進を図る。	ホームページやセンターだよりで地域住民への周知を図るとともに、地域の関係機関と交流活動を行い、次世代利用者に広報する。	地域・総務・介護課	① ② ⑥ ⑪ ⑬ ⑮ ⑯	Ⅲ Ⅰ (1)
新規利用者が少なく、利用者総数が減少している。				

② 生きがい創出事業

サークル支援、講座により、仲間づくり・趣味づくり・社会参加をとおして、豊かな生活を送れるよう活力を創出する。	地域との関係を深め、関係機関との交流を図り、生きがいづくりにつなげる。 社協支部や自治会等のサロンの依頼に、市社協各課と協力し、少人数での仲間づくりを行う。	地域・児童・介護課	① ② ⑥ ⑪ ⑬ ⑮ ⑯	Ⅰ Ⅱ (2)
発表の場となる各種の行事で参加者が減少、固定化している。				

③ 健康づくり事業

体操や健康教室の知識供与、相談・保健指導等で、健康維持・体力増進を図り、日常生活を送れるよう安心・安全を創出する。	利用者ニーズを把握し、関係機関や専門職（理学療法士等）とともに健康づくりを推進する。 利用者のコミュニケーションを促進して仲間づくりを行う。	地域・介護課	① ⑬	Ⅰ Ⅰ (1)
利用者以外の地域での周知度は低い。				

④ 生活支援事業

生活相談・指導、入浴事業で生活課題の早期発見と予防と、生活の安定を図り、関係機関と連携して生きる力を創出する。	災害時にも対応できるように情報共有（緊急連絡カード整備）を行う。 各種福祉サービスの情報提供を行う。	地域・権利・介護課	⑫ ① ② ⑥ ⑪ ⑬ ⑮ ⑯	Ⅲ Ⅰ (3)
独居高齢者の増加による災害時対応の必要性が高まっているため、関係機関と継続した連携が求められる。				



事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

(2) 居宅介護支援事業

アセスメントを行い、利用者本位の計画を作成し、計画に沿ったサービスを提供する。	より適切な支援を実施する。 災害時に必要な服薬情報や緊急連絡先等の台帳を整備する。 利用者の希望により、社協支部等に必要情報を伝える。	地域	⑬ ⑭ ⑳	(3) Ⅱ Ⅰ Ⅲ Ⅰ (2)
サービス向上のための専門職の支援が必要である。災害時に必要な情報が得られない。独居高齢者見守りの連携を促進する。				

(3) 訪問介護事業

利用者のニーズに沿った訪問介護計画を作成し、居宅においてサービスを提供する。	より適切な支援を実施する。 災害時に必要な服薬情報や緊急連絡先等の台帳を整備する。 利用者の希望により、社協支部等に必要情報を伝える。要介護者へサロンの案内をする。	地域	② ⑭ ⑳	(3) Ⅱ Ⅰ Ⅲ Ⅰ (2)
より適切なサービスが必要である。地域の要支援者や災害時に必要な情報が得られない。サロンへの参加が減少している。				

(4) 認知症対応型通所介護事業

認知症の方が可能な限り居宅での日常生活が送れるよう、入浴、食事介護や機能訓練を実施し、家族の身体的負担を軽減する。	より適切な支援を実施する。 災害時に必要な服薬情報や緊急連絡先等の台帳を整備する。 利用者の希望により、社協支部等に必要情報を伝える。利用者へサロンの案内をする。	地域	② ⑭ ⑳	(3) Ⅱ Ⅰ Ⅲ Ⅰ (2)
日常生活上のより適切な支援が必要。災害時に必要な情報が得られない。				

(5) 訪問介護事業所職員連絡会運営事業

市内事業所相互連携と介護職員の資質向上を図るため、研修、会員交流を促進し、在宅福祉を向上させる。	研修を充実させるとともに、会員交流の促進を図る。 社会資源の活用や地域福祉関係組織との連携を検討する。	—	②	Ⅲ Ⅰ (1)
訪問介護事業や障がい者居宅介護等事業に従事者の資質向上が必要。福祉活動における制度間の連携を促進させる。				



「高齢者福祉センターイベント」
笑顔は健康づくりの第一歩。

② 発展・強化計画

事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号 支番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

5 権利擁護の推進

(1) くらしの総合相談・支援事業

権利擁護課の相談支援員が中心となり、日常のあらゆる相談を受付ける。専門相談は月1回ずつ開設する。	幅広い相談にワンストップで対応できるよう市社協各課との連携及び職員の資質向上を図る。	全課	②⑧	Ⅲ Ⅰ (1)
傾聴を心掛け、必要に応じ専門機関へつないでいる。専門相談は相談件数にばらつきがみられる。				

(2) 生活福祉資金貸付事業

低所得者や高齢者、障がい者の生活を経済的に支え、在宅福祉及び社会参加促進を図り、生活改善を支援する。	県社協と連携を図り、適切な事業運営を図る。 生活困窮者自立支援事業と連携し、貸付できなかった世帯についても相談を通じ、家計改善支援を行う。	—	②⑧ ②⑨ ③②	Ⅲ Ⅰ (3) Ⅳ Ⅰ (2)
償還率が低いため、聞き取りを重視し、貸付後に世帯が安定した生活が送れるよう支援している。				

(3) 福祉サービス利用援助事業

判断能力が不十分な方が在宅で自立した生活が送れるよう、福祉サービスの利用援助や金銭管理等を実施する。	認知症高齢者等の増加に対応可能な体制整備を行い、関係機関と連携強化する。	全課	②⑧ ②⑨	Ⅲ Ⅰ (1) Ⅳ Ⅰ (1)
認知症高齢者の増加に伴い、申込件数が多く、待機してもらうケースが増えている。				

(4) 法人後見事業

被後見人等の身上監護、財産管理を適正に行い、相続関係、施設入所、福祉サービス利用契約の手続きを実施する。	成年後見制度の利用促進が図られるよう行政の地域連携ネットワークづくりに積極的に参画するとともに、職員の資質向上を図る。	全課	②⑧ ②⑨	Ⅳ Ⅰ (1)
財産管理だけでなく身上監護を求められるケースが増えている。				

(5) 生活困窮者自立支援事業

経済的困窮や社会的孤立など複合的な生活困難を抱える方々に、寄り添い型支援を実施する。	断らない相談支援をモットーに継続的な伴走支援を実施する。 多機関の協働をコーディネートしながら、複合的な生活課題の解決に向けて計画的な支援に取り組む。	全課	②⑧ ③②	Ⅳ Ⅰ (2) Ⅲ Ⅰ (3)
既存のサービスでは対応できない制度の狭間にある複合的な課題が多く存在する。				



事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

(6) 緊急食料等支援事業

緊急かつ一時的に生活に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなる世帯に相談支援、食料や日用品等を支給する。	緊急的な支援を要する場合に柔軟かつ迅速な対応を行うとともに、必要な相談支援が行えるよう、緊急支援食料等支援のネットワークを構築する。	全課	⑳ ㉔	Ⅳ Ⅰ (2) Ⅲ Ⅰ (3)
緊急時に柔軟で迅速な対応を求められることから、食料提供者等の支援機関の拡充が求められている。				

(7) 相談支援事業

障がい者の自立に向けて課題の解決や適切なサービス利用に向けて相談支援を実施する。	相談支援事業従事者連絡会等に参加し、地域課題の共有と支援力向上を図る。 社協内や関係機関へ周知して連携し、早期のニーズ把握とコーディネートを行う。	全課	㉔ ㉕	Ⅲ Ⅰ (2) Ⅳ Ⅰ (1)
匿名性や障がい特性等により、当事者や支援者の問題が大きくならなければ発見されにくい。				

(8) 新居浜を明るくする運動推進事業

犯罪や非行のない安全・安心な地域社会づくりを目的として、市内の44団体が参加し、運動を実施する。	保護司会、更生保護女性会、協賛団体等の関係機関と連携を取り、よりよい事業運営に向けて改善する。	全課	① ⑪	Ⅱ Ⅰ (3) Ⅳ Ⅰ (1)
毎年、強調月間の7月に大会を開催しているがマンネリ化の傾向にある。				



「社会を明るくする運動大会」

崖っぷちの人を救う
「日本駆け込み寺」代表・玄秀盛さん講演



「権利擁護課」

断らない相談支援をモットーにあらゆる生活上の困りごとへの対応を目指しています。

② 発展・強化計画

事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号 支部番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

6 ボランティア活動の推進

(1) 福祉ボランティア推進事業

① ボランティア・市民活動センター運営事業

団体及び個人登録し、市民と団体や施設をつなげ、総合的なボランティア・市民活動推進の場としての役割を担う。	公民館等、地域活動団体にボランティア登録の依頼や活動場所の提供等、様々な活動ができるよう支援する。	全課	⑪	Ⅲ 2 (2)
ボランティア・市民活動センターに登録されていない、地域団体の把握をどのように行うか。				

② ボランティア・市民活動に関する相談、援助、指導

ボランティア・市民活動に関する相談に対応し、中間支援を行う。	多様化するニーズに対し、きめ細かい支援により、地域や支部等の団体と連携し中間支援組織としての役割を周知していく。	－	⑮	Ⅲ 2 (2)
ボランティアの紹介等をしているが、中間支援組織としての機能の認知度が低い。				

③ ボランティア・市民活動に関する情報提供

市民の自発的な社会参加を促し、個人団体の活動が活発になるように必要な情報を収集、提供する。	広報紙やSNS等を活用し、ボランティア関係情報の発信を行う。 ボランティア活動普及のため、支部や関係機関とのネットワークづくりを推進する。	全課	⑳	Ⅲ 2 (2)
助成金等のボランティア関係の情報が周知されていない。市民の関心が薄い。				

④ ボランティア・市民活動に関する研修

技術ボランティア養成講座、各種講座を実施する。	ニーズに合うよう改善しながら、各種養成講座を実施する。 支部関係者への参加や案内を行う。	全課	㉔ ㉕	Ⅲ 2 (2)
参加者が減少している。講座受講後のボランティア団体への加入やボランティア活動につながっていない。				

⑤ その他

ボランティア・市民活動に関する福祉活動資料の整備、貸与、連絡調整を行う。	ボランティア・市民活動団体のニーズを把握し、必要な資料の整備を計画的に進める。	全課	㉖ ㉗	Ⅲ 2 (2)
様々な分野の市民活動に対応できる体制の整備が不十分である。				



事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

(2) 福祉教育、生涯福祉学習

福祉教育の推進及び生涯福祉学習の支援を行う。	コミュニティスクール等、学校・地域と連携した福祉教育を推進していくため、支部関係者や地域で活躍しているボランティアの参画を促す。	全課	⑥ ②⑨	Ⅲ 2 (2)
学校での当事者交流や福祉体験学習を実施しているが、地域への広がりが少ない。				

(3) 災害ボランティアセンター設置運営事業

資材管理や災害ボランティアの受付相談、登録、管理を行う。講座を開催する。ネットワークを構築し、訓練を実施する。	災害ボランティアセンター設置対応訓練等を隔年で実施し、災害に備えるとともに、災害対応マニュアルを定期的に更新する。 また、支部関係者にも活動を伝えていく。	全課	①⑨ ②⑦	Ⅱ 1 (1) Ⅲ 2 (2)
マニュアルの改訂、訓練・準備等も必要である。				



「ワークキャンプ」

福祉施設でのふれあい体験が大きな成長を促します。



「児童車いす体験」

支援が必要な人に対し、その気持ちに寄り添い、支援合うことが大事であるという価値観を育みます。



② 発展・強化計画

事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号 支番号	市推進計画 施策番号
現況や課題				

7 社会福祉協議会の運営の強化

(1) 理事会、評議員会等の運営

地域福祉を推進する団体としての経営責任を担う理事会、議決機関としての評議員会を開催する。	事業計画、事業報告を分かりやすくし、身近な福祉情報の提供で協議の場を設定する。 市社協各課と構成組織団体との連携を考察する。	全課	②⑥	Ⅲ Ⅰ (1)
会議は定期的実施しているが、会議参加のみで、社協事業の理解や所属団体との連携が少ない。				

(2) 財務運営、管理

財源（民間財源、公費財源、事業収入財源）を確保し、継続・安定的な経営、会計法令に基づく経理事務を実施。	財務状況を検証する。法人全体で情報共有し、最終年度までに短期中期経営計画を作成する。 特に基金繰入事業を考察、補助金を含み、基金に依存しない方法を検討する。	全課	②① ②②	Ⅲ Ⅰ (1)
基金への新規積立額が減少している一方で、社会福祉事業への繰入額が増加している。				

(3) 人事管理・人財育成

採用・配置、評価、処遇、育成からなる人事管理制度の一体的運営を行う。	法人全体で5S(整理・整頓・清掃・清潔・しつけ)を実施する。 研修を体系化し、最終年度までに一定の人事管理・人財育成制度を作成する。	全課	—	—
研修等で分野別人財育成は実施されているが、人事管理・人財育成の体系化ができていない。				

(4) 労務管理

働きやすい環境の整備と労働法制の順守。衛生委員会、健康診断を実施する。	法人全体で健康志向が向上する仕組みを考察し、健康講座の出席率を向上させる。 メンタルヘルスは、職員アンケートを実施し、管理職を中心に職場環境改善に努める。	全課	—	—
健康診断結果、ストレスチェック結果でリスクの高い部分がある。				

(5) 社協発展・強化、その他計画の策定と進行管理

制度、地域生活課題などの外部環境、組織体制、事業推進体制、財務状況などの内部環境をもとに策定する。進行管理を行う。	事務局会を強化し、事業のPDCAの進行管理を行う。最終年度の計画達成度を80%以上とする。 市社協各課の連携強化を行うため、役職単位の会議を開催する。	全課	—	Ⅲ Ⅰ (1)
各課の専門性は高いが、市社協各課連携体制が整っていないため、十分な機能を発揮できていない。				



事業内容	活動指標 または 最終年度成果指標	関係課	課題番号	支部番号	市推進計画 施策番号
現況や課題					

(6) 広報活動・広報戦略

社協だより・ホームページによる地域福祉活動の広報を行う。	スマートフォン対応のホームページに変更し、SNSを活用する。 市社協各課の新着情報で支部・団体紹介や行事を掲載する。 各行事の動画を配信する。	全課	②⑥① ②⑧⑤ ②⑨⑤ ①⑨ ②③⑤	Ⅲ Ⅰ (1)
ホームページの仕様が古くなっている。				



「シトラスリボンプロジェクト
～みんなのみかんの木～」
皆で思いやりの輪を広げます。



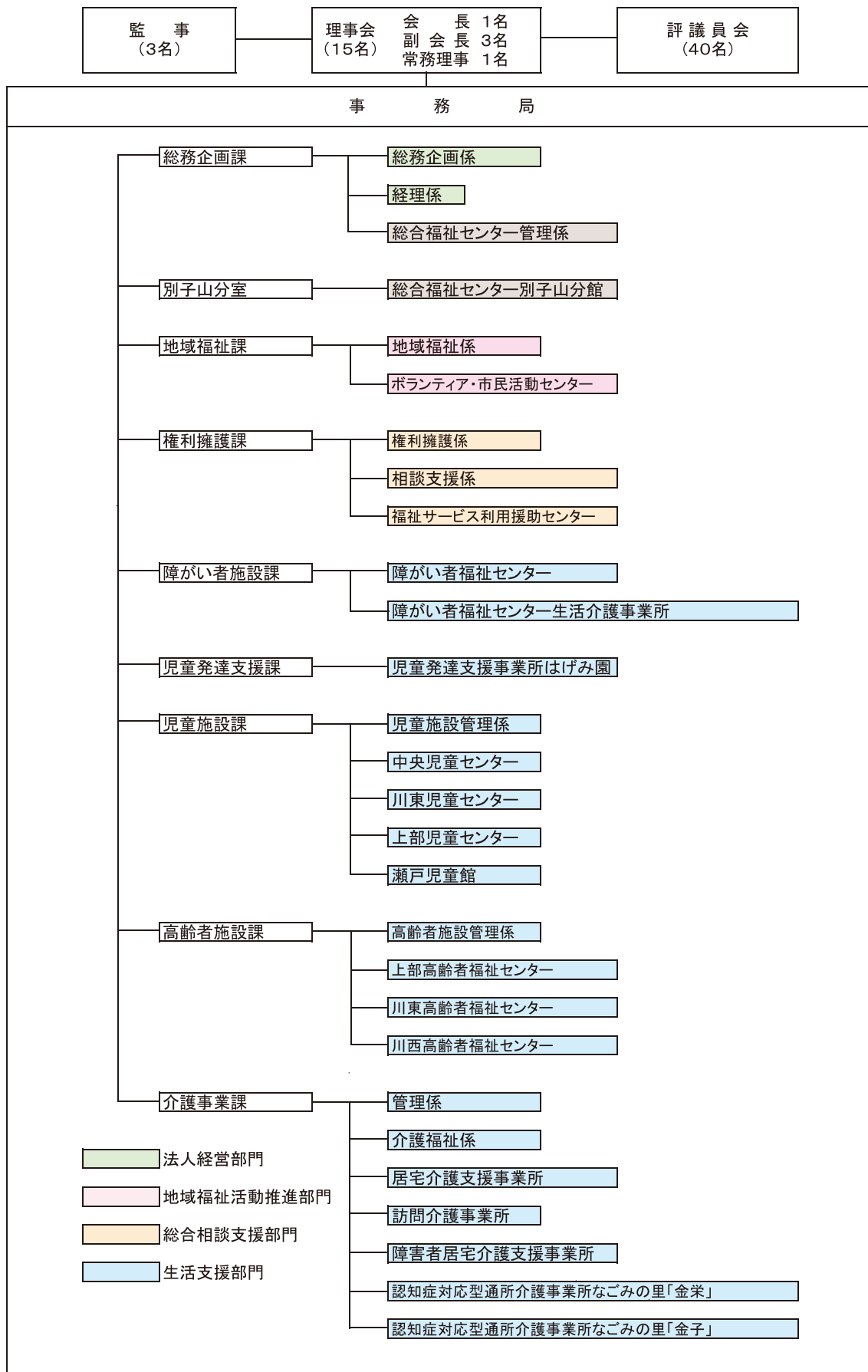
「傾聴講座」
まずは話すことよりも聞いてあげることが大事。



③ 事務局体制

社会福祉法人 新居浜市社会福祉協議会 事務局組織図

令和2年4月1日



④ 事業展開の基本的考え方

(1) 法人運営部門

法人運営部門は、適切な法人運営や事業経営を行うとともに、総合的な企画や各部門間の調整などを行う社協事業全体の管理（マネジメント）業務にあたります。

(2) 地域福祉活動推進部門

地域福祉活動推進部門は、住民参加や協働による福祉活動の支援、まちづくりや福祉コミュニティづくりなど展開し、地域福祉推進の中核的な役割を果たします。

(3) 総合相談支援部門

総合相談支援部門は、住民のあらゆる生活課題を受け止め、必要な支援をつなぐとともに、「断らない」という総合相談支援を念頭に、福祉サービス利用だけに留まらず、サービス利用の援助や地域での生活支援に向けた相談・支援活動・情報提供・連絡調整を行います。

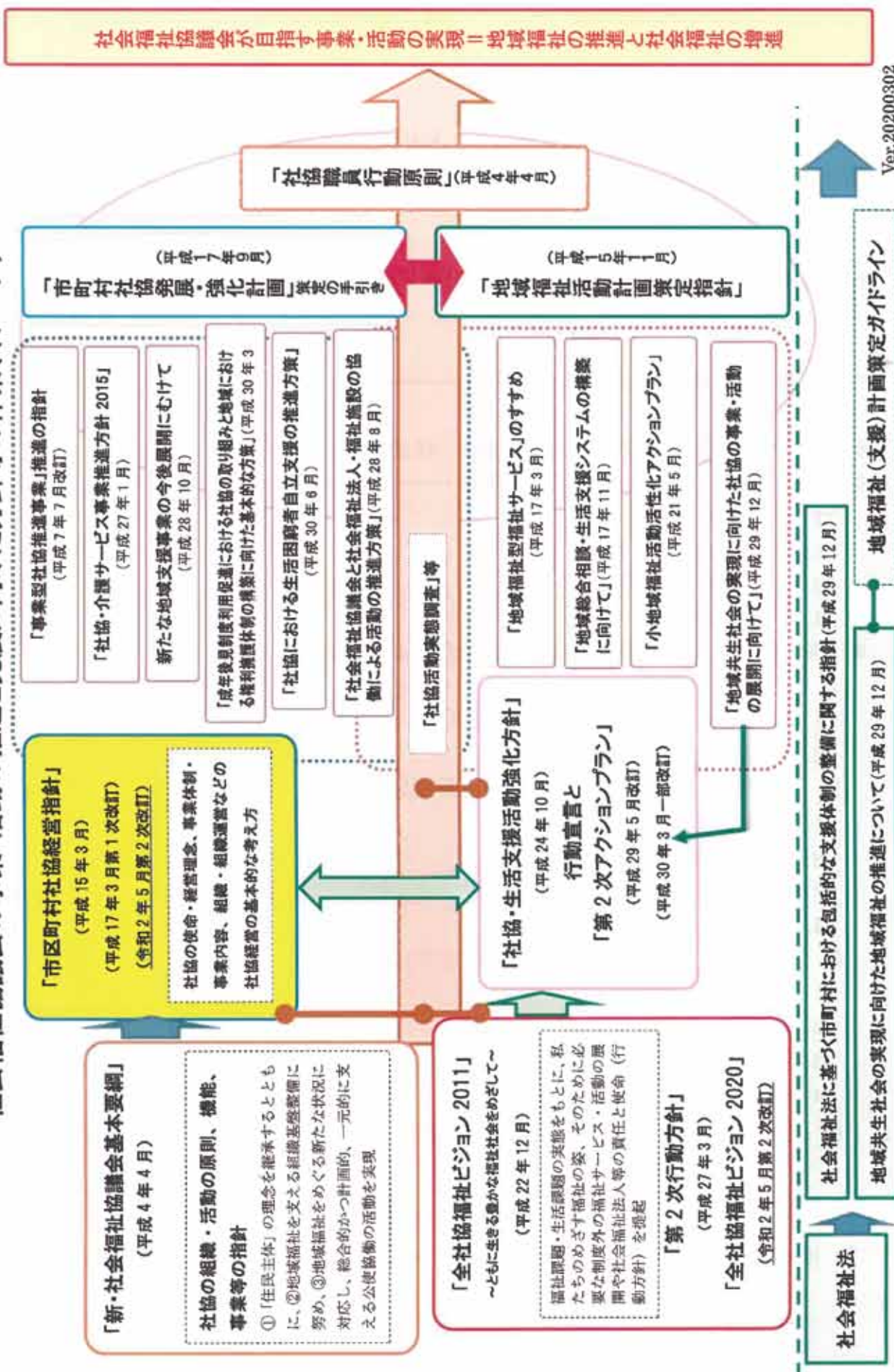
(4) 生活支援部門

生活支援部門は、介護保険法、障害者総合支援法、児童福祉法などに基づく事業の多様な生活支援サービスを提供します。



資料

社会福祉協議会の事業・活動の推進と発展に向けた方針等の体系(イメージ)



「全社協 福祉ビジョン2020 ～ともに生きる豊かな地域社会の実現をめざして」

＜概要＞

第1章 「全社協 福祉ビジョン2020」がめざすこと

○「全社協 福祉ビジョン2020」では、全国の社会福祉組織・関係者がともに考え、2040年を見据えつつ、2030年までを取り組む期間とし、**取り組みの方向性を提起**。 ※中間年である2025年に見直しを実施

➡「全社協 福祉ビジョン2020」を羅針盤として、関係者がこれまで築き上げてきた社会保障・社会福祉を将来世代につなげるために役割を果たしていく

○「全社協 福祉ビジョン2020」では、国が進めている「**地域共生社会**」の推進と、国際的に進められている「**SDGs＝誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会**」を包含し、**「ともに生きる豊かな地域社会」**の実現をめざす。

第2章 2040年に向けた福祉を取り巻く環境

○ 2040年問題の背景にある人口構造

➡少子高齢化、人口減少社会

団塊ジュニア世代が2040年には65歳以上になる

➡75歳以上高齢者の全人口割合は2040年には20%を超える

○単身世帯も増加し、2030年には全体の約4割になる

○労働力人口は急速に減少する。

○2040年に向けては「製造業」の就業者数は大きく減少する一方で、「医療・福祉」の就業者数は増加していく

- ◆ 各福祉分野の現状と課題： (1) 分野別の現状と課題、 (2) 横断的な課題
- ◆ 各福祉組織の現状と課題

長期的視点に立って今から備えていくことが必要

「全社協 福祉ビジョン2020」の具体化を図るために、組織ごとの「行動方針」の策定を呼びかけ

第3章 「ともに生きる豊かな地域社会」を実現するために

社会福祉協議会、社会福祉法人、民生委員・児童委員等は、以下の取り組みを進める。

①重層的に連携・協働を深める

- ・社会福祉協議会は地域の多様な関係者をつなぎ、地域生活課題の解決に向けて「連携・協働の場」になる
- ・社会福祉法人は「連携・協働の場」における地域のネットワークの中心として活動する

②多様な実践を増進する

- ・すべての人を対象に、居宅から施設までニーズに応じて多様なサービスを開発していく

③福祉を支える人材（福祉人材）の確保・育成・定着を図る

- ・働きやすく、働き続けられる職場づくりを進める
- ・多様な人材の参入を促進し、将来に向けて人材確保のすそ野を広げる

④福祉サービスの質と効率性の向上を図る

- ・質の向上と効率性の向上を同時に求めている
- ・福祉人材の多機能化、提供方法の見直し、ICT等の技術の活用を進める

⑤福祉組織の基盤を強化する

- ・多様な資金の確保と職員の雇用の安定化を図る
- ・地域公益活動の促進を図り、非営利組織や企業等との協働を進める

⑥国・自治体とのパートナーシップを強める

- ・自治体とのパートナーシップを強化し、公的委託事業の質を確保するために継続性を確保する
- ・地域生活課題の解決に向け、積極的な政策提言を行う

⑦地域共生社会への理解を広げ参加を促進する

- ・地域住民の参加の機会の拡充に向け、信頼関係の構築と情報発信に努める

⑧災害に備える

- ・「災害福祉支援センター（仮称）」の設置を図り、平時から「災害派遣福祉チーム（DWAT）」の組織化を進め、災害福祉支援のネットワーク化と専門人材の養成を図る
- ・平時から体制整備を図るための公的資金の確保と法整備を実現する

強化方針（行動宣言と第2次アクションプラン）～概要～

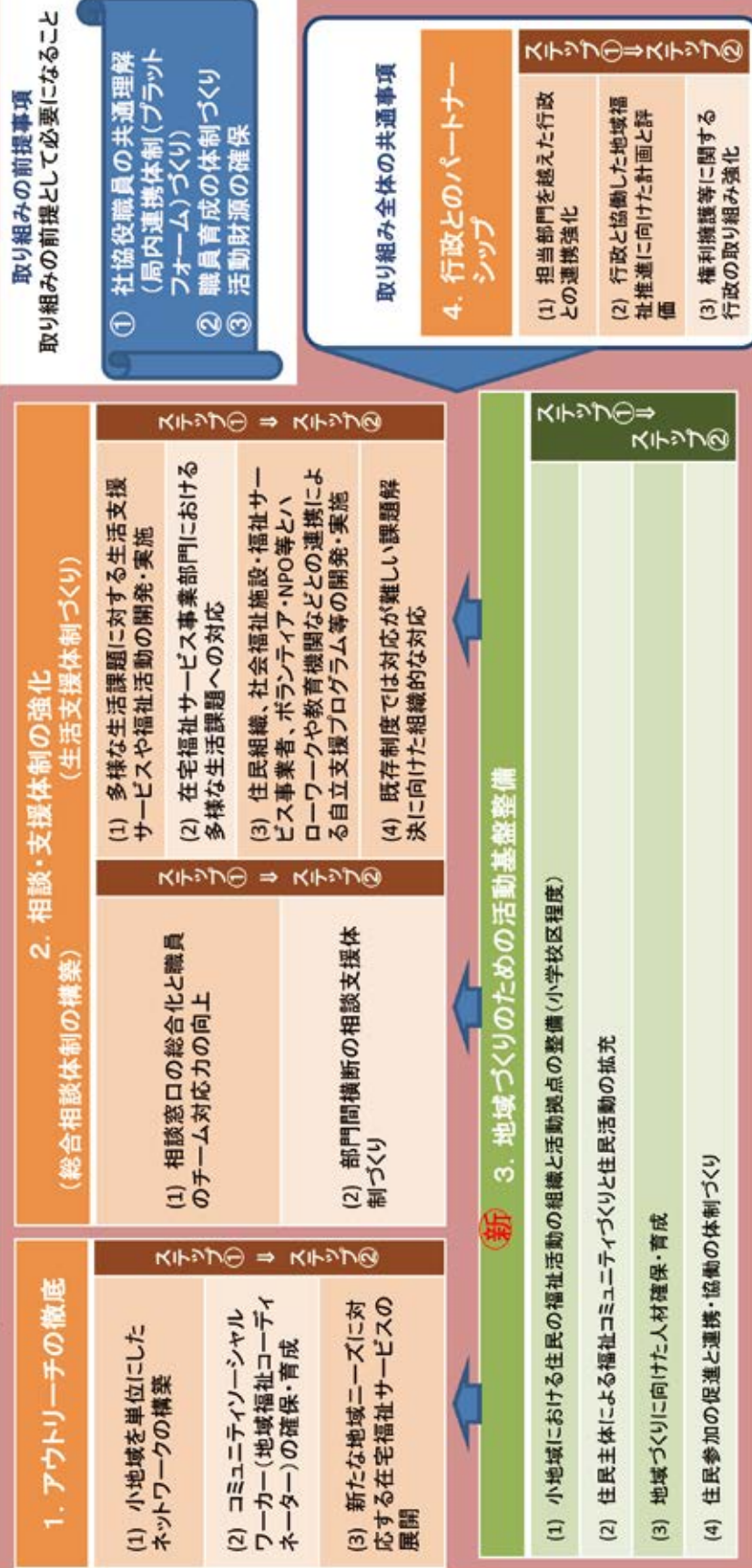
「強化方針」の柱

○ あらゆる生活課題への対応

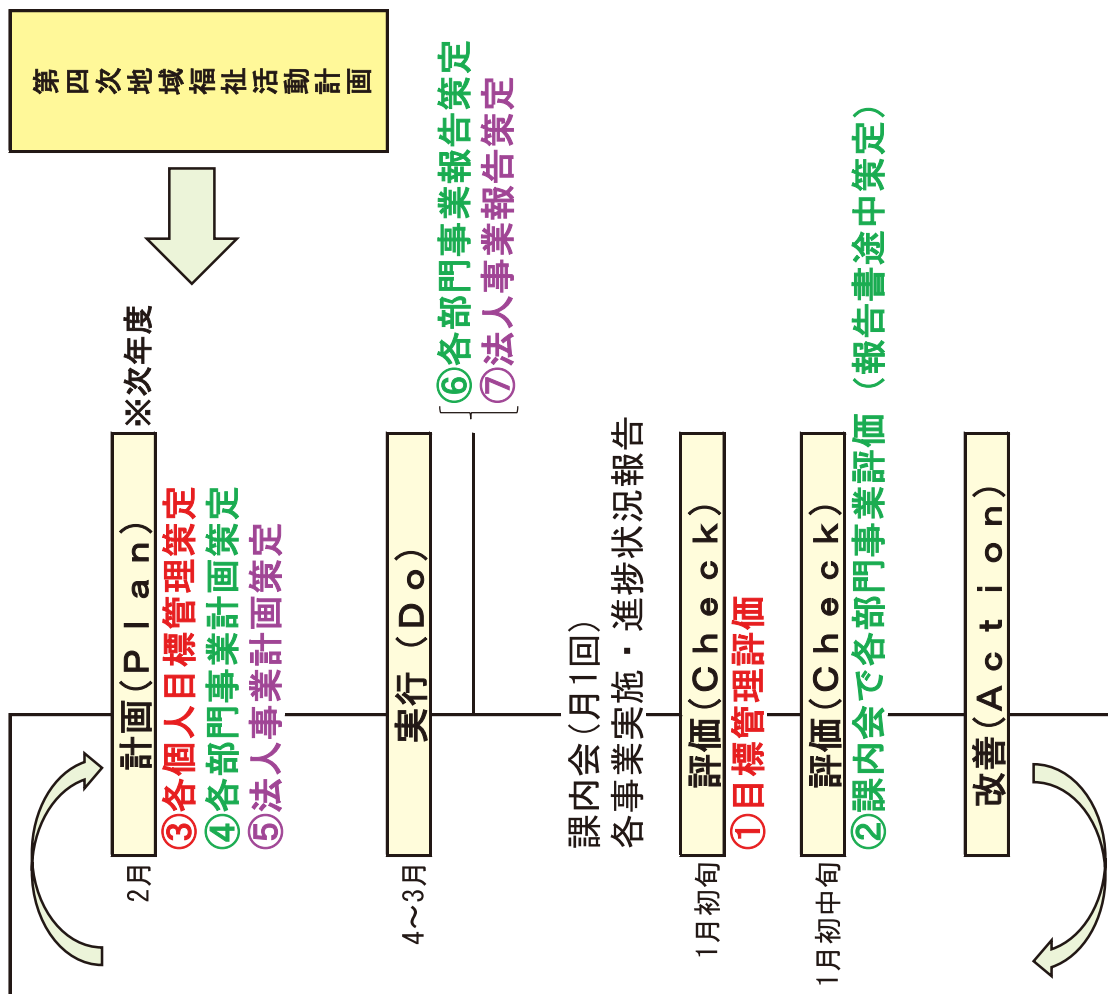
○ 地域のつながりの再構築

地域住民から寄せられる多様な生活課題を受け止め、地域を基盤にして解決につなげる支援やその仕組みづくりを行う。
小地域における住民主体の福祉活動を一層強化するとともに、ボランティア・NPO団体、地域の各種団体との協働の取り組みを広げ、地域のつながりの再構築を図り、だれをも排除しない地域社会づくりをすすめる。

「強化方針の柱」の実現のために強化すべき行動（第2次アクションプラン）



目標管理・事業計画・事業実施・事業報告の流れ(PDCAサイクル)



1. ①②を評価。

2. ①と②の結果から、各担当で③を設定。

3. 各担当が③を④⑤計画に反映させる。課内で調整。最終的に課の重点目標を設定。

4. ⑥を策定後、⑦を策定。

「社協職員行動原則―私たちがめざす職員像―」

平成 23 年 5 月 18 日
全国社会福祉協議会
地域福祉推進委員会

社会福祉協議会は、その法定化以来、住民主体による地域福祉の推進をめざし、制度だけでは対応しづらい様々な福祉問題に対して福祉サービスや相談援助などの個別支援と地域における協働による解決を重視して、住民が主人公となる社会福祉のあり方を追求してきました。私たちは、社会福祉協議会法定化60周年を期に、これまで築き上げてきた社協職員としての価値観や使命感を「社協職員行動原則」として共有し、誇りをもって行動します。

【尊厳の尊重と自立支援】

1. 私たちは、人々の尊厳と自己決定を尊重し、その人が抱える福祉問題を解決し、住み慣れた地域でその人らしく暮らすことができるよう最善を尽くします。

- 人々の尊厳と基本的人権を尊重し、援助を必要とする人が心豊かに地域社会の一員として生活が継続できるよう支援します。
- 個別の支援にあたっては、常に相手の立場に立ち、その人らしく生活できるように自己決定を尊重し、自立に向かうよう支援します。

【福祉コミュニティづくり】

2. 私たちは、住民が身近な地域における福祉について関心をもち、福祉活動に参加する住民主体による福祉コミュニティづくりをめざします。

- 様々な機会を通じて、住民が身近な地域で相互に交流し、また地域の福祉問題に目を向け、話し合いや学び合う場づくりをすすめ、自らも積極的に参加します。
- 住民自らが身近な地域において支え合いや支援活動に参加する福祉コミュニティづくりを意識的、計画的に取り組めます。

【住民参加と連携・協働】

3. 私たちは、住民参加と地域の連携・協働により業務を行なうことを心がけ、地域に根ざした先駆的な取り組みを応援し、地域福祉を推進する実践や活動を広げます。

- 社協が住民組織、社会福祉施設、民生委員・児童委員、ボランティアやNPOなどあらゆる地域の関係者による地域福祉をすすめる協働・協議の場（プラットフォーム）をつくる役割があることを理解し、あらゆる業務において、住民参加と地域における多様な組織や活動との連携・協働を心がけます。
- 地域の先駆的な取り組みを発掘・応援し、また、福祉活動に取り組む人々の育成に努め、地域福祉を推進する活動や実践を広げます。



【地域福祉の基盤づくり】

4. 私たちは、福祉課題を地域全体の問題として捉え、新たな事業や活動の開発、提言活動や計画づくりの取り組みに積極的に関わり、地域福祉の基盤づくりの役割を担います。

- 地域の実情を常に把握し、そこで捉えた福祉課題を地域全体の問題として捉え、先駆性をもって事業や活動の開発や改善に取り組み、さらに提言活動や改善運動を行い問題解決に向けたアクションにつなげます。
- 地域福祉計画、地域福祉活動計画の策定などの機会を捉え、福祉・保健・医療の連携によるよりよい制度づくりや地域福祉の財源づくり、福祉コミュニティの実現など地域福祉の基盤づくりの取り組みに積極的に参画します。

【自己研鑽、チームワーク、チャレンジ精神】

5. 私たちは、自己研鑽を重ね、職員同士のチームワークと部署間の連携をすすめ、チャレンジ精神をもって業務を遂行します。

- 社協職員としての自覚をもち、自己研鑽に努め専門性を高めます。また、職員同士と部署間の情報共有に努め、互いの役割を認識し協働しあえる環境をつくり、チームワークにより業務を遂行します。
- 常に地域の福祉問題に目を向け、チャレンジ精神や先駆性をもって業務をすすめます。また、自らの業務の評価と改善に努め、コスト意識をもって効果的で効率的な業務を遂行します。

【法令遵守、説明責任】

6. 私たちは、法令を遵守し、自らの組織や事業に関する説明責任を果たし、信頼され開かれた社協づくりをすすめます。

- 関係法令の遵守はもちろん、社会的規律や職場内ルールに則った行動をします。
- 職務上知り得た個人情報や、関係法令に基づき適切に対応します。また、プライバシーを尊重し、関係者との情報共有の際には、定められた手続きに基づき適切に対応し、その秘密を保持します。
- 住民や関係者に対して、社協の業務について十分な説明責任を果たすとともに、情報公開に努めます。



新居浜市地域福祉推進計画施策体系

将来像

基本目標

基本施策

主な施策

人がつながり 支え合い 健康でいきいきと暮らす福祉のまち にいはま

I 生涯を健やかに過ごす、健康なまちづくり

1 積極的に健康づくりに取り組もう

(1)健康づくり

(2)介護予防と生涯スポーツの推進

2 こころとからだの健康を地域で支えよう

(1)医療体制の充実

(2)元気な高齢者になろう

II 次世代につなげる、安全で安心なまちづくり

1 自分たちが住んでいる地域を守ろう

(1)防災体制の強化

(2)防犯対策の推進

(3)再犯防止の推進
(再犯防止推進計画)

2 みんなが快適で暮らしやすい環境をつくろう

(1)バリアフリーと高齢者住宅の確保

(2)都市基盤整備と公共交通の整備

(3)環境保全と地域環境美化

III やさしさに人がつながり、ともに支え合うまちづくり

1 みんなで共に助け合い、支え合おう

(1)地域福祉活動の推進

(2)福祉サービスの充実

(3)社会保障の充実

2 地域のつながりで福祉のすきまを埋めよう

(1)自治会、公民館活動の充実強化

(2)ボランティア活動の充実強化

IV すべての人の権利と責任を大切に、生きがいあふれるまちづくり

1 みんなが等しく持っている権利を守ろう

(1)児童、障がい者、高齢者等の権利擁護
(成年後見制度利用促進計画)(2)経済的自立に向けた支援体制の整備
(生活困窮者自立支援)

2 自分たちのまちは自分たちでつくろう

(1)次世代につなぐ福祉教育・学習の推進

(2)地域を担う人材の育成

Hello!
NEW

① 委員会等名簿

1. 作業委員会

所属	役職	氏名
総務企画課	課長	※柿木 仁
総務企画課	係長	守谷 大輔
地域福祉課	係長	石井 正人
権利擁護課	係長	鴻上 大介
高齢者施設課	係長	神野 好威
介護事業課	係長	山本 花里
地域福祉課	主事	中村 梨乃
障がい者施設課	主事	真鍋 美貴
児童発達支援課	主事	奥村 貴浩
児童施設課	主事	横林 秀明

※総括

2. 推進委員会

所属	役職	氏名
事務局	局長	※白石 亘
事務局（介護事業課長兼務）	次長	曾我部 康志
事務局（障がい者施設課長兼務）	次長	秋月 伸一
事務局（地域福祉課長兼務）	次長	越智 千鶴子
総務企画課	課長	柿木 仁
権利擁護課	課長	竹林 宏憲
児童発達支援課	課長	関谷 博志
児童施設課	課長	小野 雅之
高齢者施設課	課長	石川 剛史

※総括



3. 策定委員会

役職	氏名	選出区分	所属機関・団体役職
会長	小野 正師	知識経験者	知識経験者
副会長	日野 幸彦	住民組織団体等の代表者	連合自治会会長
	秦 榮子	保健福祉・医療等関係機関 団体などの代表者	ボランティア連絡協議会会長
	白石 敦之	住民組織団体等の代表者	民生児童委員協議会会長
常務理事	白石 亘	知識経験者	知識経験者
理事	鈴木 英次	住民組織団体等の代表者	老人クラブ連合会会長
	星加 勝一	住民組織団体等の代表者	社協支部連絡協議会会長
	藤田 憲明	保健福祉・医療等関係機関 団体などの代表者	新居浜市福祉部部長
	山内 保生	保健福祉・医療等関係機関 団体などの代表者	医師会会長
	矢野 健吾	保健福祉・医療等関係機関 団体などの代表者	福祉施設協議会会長
	横山 泰茂	住民組織団体等の代表者	公民館連絡協議会会長
	合田 史宣	保健福祉・医療等関係機関 団体などの代表者	保育協議会会長
	渡邊 照子	保健福祉・医療等関係機関 団体などの代表者	食生活改善推進協議会副会長
	三木 由紀子	住民組織団体等の代表者	心身障害者（児）団体連合会会長
	宮前 港	住民組織団体等の代表者	女性連合協議会会長

4. 協力

所属	役職	氏名
愛媛県社会福祉協議会	地域福祉部地域福祉課 主事	谷本 諒





新居浜市社会福祉協議会キャラクター
「ココロちゃん」

キャラクターの意味はハートの形をしたタネと出たばかりのふたばを表しています。福祉の心が育っていくという願いを込めたものです。

表紙の写真
子育てサロン「萩っ子」

人と人がふれあうことは互いの安心感を生み出します。モノより笑顔が、地域を動かす原動力となります。

令和3年3月17日発行

社会福祉法人新居浜市社会福祉協議会

〒792-0031 新居浜市高木町2番60号
TEL 0897-32-8129 FAX 0897-31-3531
(センター直通 TEL 35-2940)
<http://www.n-syakyo.jp>
E-mail info@n-syakyo.jp

新居浜市社会福祉協議会の運営施設

総合福祉センター 社会福祉協議会事務所

〒792-0031 新居浜市高木町 2 番 60 号
TEL 0897-32-8129 FAX 0897-31-3531
(センター直通 TEL 35-2940)

<http://www.n-syakyo.jp> E-mail info@n-syakyo.jp



その他センター内事業所

児童発達支援事業所はげみ園

権利擁護課

直通 TEL 0897-47-4976 FAX 0897-32-1560

障がい者相談支援事業所

直通 TEL 0897-37-0702

新居浜市ボランティア・市民活動センター

直通 TEL/FAX 0897-65-1009



総合福祉センター別子山分館

〒799-0650 新居浜市別子山乙 241 番地の 6
TEL 0897-64-2350 FAX 0897-64-2352



社会福祉協議会介護事業所

〒792-0811 新居浜市庄内町 6 丁目 11 番 46 号

センター内事業所

指定訪問介護事業所

障害者居宅介護支援事業所

直通 TEL 0897-32-8339 FAX 0897-33-2310

指定居宅介護支援事業所

直通 TEL 0897-31-3303 FAX 0897-33-2203

認知症対応型通所介護事業所 なごみの里『金子』

直通 TEL 0897-64-9753 FAX 0897-64-9754



認知症対応型通所介護事業所 なごみの里『金栄』

〒792-0031 新居浜市高木町 8 番 26 号

直通 TEL 0897-31-1753 FAX 0897-31-1754



障がい者福祉センター

〒792-0811 新居浜市庄内町 1 丁目 14 番 18 号

TEL 0897-33-3341 FAX 0897-37-1710

センター内事業所

生活介護事業所

地域活動支援センターⅢ型『いびき』



上部高齢者福祉センター

〒792-0841 新居浜市中筋町 1 丁目 6 番 8 号
TEL/FAX 0897-43-6338



川東高齢者福祉センター

〒792-0871 新居浜市八幡 2 丁目 10 番 23 号
TEL/FAX 0897-32-2134



川西高齢者福祉センター

〒792-0034 新居浜市滝の宮町 3 番 3 号
TEL/FAX 0897-33-5685



中央児童センター

〒792-0023 新居浜市繁本町 8 番 10 号
TEL/FAX 0897-34-8600



川東児童センター

〒792-0871 新居浜市八幡 2 丁目 10 番 22 号
TEL/FAX 0897-32-8966



上部児童センター

〒792-0045 新居浜市中萩町 10 番 13 号
TEL/FAX 0897-43-3612



瀬戸児童館

〒792-0821 新居浜市瀬戸町 7 番 32 号
TEL/FAX 0897-41-1983

